



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# HPE OneView 5.3 トラブルシューティングガイド (HPE Synergy 用)

## 摘要

このドキュメントは、HPE Synergy Composer に組み込まれている HPE OneView の一般的なトラブルシューティング手順を示します。このドキュメントは、HPE OneView のグラフィカルユーザーインターフェイスまたは REST API を使用して、HPE Synergy フレームのコンバージドインフラストラクチャ環境で IT ハードウェアをインストール、管理、トラブルシューティングする管理者を対象としています。コンピューター機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。 FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

## 商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国/地域における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。



# 目次

<b>このガイドについて</b> .....	<b>9</b>
HPE OneView のトラブルシューティングの概要.....	9
HPE Synergy 用語集.....	9
製品名.....	9
製品説明.....	9
HPE Synergy ハードウェア.....	9
コンポーザブルインフラストラクチャ.....	9
内蔵管理.....	10
<b>シリアルコンソールアクセス用の CLI</b> .....	<b>11</b>
CLI を使用したネットワークの問題のトラブルシューティング.....	11
SSH 経由での CLI への接続.....	12
<b>HPE OneView の外部でのアクションが必要となる問題のトラブルシューティング</b> .....	<b>13</b>
アプライアンスはオフラインで使用できない.....	13
アプライアンスがオフラインであり、手動操作が必要.....	14
アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー.....	16
アプライアンスのパフォーマンスが低い.....	17
アプライアンスがアダプターを検出できない.....	17
アプライアンスが HPE OneView のログインを拒否している.....	18
ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない.....	19
工場出荷時リセットまたはリストア後にアプライアンスにリモートアクセスできない.....	20
工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない.....	21
シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない.....	21
スタンバイアプライアンスをアップデートできない.....	22
ハードウェアをセットアップするユーザーがログインできない.....	22
HPE OneView でログイン画面が表示されない.....	22
HPE Synergy コンポーザーおよびフレームリンクモジュール (FLM) を工場出荷時設定へリセットした後、ネットワークが中断される.....	23
iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする.....	24
HPE Synergy コンポーザーのリストア操作に失敗した.....	24
<b>HPE OneView を使用した問題のトラブルシューティング</b> .....	<b>26</b>
HPE OneView でのトラブルシューティングの基本的な手法.....	26
アクティビティのトラブルシューティング.....	28
アラートが生成されない.....	28
アラートが HPE OneView ユーザーインターフェイスに表示されない.....	28
HPE OneView アラートがロックされている.....	28
HPE OneView でのアラート状態が予期されたものではない.....	29
HPE OneView でアラートのステータスが空白または予期しないとしてレポートされる.....	29
イベントが解決した後も元のアラートが残る.....	30
アプライアンスの問題のトラブルシューティング.....	30
アクティブアプライアンスとスタンバイ HPE Synergy コンポーザーアプライアンスが接続されていない.....	32

アプライアンスがシャットダウンしなかった.....	32
iLO に保存されているアプライアンス暗号化キーが破損している.....	33
アプライアンスはオフラインで使用できない.....	33
アプライアンスがオフラインであり、手動操作が必要.....	34
アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー.....	36
アプライアンスのパフォーマンスが低い.....	36
HPE OneView で監査のエントリーがログに記録されていない.....	37
HPE OneView から監査ログをダウンロードできない.....	37
HPE OneView に監査ログが存在しない.....	38
ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない.....	38
工場出荷時リセットまたはリストア後にアプライアンスにリモートアクセスできない.....	39
HPE Synergy コンポーザーのバックアップファイルの作成やダウンロードができない.....	39
HPE OneView HPE Synergy コンポーザーで暗号化されていないサポートダンプを作成できない.....	41
USB フラッシュドライブに HPE Synergy コンポーザーサポートダンプをダウンロードできない.....	41
工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない.....	43
シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない.....	43
HPE Synergy コンポーザーアプライアンスをアップデートできない.....	44
スタンバイアプライアンスをアップデートできない.....	45
証明書が失効した.....	45
ブラウザーセッションを取得できなかった.....	46
証明書管理機能が有効な場合、アップグレード後にエラーメッセージが表示される.....	46
HPE Synergy コンポーザーアプライアンスアップデートファイルをダウンロードしても、アップデートが失敗する.....	47
HPE Synergy コンポーザーアプライアンスのアップデートが失敗する.....	48
HPE OneView がアプライアンス iLO と通信できない.....	48
ハードウェアをセットアップするユーザーがログインできない.....	48
HPE OneView が共有対称暗号鍵をネゴシエートできない.....	49
HPE OneView が SSH 情報を取得できない.....	49
HPE OneView がリモートバックアップ構成を確認できない.....	50
HPE OneView ダッシュボードにアイコンが表示されない.....	50
無効な証明書チェーンによって操作ができない.....	50
HPE OneView で証明書の内容が無効で処理ができない.....	51
ログイン画面が表示されない.....	51
公開 SSH ホストキーが現在の暗号化設定と互換性がない.....	52
iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする.....	53
HPE OneView のリストア操作後、Remote Support に失敗する.....	53
HPE Synergy コンポーザーのリストア操作に失敗した.....	54
選択したアプライアンスイメージが認証されなかった.....	55
リモートバックアップサーバーの SSH ホスト公開キーが無効である.....	55
サポートダンプに HPE Synergy Composer スタンバイアプライアンスのデータが含まれていない.....	56
HPE Synergy コンポーザーのサポートダンプファイルが保存されていない.....	57
HPE Synergy コンポーザーのサポートダンプが作成されない.....	58
CA 署名付きクライアント証明書を使用して SCMB サーバーに接続できない.....	58
証明書失効リストを自動的にダウンロードできない.....	60
証明書をインポートできない.....	60
メインメニューにすべてのリソースを表示できない.....	61
予期しないアプライアンスのシャットダウン.....	61
HPE Synergy Composer サポートダンプ中に USB ドライブが認識されない.....	62
アプライアンスネットワークのセットアップのトラブルシューティング.....	62
アプライアンスがネットワークにアクセスできない.....	63
HPE Synergy Composer は DHCP サーバーから DNS 情報を取得できない.....	63
アプライアンスがアダプターを検出できない.....	63

HPE OneView でネットワーク設定を変更できない.....	64
DNS サーバーは到達不能.....	65
HPE OneView からゲートウェイサーバーに到達できない.....	65
アプライアンス IP 設定が正しくない.....	65
HPE Synergy コンポーザーおよびフレームリンクモジュール (FLM) を工場出荷時 設定へリセットした後、ネットワークが中断される.....	66
HPE OneView で NTP 同期に失敗する.....	66
暗号化モードの切り替えのトラブルシューティング.....	67
アップグレード後に FIPS または CNSA へのモード切り替えが失敗する.....	68
暗号化モード切り替え中にセッションが終了する.....	68
FIPS モードまたはレガシーモードへの切り替え後にデバイスを管理できない.....	68
CNSA モードに切り替えることができない.....	69
メール通知のトラブルシューティング.....	69
アップデート後にメールによるアラート通知が届かない.....	69
HPE OneView のアラートのメール通知を構成できない.....	70
指定の受信者がイベントのメール通知を受信していない.....	70
HPE OneView からの頻繁で無関係なメールメッセージ.....	72
ホストが SMTP サーバーとして HPE OneView に応答しない.....	72
HPE OneView からの一部のテストメッセージが受信されていない.....	73
HPE OneView からテストメッセージを送信できなかった.....	74
HPE OneView でメールアドレスホスト名の送信を通じて接続できない.....	75
HPE OneView から一部のメール ID にメールメッセージを配信できない.....	76
HPE OneView からメール通知を受信できない.....	77
HPE OneView で非スコープリソースから予期しないアラート通知を受信した.....	77
エンクロージャーとエンクロージャーグループのトラブルシューティング.....	77
論理エンクロージャーを削除できない.....	78
HPE Synergy フレームリンクモジュールから HPE OneView への通信に失敗した.....	78
ケーブルが接続され、コンポーザー (第 1 世代) が対応するベイにある場合の接続 の問題.....	79
HPE OneView でエンクロージャーの構成が不完全.....	79
HPE OneView でエンクロージャーインベントリが不完全.....	80
エンクロージャーが HPE OneView から管理できなくなっている.....	80
フレームリンクモジュール LINK ポートが不明なデバイスに接続されている.....	81
フレームリンクモジュール LINK ポートが接続されていない.....	81
フレームリンクモジュール MGMT ポートが接続解除されている.....	82
フレームリンクモジュールの不一致.....	82
MAC アドレスエラーで論理エンクロージャーの作成に失敗した.....	83
アプライアンスポートのフレームリンクモジュールのネットワーク接続の問題.....	84
ファームウェアアップデートのトラブルシューティング.....	84
ファームウェアコンプライアンスデータが利用できない.....	84
HPE OneView でファームウェアのステージング操作が成功しない.....	85
HPE OneView でファームウェアを強制的にダウングレードしようとする と失敗する.....	85
HPE OneView で iLO ファームウェアをアップデートできない.....	86
認証情報が正しくない場合、HPE OneView との通信を妨げる.....	86
iLO 接続の消失.....	87
1 つ以上のファームウェアコンポーネントに、指定されたファームウェアベースラ インとの整合性がありません.....	87
ファームウェアアップデートを開始できない.....	88
HPE OneView でファームウェアアップグレードのログファイルを削除できない.....	88
ハイパーバイザープロファイルのトラブルシューティング.....	88
ハイパーバイザークラスタープロファイルが不整合を修復できない.....	88
HPE OneView で vSAN 対応ハイパーバイザークラスタープロファイルの修正操作 に失敗する.....	89
標準から分散への vSwitch タイプの移行が失敗する.....	90
インターコネクトのトラブルシューティング.....	90
HPE OneView でインターコネクトの編集が失敗する.....	90

スタッキングケーブルを取り外したり交換したりするときに、インターコネクトモジュール接続がドロップする.....	91
古い IP アドレスを使用する非管理インターコネクトの再取り付け.....	91
HPE OneView ライセンスのトラブルシューティング.....	92
HPE OneView のライセンス数が見つからない.....	92
HPE OneView でライセンスを追加できなかった.....	92
HPE OneView でライセンスキーを追加できなかった.....	93
HPE OneView でライセンスを適用できなかった.....	94
HPE OneView でライセンスの詳細を表示できなかった.....	95
ライセンス適用済みサーバーハードウェアの数が管理下にある数より多い.....	96
最近追加または割り当てられたライセンスが不正確であることが表示される.....	96
論理インターコネクトのトラブルシューティング.....	96
ファームウェアバージョンが混在する論理インターコネクトを作成すると問題が発生する.....	97
SNMP 通知の生成の失敗.....	97
HPE OneView でのファームウェアアップデートエラー.....	98
HPE OneView での I/O ベイの占有エラー.....	99
Pause Flood 状態が Flex-10 または Flex-20 物理ダウンリンクポートで検出された.....	99
HPE OneView での物理インターコネクトの警告またはエラー.....	100
HPE OneView でのアップリンクセットの警告またはエラー.....	100
ネットワークのトラブルシューティング.....	101
HPE OneView でのネットワーク作成操作が失敗する.....	101
レポートのトラブルシューティング.....	101
HPE OneView でレポートを表示できない.....	101
スコープのトラブルシューティング.....	102
認証の問題に関するトラブルシューティング.....	102
サーバーハードウェアのトラブルシューティング.....	102
サーバーの電源を制御できない.....	103
HPE OneView によって Gen10 ハードウェアが検出されない.....	103
HPE Synergy コンポーザーアプライアンスの再起動後にサーバーハードウェアへの接続が失われた.....	104
HPE OneView で割り当てられたサーバープロファイルがあるサーバーハードウェア上のサーバーアダプターの交換.....	104
割り当てられたサーバープロファイルがあるサーバーの交換.....	105
システムボードの交換後にサーバーの電源がオンにならない.....	106
ワンタイムブートオプションを設定している間、サーバーが POST 中である.....	107
サーバープロファイルのトラブルシューティング.....	107
ファームウェアと OS ドライバーのアップデートでエラーが発生する.....	108
接続の割り当て中または展開中に、FlexNIC の自動割り当てが失敗する.....	108
プロファイルから接続を追加できない.....	109
サーバープロファイルを適用できない.....	109
ファームウェアのインストールを完了できない.....	110
接続を追加するときに、ネットワークが見つからない.....	111
HPE OneView でプロファイルのアップデートや削除ができない.....	111
複数のサーバープロファイルを削除しようとした場合に、選択したプロファイルの一部が削除されない.....	111
不整合なファームウェアバージョンが HPE OneView に表示される.....	112
HPE OneView でプロファイルの操作が成功していない.....	112
BIOS 設定を適用するときにプロファイル操作がタイムアウトになる.....	113
HPE OneView でサーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない.....	113
サーバーの電源をオンにしても、SUT が構成されない.....	114
サーバープロファイルの電源をオンまたはオフにできない.....	115
プロファイルを削除できない : MyProfile を削除することができない、またはファームウェアの変更を追加できない.....	115
サーバープロファイルの電源をオフにできない.....	116
ファームウェアをアップデートできない.....	116
ストレージのトラブルシューティング.....	118

HPE OneView で Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーを追加できない	118
ストレージシステムポートがフェイルオーバーした状態にある	120
ストレージシステムポートが失敗の状態にある	120
ストレージシステムポートがフェイルオーバー中の状態にある	120
ストレージシステムポートがパートナーが失敗した状態にある	120
ストレージシステムポートがパートナーポートがフェイルオーバーした状態にある	121
ストレージシステムポートが復旧中の状態にある	121
HPE OneView でのターゲットポートの障害	121
Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーとの接続を確立できない	123
Fabric オペレーティングシステム (FOS) SAN マネージャーとの接続を確立できない	123
ボリュームがオペレーティングシステムを期待どおりに起動しない	124
ボリュームがストレージシステムから認識されるが、アプライアンス上で認識されない	124
HPE OneView のサーバーハードウェアでボリュームを利用できない	125
ゾーン操作が Cisco SAN マネージャーで失敗する	127
OS 展開サーバーのトラブルシューティング	127
HPE OneView が OS 展開サーバーと通信できない	127
ユーザーアカウントのトラブルシューティング	128
HPE OneView でディレクトリグループを追加できない	128
ディレクトリサービスを HPE OneView に追加できない	129
HPE OneView でディレクトリサービス用のサーバーを追加できない	131
HPE OneView でローカルユーザーアカウントを削除できない	132
HPE OneView でディレクトリグループが見つからない	132
HPE OneView でローカルユーザーアカウントを変更できない	134
ディレクトリサービスを HPE OneView から使用できない	135
HPE OneView での不正な権限	136
認証されていないユーザーまたはグループ	136
HPE OneView によってユーザーの公開キーが受け付けられない	136

## **HPE Synergy のドキュメントのリンク ..... 138**

HPE Synergy のドキュメントリソース	138
HPE Synergy ファームウェアアップデートリソース	139
HPE Synergy ドキュメントの概要 (ドキュメントマップ)	141
HPE Synergy のトラブルシューティング資料	142
HPE OneView でのトラブルシューティング	142
HPE Synergy トラブルシューティングガイド	142
HPE ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy エラーメッセージガイド	143
HPE Synergy と HPE OneView API リファレンスの HPE OneView ヘルプ	143
HPE Synergy QuickSpecs	143

## **HPE OneView 製品に関するフィードバック ..... 144**

## **Web サイト ..... 145**

## **HPE OneView Remote Technician ..... 146**

## **サポートと他のリソース ..... 147**

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス	147
アップデートへのアクセス	147
リモートサポート (HPE 通報サービス)	148

保証情報.....	148
規定に関する情報.....	148
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	149





# このガイドについて

## ドキュメントの概要

このガイドでは、HPE OneView 5.3（HPE Synergy 用）の次のトラブルシューティング情報を提供します。

- ・ 一般的なトラブルシューティング手順と問題の解決
- ・ トラブルシューティング用情報の入手先

## HPE OneView のトラブルシューティングの概要

HPE OneView トラブルシューティング情報は、次のいくつかのドキュメントで構成されるソリューションとして HPE OneView および Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) 内で提供されています。

### 詳細情報

[HPE Synergy のトラブルシューティング資料](#)

## HPE Synergy 用語集

ソフトウェアツールの HPE Synergy ハードウェアコンポーネントに使用される用語は、本ドキュメントで使用される用語と異なる場合があります。例えば、ソフトウェアでは、コンピュートモジュールをサーバーと呼び、フレームをエンクロージャーと言う場合があります。

HPE Synergy の用語について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) の HPE Synergy 用語集を参照してください。

## 製品名

同じハードウェアの複数のバージョンの一般的な記述子として製品名が使用される場合があります。

例えば、コンポーザーという用語は、HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy コンポーザー 2 の両方を意味するために使用されます。フレームリンクモジュールも同じように使用されます。

特定のコンポーネント製品名が参照されている場合、その文言はそのコンポーネントのみを対象としています。

## 製品説明

### HPE Synergy ハードウェア

フレームリンクモジュール (FLM)、電源装置、ファン、アプライアンス、コンピュートモジュール、ストレージモジュール、インターコネクト、およびコンピュートモジュールオプションを含む、HPE Synergy に関連するハードウェア。

### コンポーザブルインフラストラクチャ

中規模のデータセンターや企業のデータセンター用に設計されたインフラストラクチャ管理。

HPE OneView

HPE Synergy サーバー（コンピュートモジュール）、エンクロージャー（Synergy フレーム）、ストレージモジュール、ネットワーク（ファブリック）、および管理アプライアンス（HPE Synergy イメージストリーマー）の自動化による簡素化のために HPE Synergy コンポーザーで実行される統合管理ツールまたはソフトウェアアプライアンス。

### HPE イメージストリーマー

HPE Synergy コンピュートモジュールを起動するオペレーティングシステムのホスト、構成、およびサービス提供に使用される HPE Synergy 管理アプライアンスであり、コンピュートモジュールにステートレスサーバー環境を提供します。

## 内蔵管理

HPE Synergy 上に内蔵されている包括的な管理ツールセット：

- ・ HPE iLO（HPE Integrated Lights-Out）  
すべての HPE Synergy コンピュートモジュールに内蔵されている管理インターフェイス。コンピュートモジュールの運用状態に関係なく、すぐに使用でき、重要なリモート管理および制御を提供します。
- ・ Intelligent Provisioning  
サーバーのセットアップと構成を簡素化する単一サーバー OS 展開ツール。
- ・ Smart Update Manager（SUM）  
ファームウェア、ドライバー、およびシステムソフトウェアをインストールおよびアップデートするために使用するメンテナンスツール。
- ・ Smart Update Tools（SUT）  
ファームウェアとドライバーのアップデートをステージ、インストール、およびアクティブ化するために HPE OneView によって使用されるソフトウェアユーティリティ。
- ・ Unified Extensible Firmware Interface（UEFI）  
HPE Synergy コンピュートモジュールおよびアプライアンスの UEFI ベースのシステム ROM に内蔵された構成ツール。



# シリアルコンソールアクセス用の CLI

CLI を使用して、HPE Synergy インターコネクトおよびサーバーのシリアルコンソールにアクセスできます。シリアルコンソールへのアクセスは、デバイスへの接続に他の形式が利用できない場合に、高度な診断情報を収集するのに役立ちます。

CLI には次のような一般的な機能があります。

- ・ シリアルコンソールに接続するためのデスクトップツール (SSH や PuTTY など)
- ・ コマンド履歴
- ・ コマンドラインの編集と Tab キーによる補完
- ・ オンラインヘルプ
- ・ コマンドの大文字と小文字の区別
- ・ HPE Synergy 用の HPE OneView 5.3 以降のコンピュータードとインターコネクトの Electronic Fuse (efuse)

## コマンドの履歴と Tab キーによる補完

CLI では、セッション中に入力されたコマンドラインの履歴が保持されます。以前に入力したコマンドを再度呼び出して編集するには、最新のシェルと同じ方法で矢印キーを使用します。カーソルの前の文字を削除するには、バックスペースを使用します。(これを行うには、十分な機能を備えたターミナルまたはエミュレーターが接続されていることが必要です)。

コマンドラインでは、Tab キーを使用して、コマンドと引数キーワードのテキスト入力を補完できます。フィールド名と属性値を Tab キーで補完することはできません。

## 詳細情報

[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイドの「CLI コマンド」トピック](#)

# CLI を使用したネットワークの問題のトラブルシューティング

デスクトップから HPE Synergy インターコネクトモジュールへの直接的なパスウェイを確立することによって、ネットワーク管理者はインターコネクトのシリアルポートを介して診断情報にアクセスできません。

HPE Synergy コンポーザーの SSH ポートに接続してから、CLI を使用して、特定のインターコネクトのシリアルコンソールセッションを確立します。

## 詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用の「HPE Synergy コンポーザーへの SSH を使用したインターコネクトへのアクセス」トピック](#)
- ・ [HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイドの「CLI コマンド」トピック](#)



# SSH 経由での CLI への接続

**注記:** Hewlett Packard Enterprise では、SSH 接続を通じてアプライアンス Maintenance Console にアクセスする場合は、以下のツールの使用をお勧めします。

- ・ PuTTY
- ・ MTPuTTY
- ・ シェルプロンプトからの ssh コマンドライン

HPE Synergy コンポーザーで SSH が無効になっている場合、フレーム前面のフロントパネルモジュールからアクセスできる HPE Synergy Console を使用してデバイスのシリアルコンソールにアクセスします。キーボードとマウスを使用して、統合 USB ハブを備えたモニターに接続し、HPE Synergy フレームリンクモジュールからアプライアンス Maintenance Console にアクセスできます。詳しくは、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)を参照してください。

## 手順

1. 推奨されるツールのいずれかをローカルコンピューターで実行します。
2. HPE Synergy コンポーザーにアクセスするには SSH 接続を使用して、その完全修飾ドメイン名または IP アドレスを指定します。
3. HPE OneView のローカル認証情報を使用してログインします。ログインするには、HPE Synergy コンポーザーに接続するための正しい権限とスコープが必要です。

**注記:** スコープは、操作またはアクションの範囲の制限に使用できるリソースのグループを意味します。たとえば、ユーザー権限を制限しつつも、スコープ内のリソースへのアクセスのみを許可するために必要な権限のみを提供します。

**注記:** CLI コマンドを ssh コマンドラインに対して引数として発行して、指定されたコマンドを開始することができます。ssh コマンドは実行が完了した後で強制終了します。

コマンドが connect コマンドの場合、I/O は指定されたシリアルコンソールに接続され、ssh コマンドは接続が強制終了されるまで終了しません。次に例を示します。

```
$ ssh -t Administrator@appliance_address "console-view; connect interconnect EM1FFFF101 1 1"
```

## 詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用の「SSH アクセスの有効化または無効化」](#) トピック。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用の「スコープ」](#) トピック。
- ・ [HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイドの「CLI コマンド」](#) トピック。

# HPE OneView の外部でのアクションが必要となる問題のトラブルシューティング

以下のトピックでは、HPE OneView の外部でのアクションが必要となる問題に対処する場合のトラブルシューティング情報を提供します。

- ・ アプライアンスはオフラインで使用できない
- ・ アプライアンスがオフラインであり、手動操作が必要
- ・ アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー
- ・ アプライアンスのパフォーマンスが低い
- ・ アプライアンスがアダプターを検出できない
- ・ アプライアンスが HPE OneView のログインを拒否している
- ・ ブラウザに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない
- ・ 工場出荷時リセットまたはリストア後にアプライアンスにリモートアクセスできない
- ・ 工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない
- ・ シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない
- ・ スタンバイアプライアンスをアップデートできない
- ・ ハードウェアをセットアップするユーザーがログインできない
- ・ HPE OneView でログイン画面が表示されない
- ・ HPE Synergy コンポーザーおよびフレームリンクモジュール (FLM) を工場出荷時設定へリセットした後、ネットワークが中断される
- ・ iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする
- ・ HPE Synergy コンポーザーのリストア操作に失敗した

## アプライアンスはオフラインで使用できない

### 症状

アプライアンスがオフラインであり、データが不完全なためにアプライアンスを使用できないことが、Maintenance Console に示されている。

アプライアンスクラスター内のどのアプライアンスもアクティブではない。データ整合性の制約により、アプライアンスの自動アクティブ化ができない。

### 原因

オフラインおよび使用不能（不完全なデータ）状態のアプライアンスがデータの同期中に機能停止したか、ディスクの書き込みエラーが発生した。この状態のアプライアンスはアクティブ化できません。

## アクション

1. クラスタ内の他のアプライアンスと、オフラインおよび使用不能のアプライアンスを再接続します。
2. 別のアプライアンスに最新のデータがある可能性が高いです。
3. アプライアンスの間の接続を再確立するとデータ同期を完了することができます。
4. 最新のアプライアンスのエンクロージャーをオンラインに戻します。
5. 最新のアプライアンスの Maintenance Console から **View details** コマンドを使用して場所（エンクロージャーとアプライアンスのベイ）を見つけます。
6. そのエンクロージャー、またはフレームリンクモジュールがオフラインの場合、電源をオンにすると問題が解決する可能性があります。
7. エンクロージャーまたはフレームリンクモジュールをオンラインに戻すことができない場合は、動作中のエンクロージャーに最新のアプライアンスを移動します。
8. 障害保護を改善するため、クラスタ化されたアプライアンスはできるだけ別々のエンクロージャーにインストールしてください。
9. LINK ポート間の接続を修復します。
10. 最新のアプライアンスが動作中である場合、LINK ポートをリンクしているケーブルが切断されている可能性があります。このようなケーブルすべてが正しく接続されていることを確認します。再接続すると問題が解決する可能性があります。
11. バックアップからリストアします。
12. 最新のアプライアンスが、復旧不能な状態にある場合は、リストア操作にアプライアンスのデータのバックアップコピーを使用します。
  - a. 両方のアプライアンスを工場出荷時設定へリセットまたは再イメージします。
  - b. 1つのアプライアンスを互換性のある最近のバックアップ ファイルからリストアします。
  - c. その他（または別の）アプライアンスが、リストアされたアプライアンスとともに高可用性クラスタに参加することを許可します。
13. 交換用アプライアンスが必要な場合は、高可用性をリストアするために後で追加できます。

## アプライアンスがオフラインであり、手動操作が必要

### 症状

アプライアンスがオフラインであり、安全なリストア操作のために手動操作が必要なことが、Maintenance Console に示されている。

アプライアンスクラスタ内のどのアプライアンスもアクティブではない。データ整合性の制約により、アプライアンスの自動アクティベーションができない。

### 解決方法 1

#### 原因

リンクエンクロージャーネットワークでの、ネットワークの問題、または複数の切断により、障害が発生した可能性があります。エンクロージャーの LINK ポートに接続するケーブルが切断されています。

## アクション

1. 障害の原因を修正することで高可用性をリストアします。可能であれば、
  - a. ネットワーク接続を修復します。

すべてのリンクエンクロージャーのネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認します。
  - b. LINK ポートを接続するケーブルを接続しなおします。
2. エンクロージャーをオンラインに戻します。

Maintenance Console の View details コマンドを使用して、ステータスが確認できないアプライアンスを識別します。アプライアンスは、そのエンクロージャーとアプライアンスのベイ番号で識別されません。

対応するエンクロージャー、またはフレームリンクモジュールがオフラインの場合、電源をオンにすると問題が解決する可能性があります。
3. エンクロージャーまたはフレームリンクモジュールをオンラインに戻すことができない場合は、動作中のエンクロージャーにアプライアンスを移動します。

障害保護を改善するため、クラスター化されたアプライアンスはできるだけ別々のエンクロージャーにインストールしてください。

## 解決方法 2

### 原因

アプライアンスが機能できず、高可用性をリストアすることはできません。

**△ 注意:** この手順では、データの整合性保護をオーバーライドする必要があります。この手順では、細心の注意を払ってください。

### アクション

1. アプライアンスのクラスター内で両方のアプライアンスの位置を確認します。位置は、エンクロージャーとアプライアンスのベイから得られます。Maintenance Console の **View details** アクションを使用すると、いずれかのアプライアンスから他のアプライアンスのこの情報を提供できます。

**△ 注意:** アプライアンスを誤認すると、**復旧不能なデータ損失**につながる可能性があります。
2. 各アプライアンスについて以下を確認します。
  - ・ エンクロージャー内に存在するか。
  - ・ 電源が投入されているか。
  - ・ Maintenance Console の通知バナーに、アプライアンス間で同期されていない変更についての警告が表示されているか。
3. アクティブ化するアプライアンスを選択します。以下の要件を使用してください。

- ・ アプライアンスに、同期されていない変更の警告が表示されている場合はそれを選択します。
- ・ アプライアンスが以下の場合は、他のアプライアンスを選択します。
  - 失われていて、回復することができない。
  - オンラインにできない。

同期されていない変更が、失われたアプライアンスに含まれている場合は、修復不能なデータ損失が発生する可能性があります。

#### 4. 選択していないアプライアンスについて以下を確認します。

- ・ 電源が切れていること。
- ・ エンクロージャーから削除されていること、または
- ・ 再起動の直後であること。

❗ **重要:** この手順は、両方のアプライアンスが同時にアクティブにならないことを確実にするために重要です。そうしないと、それらを再同期することが不可能になり、復旧不能なデータ損失が発生します。

#### 5. 選択したアプライアンスの Maintenance Console で、**Activate** を選択し、アクションを確認します。詳しくは、「高可用性がない場合、手動で Synergy コンポーザーをアクティブ化する」を参照してください。

進捗をモニターするには、状態を参照してください。

## アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー

### 症状

復旧不能エラーによりアプライアンスがオフラインになっています。HPE OneView にアプライアンスのエラー画面が表示されます。

### 原因

HPE OneView で内部エラーが発生しました。

アプライアンスのエラー画面にはエラーに関する詳細が表示され、判明している場合は、エラー検出に基づいて推奨される対応策が表示されます。

以下の操作の 1 つまたは複数を実行するよう指示される場合があります。

### アクション

1. アプライアンスを再起動します。
2. プロンプトが表示されたら、サポートダンプファイルを作成して、認定サポート担当者に問い合わせます。
3. アプライアンスをシャットダウンして、HPE OneView と同じバージョンの新しいアプライアンスにバックアップをリストアします。
4. 新しいアプライアンスへの HPE OneView のリカバリが完了するまでは、古いアプライアンスを削除しないでください。エラー状態のアプライアンスを復旧する必要がある場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。



詳しくは、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用の「設定：バックアップ」](#)のセクションを参照してください。

## アプライアンスのパフォーマンスが低い

### 症状

アプライアンスは動作するが、パフォーマンスが低い。

### 原因

アプライアンスの構成が最適なパフォーマンスのために設定されていません。

### アクション

1. 物理コンポーネントが [HPE OneView \(HPE Synergy 用\) サポートマトリックス](#)に記載されている要件を満たしていることを確認します。
2. アプライアンスと管理対象デバイス間で適切なネットワーク接続を確認してください。
3. 使用可能なストレージが許容可能なことを確認します。
4. ローカルコンピューターから ping コマンドを使用して、ping の往復時間が許容可能かどうかを確認します。長い時間は、ブラウザーの問題を示すことがあります。
5. ブラウザー設定が正しいことを確認します。
6. プロキシサーバーをバイパスすることを検討してください。
7. 規模の制限を超えていないことを確認します。 [HPE OneView \(HPE Synergy 用\) サポートマトリックス](#)を参照してください。
8. サポートダンプファイルを作成して、[認定テクニカルサポート](#)に問い合わせます。

## アプライアンスがアダプターを検出できない

### 症状

HPE OneView 4.2 以前のバージョンでは、アプライアンスはネットワークアダプターとの通信を失います。アプライアンスは、次のいずれかのエラーを表示します。

サーバーのポート情報が検出されなかったため、サーバーハードウェアタイプをこのサーバーに関連付けることができません。

または

ネットワークアダプターをインベントリできません。

### 原因

- ・ MCTP が HPE iLO で無効になっている。
- ・ メザニンカードとの通信中にアプライアンスサービスが失敗した。
- ・ iLO またはメザニンアダプターとの通信に関する問題。
- ・ ファームウェアフラッシュプロセスが進行中である可能性がある。

## アクション

以下の手順を一度に1つずつ、問題が解決されるまで実行します。

1. サーバーハードウェアの QuickSpecs ドキュメントに記載されているように、装着されているメザニンスロットをサポートするために必要なソケットに CPU が取り付けられていることを確認します。
2. サーバーハードウェアが、サポートされるネットワークアダプターで構成されているか確認してください。サポートされるネットワークアダプターについては、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) サポートマトリックス](#)を参照してください。
3. MCTP エンドポイントが、サーバー全体に対して、または個々のメザニンスロットで無効になっていないことを iLO サーバーで確認します。
4. ファームウェアのフラッシュのアップデートが進行中の場合は、操作を再試行するまで数分間待ちます。
5. HPE OneView から、サーバーを更新します。
6. HPE OneView から、iLO をリセットします。iLO のリセットが完了するまで数分待ちます。  
詳しくは、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)の「iLO のリセット」トピックを参照してください。
7. HPE Synergy ソフトウェアリリースの一部である Service Pack for ProLiant (SPP) を起動して展開する Smart Update Manager ツールを使用してアダプターまたは iLO ファームウェアをアップデートします。
8. サーバー内のアダプターを取り外して、再挿入します。
9. いずれのオプションも機能しない場合は、アダプターまたはサーバーのハードウェアを交換してください。

# アプライアンスが HPE OneView のログインを拒否している

## 症状

ログイン画面はあるが、アプライアンスがログインを拒否している。

## 解決方法 1

### 原因

ローカルユーザーアカウントの認証が無効です。

## アクション

1. 間違えた場合は、ログイン名とパスワードを再入力します。
2. インフラストラクチャ管理者でログイン名と役割設定を確認します。アプライアンスが元の工場出荷時設定にリセットされた場合、インフラストラクチャ管理者がユーザーを復権させる必要が生じることがあります。
3. インフラストラクチャ管理者として、次の操作を実行します。
  - a. アカウント名を確認し、ユーザーに役割が割り当てられていることを確認します。
  - b. アプライアンスを再起動し、もう一度やり直してください。

## 解決方法 2

### 原因

認証ディレクトリサービスの認証が無効です。

### アクション

1. 間違えた場合は、ログイン名とパスワードを再入力し、正しい認証ディレクトリを選択します。
2. ログイン名、グループと、インフラストラクチャ管理者のパーミッションを確認します。アプライアンスが元の工場出荷時設定にリセットされた場合、インフラストラクチャ管理者がユーザーを復権させる必要が生じることがあります。
3. インフラストラクチャ管理者として、次の操作を実行します。
  - a. アカウント名を確認し、ユーザーがディレクトリサービス内のグループのメンバーであることを確認します。
  - b. 認証ディレクトリサービスが正しく構成されていることを確認します。
  - c. ディレクトリサーバーが動作していることを確認します。「ディレクトリサービスが HPE OneView から使用できない」を参照してください。
  - d. ディレクトリサービスホスト証明書が有効であることを確認します。有効でなければ、証明書を再取得してインストールします。
  - e. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせ、認証情報が正確であることを確認します。
  - f. アプライアンスを再起動し、もう一度やり直してください。

## ブラウザに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない

### 症状

ブラウザに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない。

## 解決方法 1

### 原因

ブラウザがサポートされていません。

### アクション

サポートされているブラウザを使用してください。HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックスを参照してください。

## 解決方法 2

### 原因

ブラウザのキャッシュがいっぱいになっている。

## アクション

1. ブラウザーのキャッシュをクリアして、再試行します。
2. ブラウザーを更新するか、再ロードします。

## 解決方法 3

### 原因

JavaScript が有効でない。

### アクション

ブラウザーで JavaScript を有効にします。

## 解決方法 4

### 原因

アプライアンスとの接続に問題があります。

### アクション

1. ブラウザーのプロキシ設定が正確であることを確認します。
2. ブラウザーを更新するか、再ロードします。
3. アプライアンスがネットワークにアクセスできることを確認します。  
詳細については、[アプライアンスがネットワークにアクセスできない](#)を参照してください。

## 解決方法 5

### 原因

HPE OneView で、ブラウザーからの要求に応答できないというエラーが発生しました。

### アクション

1. Maintenance Console にログインします。
2. アプライアンスの状態を調べます。
3. **HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド**の「Maintenance Console でのアプライアンスの状態」セクションに示されている適切な処置を使用してください。

# 工場出荷時リセットまたはリストア後にアプライアンスにリモートアクセスできない

## 症状

工場出荷時リセットまたはリストア後に（HPE OneView GUI または SSH 接続を使用した Maintenance Console から）アプライアンスにリモートアクセスできない

## 原因

アプライアンスネットワークが正しく構成されなかったか、または工場出荷時リセット時にアプライアンスのネットワーク設定を保存しますオプションが選択されませんでした。

## アクション

1. **HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド**にある「キーボード、ビデオモニター、マウスを使用したアプライアンスの Maintenance Console へのアクセス」を参照してください。
2. Synergy コンポーザーのネットワーク設定を変更します。  
詳しくは、「**HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用**の「設定 : アプライアンスネットワーク」セクションと **HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド**の「アプライアンス Maintenance Console からアプライアンスネットワークを構成」を参照してください。

# 工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない

## 症状

工場出荷時設定へのリセット操作後にログインが許可されない。

## 原因

工場出荷時設定へのリセットによって認証が削除されました。

## アクション

初めてログインしたときに使用したデフォルトの認証情報でアプライアンスにログインします。

# シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない

## 症状

再起動操作の結果、再起動ではなくシャットダウンした。

## 原因

内部サーバーエラーが発生した可能性があります。

## アクション

必要な権限 : インフラストラクチャ管理者

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 再起動操作を再実行します。
3. Maintenance Console から再起動操作を再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、サポートダンプを作成します。
5. 認定テクニカルサポートに連絡して、サポートダンプを提供します。

# スタンバイアプライアンスをアップデートできない

## 症状

高可用性クラスター内のスタンバイアプライアンスでアプライアンスのアップデートが完了しない

## 原因

スタンバイアプライアンスが使用できないか、接続されていない

## アクション

1. データセンターで、次のオプションから選択します。

- ・ プリロード済み USB ドライブを使用した HPE Synergy アプライアンスを再イメージします。
- ・ スタンバイアプライアンスで一時 IP アドレスが作成されるように、Maintenance Console からアプライアンスネットワークを構成します。これにより、認証された HPE OneView ユーザーがスタンバイアプライアンス上でアップデートアクションを再試行できます。

詳しくは、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)またはオンラインヘルプを参照してください。

# ハードウェアをセットアップするユーザーがログインできない

## 症状

ハードウェアをセットアップするユーザーの認証がブロックされる。

## 原因

アプライアンスは、ハードウェアをセットアップするユーザーに対してアクセスを拒否するように構成されています。

## アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。

2. セキュリティの編集画面にアクセスします。

詳細については、「設定：セキュリティ」セクション ([HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)) を参照してください。

3. ハードウェアセットアップアクセスを有効にします。

4. ログアウトし、ハードウェアをセットアップするユーザーとしてログインしなおします。

5. 操作を再試行してください。

# HPE OneView でログイン画面が表示されない

## 症状

ログイン画面がない

## 原因

アプライアンスがまだ起動していないか、ブラウザーが正しく動作していない

## アクション

1. アプライアンスが完全に起動するまで待ちます。
2. ブラウザーを更新して、再試行します。
3. 新しいブラウザーを開いて、再試行します。
4. インフラストラクチャ管理者として、REST API を使用してアプライアンスを再起動します。

# HPE Synergy コンポーザーおよびフレームリンクモジュール (FLM) を工場出荷時設定へリセットした後、ネットワークが中断される

## 症状

コンポーザーと FLM を工場出荷時設定へリセットし、さらに、HPE OneView で初回のハードウェアセットアップを実行した後、コンピュータノードのネットワークが中断される。

## 原因

ネットワーク中断は、コンポーザーと FLM を工場出荷時設定にリセットし、さらに、VNC ケーブルまたは DisplayPort ケーブルを使用してフレームのフロントパネルを接続することによって HPE OneView GUI を使用して初回のハードウェアセットアップを実行した後、コンピュータノードでネットワーク中断が発生することがあります。

このイベントシーケンスを修復する唯一の方法は、コンポーザーと FLM を工場出荷時設定にリセットする前に取得済みバックアップファイルをリストアすることです。

## アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. バックアップファイルを使用してリストア操作を実行し、FLM を工場出荷時設定にリセットします。FLM を工場出荷時設定にリセットすると、HPE OneView のバックアップファイルからコンポーザーをリストアできます。

## 詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「HPE OneView GUI を使用してバックアップファイルからアプライアンスをリストア」。
- ・ [HPE Synergy 12000 フレームセットアップ/インストールガイド](#)、[HPE Synergy 12000 Frame Maintenance and Service Guide](#)、および [HPE OneView Troubleshooting Guide for HPE Synergy](#)。

# iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする

## 症状

Windows クライアントで Firefox または Chrome を実行しているときは、iLO リモートコンソールの初回のインストールにより、インストールダイアログボックスが再度表示されることがなくなります。コンソールソフトウェアを再インストールする必要がある場合は、インストールダイアログボックスをリセットする必要があります。インストールダイアログボックスが表示されない。

## 原因

iLO リモートコンソールソフトウェアのインストールに使用したブラウザ（Firefox または Chrome）とは異なるブラウザを使用中の場合は、ソフトウェアがすでにインストールされていても、ソフトウェアをインストールするよう求めるダイアログボックスが表示されます。

## アクション

1. コンソールを再インストールするには、**Shift** キーを押し、**アクション > コンソールの起動**を選択します。
2. ソフトウェアを再インストールするには、**ソフトウェアのインストール**をクリックし、アプリケーションのインストールのためのダイアログボックスをすべて閉じます。
3. **インストール完了** — **コンソールの起動**をクリックして、インストール後にコンソールを起動します。

# HPE Synergy コンポーザーのリストア操作に失敗した

## 症状

リストア操作と工場出荷時設定へのリセット操作が失敗したため、アプライアンスは再起動できませんでした。

## 解決方法 1

### 原因

バックアップファイルに互換性がない。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 次の条件を満たす最新のバックアップファイルを使用してリストア操作を再試行してください。  
リストア中のアプライアンスの HPE OneView メジャーおよびマイナーのバージョン番号が、バックアップファイルが作成されたアプライアンスと同じであること。設定画面には、次の形式でバージョン番号が表示されます。

バージョンメジャー.マイナー.nn-nnnnnn 月一日一年

3. リストア操作で自動的に解決できなかった不整合を調整します。



## 解決方法 2

### 原因

重大なエラーが発生した。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 認定サポート担当者にお問い合わせいただく必要がある場合、サポートダンプファイルを作成します。
3. 可能であれば、アプライアンスを工場出荷時設定にリセットします。それ以外の場合、HPE Synergy コンポーザーのイメージを再構築します。
4. リストア操作を再試行します。

## 解決方法 3

### 原因

リストア操作が失敗する。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 認定サポート担当者にお問い合わせいただく必要がある場合、サポートダンプファイルを作成します。
3. 以下のいずれかまたは両方の操作を行います。
  - ・ 最新のバックアップファイルを指定して、リストア操作を再試行します。
  - ・ アプライアンスと互換性のある別のバックアップファイルでリストア操作を行います。
4. 問題が解決しない場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。

## 解決方法 4

### 原因

リストア操作のステータスは、進行中だが、変化の比率 (%) が 2.5 時間以上変更されません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. アプライアンスを再起動します。
3. 以下のいずれかまたは両方の操作を行います。
  - ・ 最新のバックアップファイルを指定して、リストア操作を再試行します。
  - ・ アプライアンスと互換性のある別のバックアップファイルでリストア操作を行います。

# HPE OneView を使用した問題のトラブルシューティング

このトピックでは、HPE OneView でのアクションが必要な問題に対処するためのトラブルシューティング情報を提供します。

具体的なトラブルシューティング手順については、以下のリストのトピックを選択してください。

トラブルシューティングの対象	詳細情報
<ul style="list-style-type: none"><li>・ <a href="#">アクティビティ</a></li><li>・ <a href="#">アプライアンスの問題</a></li><li>・ <a href="#">アプライアンスネットワークのセットアップ</a></li><li>・ <a href="#">暗号化モードの切り替え</a></li><li>・ <a href="#">メール通知</a></li><li>・ <a href="#">エンクロージャーとエンクロージャーグループ</a></li><li>・ <a href="#">ファームウェアバンドル</a></li><li>・ <a href="#">HPE OneView ライセンス</a></li><li>・ <a href="#">インターコネクト</a></li><li>・ <a href="#">論理インターコネクト</a></li><li>・ <a href="#">ネットワーク</a></li><li>・ <a href="#">OS 展開サーバー</a></li><li>・ <a href="#">レポート</a></li><li>・ <a href="#">スコープ</a></li><li>・ <a href="#">サーバーハードウェア</a></li><li>・ <a href="#">サーバープロファイル</a></li><li>・ <a href="#">ストレージ</a></li><li>・ <a href="#">ユーザーアカウント</a></li></ul>	<a href="#">HPE OneView でのトラブルシューティングの基本的な手法</a>

## HPE OneView でのトラブルシューティングの基本的な手法

HPE OneView には、問題の解決に使用できるさまざまなトラブルシューティングツールがあります。画面とログを調査するという複合的なアプローチに従うことで、アクティビティと発生したエラーの履歴を取得できます。

- ・ アクティビティ画面には、ユーザーによるものかアプライアンスによるものかに関わらず、アプライアンスに対して行われたすべての変更のログが表示されます。これは監査ログに似ていますが、内容はより詳細で、UI から簡単にアクセスできます。



アクティビティ画面には、ヘルスアラートおよびステータス通知のログも表示されます。

- ・ 監査ログをダウンロードすると、システムに対して行われたセキュリティ関連の処置を把握するために役立ちます。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：セキュリティ」のセクションを参照してください。
- ・ サポートダンプファイルを作成は、デバッグに必要なログなどの情報を収集し、分析のために認定テクニカルサポートに送信できる暗号化された圧縮ファイルにまとめます。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。
- ・ インターコネクト、サーバー、およびエンクロージャーのステータスのレポートを確認します。レポートはインベントリ情報も提供でき、データセンター内のプロセッサとサーバーモデルの種類も確認できます。アップデートが必要なファームウェアを表示することもできます。

---

**注記:** UI が利用できない場合は、トラブルシューティングに Maintenance Console を使用できます。

---

推奨事項	説明
メッセージを探す	<p><b>構文エラーについて：</b></p> <p>値を入力すると、ユーザーインターフェイスにより構文がチェックされます。構文エラーがあると、エントリーの横に説明のメッセージが表示されます。正しい値が入力されるまで、ユーザーインターフェイスまたはコマンドラインには引き続きメッセージが表示されます。</p> <p><b>ネットワークのセットアップエラーについて：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ それらを適用する前に、アプライアンスが、IP アドレスや完全修飾ドメイン名 (FQDN) のような重要なネットワークパラメーターを検証して、それらのフォーマットが適切かどうか確認します。</li><li>・ ネットワーク設定が適用された後、アプライアンスは、到達可能性チェックやホスト名からの IP のルックアップなどのその他の検証を実行します。パラメーターが正しくない場合、アプライアンスはネットワークインターフェイスカード (NIC) に対する検証エラーを示すアラートを生成し、ブラウザとの間の接続は失われる可能性があります。</li></ul> <p><b>報告された重大なエラーについて：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ アプライアンスからエンクロージャーへの接続をチェックします。</li><li>・ サポートダンプを作成して、<a href="#">認定テクニカルサポートに問い合わせます</a>。</li></ul>
アクティビティ画面を調査する	<p>アクティビティについてのメッセージを見つけるには：</p> <hr/> <p><b>注記:</b> 仮想コンソールから以下の手順を実行する必要がある場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. ステータスが<b>クリティカル</b>または<b>警告</b>の最新のアクティビティを見つけます。</li><li>2. アクティビティを展開して、エラーの解決方法の推奨処置を表示します。</li><li>3. 指示に従ってください。</li></ol>

# アクティビティのトラブルシューティング

以下の情報を使用して、アクティビティ画面に表示されるアラートのトラブルシューティングを行います。

- ・ アラートが生成されない
- ・ アラートが HPE OneView ユーザーインターフェイスに表示されない
- ・ HPE OneView アラートがロックされている
- ・ HPE OneView でのアラート状態が予期されたものではない
- ・ HPE OneView でアラートのステータスが空白または予期しないとしてレポートされる
- ・ イベントが解決した後も元のアラートが残る

## アラートが生成されない

### 症状

アラートが生成されません。

### 原因

アプライアンスがコンプライアンスに従っていない。  
サーバーハードウェアのライセンス数が超過しています。

### アクション

サーバーハードウェアにライセンスを適用します。

## アラートが HPE OneView ユーザーインターフェイスに表示されない

### 症状

アラート画面にアクセスできないか、その画面にアラートが投稿されていない

### 原因

権限が適切でない

### アクション

1. 可能であれば、特権ユーザーとしてログインします。可能でない場合は、物理リソースタイプのアラートを認識できるロールに変更するように、インフラストラクチャ管理者に要求します。
2. 再度ログインします。
3. アクティビティ画面を表示します。

## HPE OneView アラートがロックされている

### 症状

アラートがロックされており消去できない。



## 原因

アクティブアラートが内部のリソースマネージャーによってロックされています。

**注記:** ロック済アラートは手動では消去できません。

## アクション

1. アラートを展開し、**解決策**に記された推奨アクションに従います。
2. 詳細が必要な場合は、**イベント詳細**を展開し、**correctiveAction**の詳細を参照してください。
3. 内部リソースマネージャは、推奨されるアクションが実行されたことを検知すると、アラートステータスを自動的にクリア済に変更します。

問題が解決されても、ロックされたアラートが自動的にクリアされない場合は、REST API の `PUT / rest / alerts / {id} ?force = true` を使用して、ロックされたアラートをクリアできます。

詳細については、**HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用**にある「アクティビティ」の章の「アラート」と「アクティビティの状態」を参照してください。

## 詳細情報

- ・ [HPE OneView API リファレンス](#)
- ・ [HPE OneView API リファレンス HPE Synergy](#)

## HPE OneView でのアラート状態が予期されたものではない

### 症状

以下に示す以外のアラート状態：

- ・ アクティブ
- ・ ロック済
- ・ クリア済

### 原因

リソースが、原因になっている問題について予期しないアラート状態を報告しました。

### アクション

1. アラートを展開し、**解決策**に記された推奨アクションに従います。
2. 詳細が必要な場合は、**イベント詳細**を展開し、**correctiveAction**の詳細を参照してください。
3. リソースは変更を検出すると、自動的にアラートの状態をクリア済に変更します。

## HPE OneView でアラートのステータスが空白または予期しないとしてレポートされる

### 症状

以下に示す以外のアラートステータス：

- ・ クリティカル
- ・ 警告
- ・ OK
- ・ 不明

#### アクション

1. アクティビティをクリアします。
2. クリアされたアクティビティをリストアします。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「アクティビティ」のセクションを参照してください。

## イベントが解決した後も元のアラートが残る

#### 症状

イベントが解決され、他のすべてのアラートがすべてクリアされても、アラートは通知に残ります。

#### 原因

問題が解決すると多くのアラートが自動的にクリアされますが、元のアラートは手動でクリアする必要があります。元のメッセージは、管理者がインシデントを認識できるように保持されます。そうしないと、イベントが発生しても認識されない可能性があります。

#### アクション

手動でアラートをクリアします。

## アプライアンスの問題のトラブルシューティング

- ・ アクティブアプライアンスとスタンバイ HPE Synergy コンポーザーアプライアンスが接続されていない
- ・ アプライアンスがシャットダウンしなかった
- ・ iLO に保存されているアプライアンス暗号化キーが破損している
- ・ アプライアンスはオフラインで使用できない
- ・ アプライアンスがオフラインであり、手動操作が必要
- ・ アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー
- ・ アプライアンスのパフォーマンスが低い
- ・ HPE OneView で監査のエントリがログに記録されていない
- ・ HPE OneView から監査ログをダウンロードできない
- ・ HPE OneView に監査ログが存在しない
- ・ ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない
- ・ 工場出荷時リセットまたはリストア後にアプライアンスにリモートアクセスできない

- ・ HPE Synergy コンポーザーのバックアップファイルの作成やダウンロードができない
- ・ HPE OneView HPE Synergy コンポーザーで暗号化されていないサポートダンプを作成できない
- ・ USB フラッシュドライブに HPE Synergy コンポーザーサポートダンプをダウンロードできない
- ・ 工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない
- ・ シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない
- ・ HPE Synergy コンポーザーアプライアンスをアップデートできない
- ・ スタンバイアプライアンスをアップデートできない
- ・ 証明書が失効した
- ・ ブラウザーセッションを取得できなかった
- ・ 証明書管理機能が有効な場合、アップグレード後にエラーメッセージが表示される
- ・ HPE Synergy コンポーザーアプライアンスアップデートファイルをダウンロードしても、アップデートが失敗する
- ・ HPE Synergy コンポーザーアプライアンスのアップデートが失敗する
- ・ HPE OneView が共有対称暗号鍵をネゴシエートできない
- ・ HPE OneView が SSH 情報を取得できない
- ・ HPE OneView がリモートバックアップ構成を確認できない
- ・ HPE OneView がアプライアンス iLO と通信できない
- ・ ハードウェアをセットアップするユーザーがログインできない
- ・ HPE OneView ダッシュボードにアイコンが表示されない
- ・ 無効な証明書チェーンによって操作ができない
- ・ HPE OneView で証明書の内容が無効で処理ができない
- ・ ログイン画面が表示されない
- ・ 公開 SSH ホストキーが現在の暗号化設定と互換性がない
- ・ iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする
- ・ HPE OneView のリストア操作後、Remote Support に失敗する
- ・ HPE Synergy コンポーザーのリストア操作に失敗した
- ・ リモートバックアップサーバーの SSH ホスト公開キーが無効である
- ・ 選択したアプライアンスイメージが認証されなかった
- ・ サポートダンプに HPE Synergy Composer スタンバイアプライアンスのデータが含まれていない
- ・ HPE Synergy コンポーザーのサポートダンプファイルが保存されていない
- ・ HPE Synergy コンポーザーのサポートダンプが作成されない
- ・ CA 署名付きクライアント証明書を使用して SCMB サーバーに接続できない
- ・ 証明書をインポートできない
- ・ メインメニューにすべてのリソースを表示できない

- ・ 予期しないアプライアンスのシャットダウン
- ・ HPE Synergy Composer サポートダンプ中に USB ドライブが認識されない

## アクティブアプライアンスとスタンバイ HPE Synergy コンポーザーアプライアンスが接続されていない

### 症状

設定ページのアプライアンスパネルに、アクティブアプライアンスとスタンバイアプライアンスが接続されていないことが示される。

### 解決方法 1

#### 原因

スタンバイアプライアンスの電源が入っていない。

#### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. メインメニューから、**サーバー > エンクロージャーページ**を選択します。
3. スタンバイアプライアンスの電源が入っていることを確認します。
4. Maintenance Console にログインし、アプライアンスのヘルスステータスを確認します。

### 解決方法 2

#### 原因

エンクロージャーの電源が入っていない。

#### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. メインメニューから、**サーバー > エンクロージャーページ**を選択します。
3. エンクロージャーの電源が入っていることを確認します。

## アプライアンスがシャットダウンしなかった

### 症状

シャットダウン操作をしてもアプライアンスが起動したままだった。

### 原因

内部サーバーエラーが発生した可能性があります。

### アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. インフラストラクチャ管理者としてログインします。



3. シャットダウン操作を再試行します。
4. Maintenance Console からシャットダウン操作を再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、サポートダンプを作成します。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。
6. 認定サポート担当者に連絡して、サポートダンプを提供します。Hewlett Packard Enterprise への問い合わせについては詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス](#)を参照してください。

## iLO に保存されているアプライアンス暗号化キーが破損している

### 症状

蓄積データの保護オプションが有効になっている HPE OneView の UI が、アプライアンスの再起動後に通常より遅くなります。アプライアンスの Maintenance Console には、「**The appliance encryption key cannot be retrieved or is corrupt. Use the "Manage appliance encryption key" command to apply a previously saved key or disable secure data-at-rest.** (アプライアンス暗号化キーを取得できないか、破損しています。以前保存したキーを適用するか、蓄積データの保護を無効にするには、[アプライアンス暗号化キーの管理]コマンドを使用してしてください)」というメッセージが表示されます。

### 原因

HPE OneView において、蓄積データの保護が有効な状態で、iLO に保存されているアプライアンス暗号化キー (AEK) が破損しているか、取得できません。

### アクション

1. アプライアンスの Maintenance Console を開きます。
2. メインメニュー画面で、**Appliance encryption key error** メッセージが表示されている場合、**[E] Manage appliance encryption key** オプションを選択します。
3. 次の画面で、**[A] Apply a backup of the appliance encryption key** オプションを選択します。
4. 次の画面で、**[D] Disable secure data-at-rest** オプションを選択します。

## アプライアンスはオフラインで使用できない

### 症状

アプライアンスがオフラインであり、データが不完全なためにアプライアンスを使用できないことが、Maintenance Console に示されている。

アプライアンスクラスター内のどのアプライアンスもアクティブではない。データ整合性の制約により、アプライアンスの自動アクティブ化ができない。

### 原因

オフラインおよび使用不能 (不完全なデータ) 状態のアプライアンスがデータの同期中に機能停止したか、ディスクの書き込みエラーが発生した。この状態のアプライアンスはアクティブ化できません。

### アクション

1. クラスター内の他のアプライアンスと、オフラインおよび使用不能のアプライアンスを再接続します。
2. 別のアプライアンスに最新のデータがある可能性が高いです。

3. アプライアンスの間の接続を再確立するとデータ同期を完了することができます。
4. 最新のアプライアンスのエンクロージャーをオンラインに戻します。
5. 最新のアプライアンスの Maintenance Console から **View details** コマンドを使用して場所（エンクロージャーとアプライアンスのベイ）を見つけます。
6. そのエンクロージャー、またはフレームリンクモジュールがオフラインの場合、電源をオンにすると問題が解決する可能性があります。
7. エンクロージャーまたはフレームリンクモジュールをオンラインに戻すことができない場合は、動作中のエンクロージャーに最新のアプライアンスを移動します。
8. 障害保護を改善するため、クラスター化されたアプライアンスはできるだけ別々のエンクロージャーにインストールしてください。
9. LINK ポート間の接続を修復します。
10. 最新のアプライアンスが動作中である場合、LINK ポートをリンクしているケーブルが切断されている可能性があります。このようなケーブルすべてが正しく接続されていることを確認します。再接続すると問題が解決する可能性があります。
11. バックアップからリストアします。
12. 最新のアプライアンスが、復旧不能な状態にある場合は、リストア操作にアプライアンスのデータのバックアップコピーを使用します。
  - a. 両方のアプライアンスを工場出荷時設定へリセットまたは再イメージします。
  - b. 1つのアプライアンスを互換性のある最近のバックアップ ファイルからリストアします。
  - c. その他（または別の）アプライアンスが、リストアされたアプライアンスとともに高可用性クラスターに参加することを許可します。
13. 交換用アプライアンスが必要な場合は、高可用性をリストアするために後で追加できます。

## アプライアンスがオフラインであり、手動操作が必要

### 症状

アプライアンスがオフラインであり、安全なリストア操作のために手動操作が必要なことが、Maintenance Console に示されている。

アプライアンスクラスター内のどのアプライアンスもアクティブではない。データ整合性の制約により、アプライアンスの自動アクティベーションができない。

### 解決方法 1

#### 原因

リンクエンクロージャーネットワークでの、ネットワークの問題、または複数の切断により、障害が発生した可能性があります。エンクロージャーの LINK ポートに接続するケーブルが切断されています。

#### アクション

1. 障害の原因を修正することで高可用性をリストアします。可能であれば、
  - a. ネットワーク接続を修復します。

すべてのリンクエンクロージャーのネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認します。

b. LINK ポートを接続するケーブルを接続しなおします。

## 2. エンクロージャーをオンラインに戻します。

Maintenance Console の View details コマンドを使用して、ステータスが確認できないアプライアンスを識別します。アプライアンスは、そのエンクロージャーとアプライアンスのベイ番号で識別されます。

対応するエンクロージャー、またはフレームリンクモジュールがオフラインの場合、電源をオンにすると問題が解決する可能性があります。

## 3. エンクロージャーまたはフレームリンクモジュールをオンラインに戻すことができない場合は、動作中のエンクロージャーにアプライアンスを移動します。

障害保護を改善するため、クラスター化されたアプライアンスはできるだけ別々のエンクロージャーにインストールしてください。

## 解決方法 2

### 原因

アプライアンスが機能できず、高可用性をリストアすることはできません。

**△ 注意:** この手順では、データの整合性保護をオーバーライドする必要があります。この手順では、細心の注意を払ってください。

### アクション

## 1. アプライアンスのクラスター内で両方のアプライアンスの位置を確認します。位置は、エンクロージャーとアプライアンスのベイから得られます。Maintenance Console の **View details** アクションを使用すると、いずれかのアプライアンスから他のアプライアンスのこの情報を提供できます。

**△ 注意:** アプライアンスを誤認すると、**復旧不能なデータ損失**につながる可能性があります。

## 2. 各アプライアンスについて以下を確認します。

- ・ エンクロージャー内に存在するか。
- ・ 電源が投入されているか。
- ・ Maintenance Console の通知バナーに、アプライアンス間で同期されていない変更についての警告が表示されているか。

## 3. アクティブ化するアプライアンスを選択します。以下の要件を使用してください。

- ・ アプライアンスに、同期されていない変更の警告が表示されている場合はそれを選択します。
- ・ アプライアンスが以下の場合は、他のアプライアンスを選択します。
  - 失われていて、回復することができない。
  - オンラインにできない。

同期されていない変更が、失われたアプライアンスに含まれている場合は、修復不能なデータ損失が発生する可能性があります。

4. 選択していないアプライアンスについて以下を確認します。

- ・ 電源が切れていること。
- ・ エンクロージャーから削除されていること、または
- ・ 再起動の直後であること。

❗ **重要:** この手順は、両方のアプライアンスが同時にアクティブにならないことを確実にするために重要です。そうしないと、それらを再同期することが不可能になり、復旧不能なデータ損失が発生します。

5. 選択したアプライアンスの Maintenance Console で、**Activate** を選択し、アクションを確認します。詳しくは、「高可用性がない場合、手動で Synergy コンポーザーをアクティブ化する」を参照してください。

進捗をモニターするには、状態を参照してください。

## アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー

### 症状

復旧不能エラーによりアプライアンスがオフラインになっています。HPE OneView にアプライアンスのエラー画面が表示されます。

### 原因

HPE OneView で内部エラーが発生しました。

アプライアンスのエラー画面にはエラーに関する詳細が表示され、判明している場合は、エラー検出に基づいて推奨される対応策が表示されます。

以下の操作の 1 つまたは複数を実行するよう指示される場合があります。

### アクション

1. アプライアンスを再起動します。
2. プロンプトが表示されたら、サポートダンプファイルを作成して、認定サポート担当者に問い合わせます。
3. アプライアンスをシャットダウンして、HPE OneView と同じバージョンの新しいアプライアンスにバックアップをリストアします。
4. 新しいアプライアンスへの HPE OneView のリカバリが完了するまでは、古いアプライアンスを削除しないでください。エラー状態のアプライアンスを復旧する必要がある場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用の「設定：バックアップ」](#)のセクションを参照してください。

## アプライアンスのパフォーマンスが低い

### 症状

アプライアンスは動作するが、パフォーマンスが低い。

## 原因

アプライアンスの構成が最適なパフォーマンスのために設定されていません。

## アクション

1. 物理コンポーネントが **HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス**に記載されている要件を満たしていることを確認します。
2. アプライアンスと管理対象デバイスの間で適切なネットワーク接続を確認してください。
3. 使用可能なストレージが許容可能なことを確認します。
4. ローカルコンピューターから ping コマンドを使用して、ping の往復時間が許容可能かどうかを確認します。長い時間は、ブラウザーの問題を示すことがあります。
5. ブラウザー設定が正しいことを確認します。
6. プロキシサーバーをバイパスすることを検討してください。
7. 規模の制限を超えていないことを確認します。 **HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス**を参照してください。
8. サポートダンプファイルを作成して、**認定テクニカルサポート**に問い合わせます。

## HPE OneView で監査のエントリーがログに記録されていない

### 症状

監査ログのエントリーが欠けている。

### 原因

監査ログの編集によってログ記録が停止した。

### アクション

アプライアンスを再起動します。

詳しくは、**HPE OneView ヘルプ**の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

## HPE OneView から監査ログをダウンロードできない

### 症状

監査ログをダウンロードするためのアクションメニュー項目が表示されていない。

### 原因

権限が適切ではありません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 監査ログをダウンロードします。

詳しくは、**HPE OneView ヘルプ**の「設定：セキュリティ」のセクションを参照してください。

## HPE OneView に監査ログが存在しない

### 症状

監査ログが削除された。

### アクション

アプライアンスを再起動して、監査ログを作成し、ログ記録を再開します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

## ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない

### 症状

ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない。

### 解決方法 1

#### 原因

ブラウザーがサポートされていません。

#### アクション

サポートされているブラウザーを使用してください。[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) サポートマトリックス](#)を参照してください。

### 解決方法 2

#### 原因

ブラウザーのキャッシュがいっぱいになっている。

#### アクション

1. ブラウザーのキャッシュをクリアして、再試行します。
2. ブラウザーを更新するか、再ロードします。

### 解決方法 3

#### 原因

JavaScript が有効でない。

#### アクション

ブラウザーで JavaScript を有効にします。

### 解決方法 4

#### 原因

アプライアンスとの接続に問題があります。



## アクション

1. ブラウザーのプロキシ設定が正確であることを確認します。
2. ブラウザーを更新するか、再ロードします。
3. アプライアンスがネットワークにアクセスできることを確認します。  
詳細については、[アプライアンスがネットワークにアクセスできない](#)を参照してください。

## 解決方法 5

### 原因

HPE OneView で、ブラウザーからの要求に応答できないというエラーが発生しました。

### アクション

1. Maintenance Console にログインします。
2. アプライアンスの状態を調べます。
3. [HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)の「Maintenance Console でのアプライアンスの状態」セクションに示されている適切な処置を使用してください。

## 工場出荷時リセットまたはリストア後にアプライアンスにリモートアクセスできない

### 症状

工場出荷時リセットまたはリストア後に（HPE OneView GUI または SSH 接続を使用した Maintenance Console から）アプライアンスにリモートアクセスできない

### 原因

アプライアンスネットワークが正しく構成されなかったか、または工場出荷時リセット時にアプライアンスのネットワーク設定を保存しますオプションが選択されませんでした。

### アクション

1. [HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)にある「キーボード、ビデオモニター、マウスを使用したアプライアンスの Maintenance Console へのアクセス」を参照してください。
2. Synergy コンポーザーのネットワーク設定を変更します。  
詳しくは、「[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用の「設定：アプライアンスネットワーク」](#)」セクションと [HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)の「[「アプライアンス Maintenance Console からアプライアンスネットワークを構成」](#)」を参照してください。

## HPE Synergy コンポーザーのバックアップファイルの作成やダウンロードができない

### 症状

バックアップファイルを作成またはダウンロードできなかった。



## 解決方法 1

### 原因

関連するほかの操作が進行中である。バックアップファイルは、一度に1つしか作成できません。バックアップファイルは、リストア操作中や、前のバックアップファイルのアップロードまたはダウンロード中には作成できません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 別のバックアップまたはリストア操作が実行中でないかを確認します。設定画面の進行状況バーまたはアクティビティのサイドバーに示された完了状況を確認します。
3. ジョブの操作が完了するまで待ちます。
4. アラートが表示された場合は、その解決方法に従います。
  - ・ バックアップ操作を再試行します。
  - ・ バックアップ操作が失敗した場合は、アプライアンスを再起動します。
  - ・ アプライアンスを再起動した後、バックアップ操作を再度実行します。

## 解決方法 2

### 原因

ネットワーク接続の問題によってダウンロードできません。

### アクション

ネットワークが正しく構成されていて、予期したとおりに実行されていることを確認します。

## 解決方法 3

### 原因

バックアップ操作中にプロファイル操作が実行されていたため、次のいずれかが発生しました。

- ・ ネットワーク内で GUID が重複する
- ・ サーバーに前のプロファイルの設定が適用される
- ・ エラーメッセージ：操作は中断されました
- ・ エラーメッセージ：構成に整合性がありません

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 影響を受けるサーバーを特定します。
3. サーバーからプロファイルの割り当てを解除します。
4. サーバーにプロファイルを再割り当てします。



いずれかのエラーメッセージが報告された場合は、この状態に関係した、(HPE OneView には関連のない) 次のような要因を確認します。

サーバーが移動されたかどうか？

サーバーの電源がオフにされたかどうか？

5. サポートダンプファイルを作成します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

6. 認定サポート担当者に、この問題を報告します。

## HPE OneView HPE Synergy コンポーザーで暗号化されていないサポートダンプを作成できない

### 症状

暗号化されたサポートダンプファイルを作成できるが、暗号化されていないものを作成できない。

### 原因

暗号化されていないサポートダンプファイルを作成する適切な権限がありません。インフラストラクチャ管理者のみが実行できます。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。

2. サポートダンプの作成操作を再試行してください。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

3. 暗号化されていないサポートダンプのオプションを指定します。

4. サポートダンプを作成します。

5. 進行状況バーを調べることで、成功を確認します。

## USB フラッシュドライブに HPE Synergy コンポーザーサポートダンプをダウンロードできない

### 症状

USB フラッシュドライブへのサポートダンプファイルの作成およびダウンロードの試みが失敗する。

### 解決方法 1

### 原因

USB フラッシュドライブに、サポートダンプファイルを格納するための十分なディスク領域がありません。



## アクション

1. USB フラッシュドライブに 1~4 GB の空きディスク領域があることを確認します。
2. Linux または Windows オペレーティングシステムを実行するコンピューターを使用して、不要なファイルを削除します。
3. サポートダンプの作成手順を再試行して、サポートダンプファイルを USB フラッシュドライブにダウンロードします。  
詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのセクション「設定 : アプライアンス」を参照してください。

## 解決方法 2

### 原因

USB フラッシュドライブがマウントされていないか、その形式に互換性がありません。

### アクション

1. 次のいずれかを実行します。
  - a. USB フラッシュドライブが正しくマウントされていることを確認します。
  - b. NTFS または exFAT ファイルシステムとして、USB フラッシュドライブを再フォーマットします。
  - c. NTFS または exFAT ファイルシステムとしてフォーマットされた、別の USB フラッシュドライブを使用します。
2. サポートダンプの作成手順を再試行して、サポートダンプファイルを USB フラッシュドライブにダウンロードします。  
詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのセクション「設定 : アプライアンス」を参照してください。

## 解決方法 3

### 原因

USB フラッシュドライブのファイルシステムのタイプが FAT32 であり、サポートダンプファイルが 4 GB を超えています。

### アクション

1. 次のいずれかを実行します。
  - a. NTFS または exFAT ファイルシステムとして、USB フラッシュドライブを再フォーマットします。
  - b. NTFS または exFAT ファイルシステムとしてフォーマットされた、別の USB フラッシュドライブを使用します。
2. サポートダンプの作成手順を再試行して、サポートダンプファイルを USB フラッシュドライブにダウンロードします。  
詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのセクション「設定 : アプライアンス」を参照してください。

## 解決方法 4

### 原因

サポートダンプファイルがダウンロードされていません。

### アクション

1. USB フラッシュドライブを再挿入します。
2. USB フラッシュドライブをクリーンアップします。
3. サポートダンプの作成手順を再試行して、サポートダンプファイルをダウンロードします。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのセクション「設定 : アプライアンス」を参照してください。

## 工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない

### 症状

工場出荷時設定へのリセット操作後にログインが許可されない。

### 原因

工場出荷時設定へのリセットによって認証が削除されました。

### アクション

初めてログインしたときに使用したデフォルトの認証情報でアプライアンスにログインします。

## シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない

### 症状

再起動操作の結果、再起動ではなくシャットダウンした。

### 原因

内部サーバーエラーが発生した可能性があります。

### アクション

必要な権限 : インフラストラクチャ管理者

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 再起動操作を再実行します。
3. Maintenance Console から再起動操作を再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、サポートダンプを作成します。
5. 認定テクニカルサポートに連絡して、サポートダンプを提供します。



# HPE Synergy コンポーザーアプライアンスをアップデートできない

## 症状

アプライアンスのアップデート操作が失敗する。

## 解決方法 1

### 原因

権限が適切でない

### アクション

必要な権限：インフラストラクチャ管理者

1. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。
2. アップデート操作をもう一度実行します。

## 解決方法 2

### 原因

アプライアンスがネットワークにアクセスできない。

### アクション

[アプライアンスがネットワークにアクセスできない](#)を参照してください。

## 解決方法 3

### 原因

アプライアンス証明書が無効、失効した、あるいは変更された。

### アクション

1. 設定画面のセキュリティウィンドウから、証明書の設定を調べます。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：セキュリティ」のセクションを参照してください。
2. アプライアンス証明書が無効か失効している場合は、新たに取得します。  
証明書タイプに応じて、「アプライアンス自己署名証明書の作成」トピック、または [HPE OneView ヘルプ](#)または [HPE OneView ユーザーガイド](#)の「アプライアンス証明書署名リクエストの作成」トピックを参照してください。
3. ブラウザーページを更新します。
4. 新しい証明書を承諾します。
5. アップデート操作を再度試します。

## 解決方法 4

### 原因

十分なディスク容量がない。アップデート操作には、アップデートファイル `update.bin` の 2 倍の空きディスク容量が必要です。

### アクション

1. 以下の REST API 呼び出しを実行して、アップデート操作に関連するファイルを削除し、ディスクスペースを解放します。

```
DELETE https://{appl}/rest/appliance/firmware/pending
Accept: application/json
Auth: authorization
X-API-Version:200
```

2. アップデート操作を再度試します。

## スタンバイアプライアンスをアップデートできない

### 症状

高可用性クラスター内のスタンバイアプライアンスでアプライアンスのアップデートが完了しない

### 原因

スタンバイアプライアンスが使用できないか、接続されていない

### アクション

1. データセンターで、次のオプションから選択します。
  - ・ プリロード済み USB ドライブを使用した HPE Synergy アプライアンスを再イメージします。
  - ・ スタンバイアプライアンスで一時 IP アドレスが作成されるように、Maintenance Console からアプライアンスネットワークを構成します。これにより、認証された HPE OneView ユーザーがスタンバイアプライアンス上でアップデートアクションを再試行できます。

詳しくは、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)またはオンラインヘルプを参照してください。

## 証明書が失効した

### 症状

認証機関が証明書を認識しない。

### 原因

証明書が有効ではなくなっています。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、アプライアンス用の新しい証明書を作成または取得します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)または[HPE OneView ユーザーガイド](#)の「アプライアンス証明書署名リクエストの作成」トピックを参照してください。

2. 新しい署名要求を生成します。

## ブラウザセッションを取得できなかった

### 症状

ブラウザにセッションが表示されないか、セッションがフリーズしたように表示される。

### 解決方法 1

#### 原因

セッションがタイムアウトした

#### アクション

1. ログアウトします。
2. ログインし直して新しいセッションを開始します。

### 解決方法 2

#### 原因

セッションからログアウトしている。

#### アクション

ログインして新しいセッションを開始します。

## 証明書管理機能が有効な場合、アップグレード後にエラーメッセージが表示される

### 症状

証明書管理機能が有効な場合、HPE OneView 4.0 以降にアップグレードした後、次の警告メッセージが表示されます。

現在のアプライアンス証明書は、以前のバージョンのアプライアンスで当初生成されました。Two-Factor 認証用に構成された iLO との通信はサポートされていません。iLO の Two-Factor 認証は、拡張キー使用法フィールドに"クライアント認証"属性を含むアプライアンス証明書を必要とします。

このアラートは、iLO の Two-Factor 認証を使用していない環境では無視できます。iLO の Two-Factor 認証を使用する場合は、新しいアプライアンスの自己署名証明書を生成するか、新しい証明書署名リクエストを実行してください。

### 解決方法 1

#### 原因

アプライアンス Web サーバー証明書にクライアント認証属性がありません。



## アクション

アプライアンスの新しい自己署名証明書を生成します。

## 解決方法 2

### アクション

CA 署名付きアプライアンス証明書の場合は、新しい証明書署名リクエストを作成します。  
[HPE OneView ユーザーガイド](#)の証明書の管理に詳細が記載されています。

## HPE Synergy コンポーザーアプライアンスアップデートファイルをダウンロードしても、アップデートが失敗する

### 症状

アップデートファイルが正常にダウンロードされたが、アップデート操作によってアプライアンスがアップデートされない。

### 解決方法 1

#### 原因

ダウンロードファイルがブラウザーには大きすぎる。

#### アクション

1. ダウンロードサイズがブラウザーの機能内であることを確認します。
2. 別のブラウザーを使用します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「ブラウザー」のセクションを参照してください。

### 解決方法 2

#### 原因

ファイルがアプライアンスから削除された。

#### アクション

1. アップデートファイルをダウンロードします。
2. アップデート操作を再試行します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アプライアンスのアップデート」を参照してください。

### 解決方法 3

#### 原因

アプライアンスのバージョンは、アップデートの対象となるバージョンの範囲外です。

## アクション

1. サポートされているバージョン（アプライアンスのバージョンに基づいた）のアップデートファイルをダウンロードします。
2. アップデート操作を再試行します。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アプライアンスのアップデート」を参照してください。

## HPE Synergy コンポーザーアプライアンスのアップデートが失敗する

### 症状

アップデートアクションの前に、アプライアンスのアップデートに影響するすべてのブロックまたは警告の条件が表示されます。

アップデートが失敗する

### アクション

1. すでにインストールされている同じバージョンにアップグレードしていないことを確認します。
2. アップデートを再試行する前に、設定画面の[アプライアンスパネル](#)で、LAN、CPU、およびメモリのすべてのステータスインジケータが緑色であることを確認します。
3. サポートダンプを作成し、[HPE サポート担当者にお問い合わせ](#)ます。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

## HPE OneView がアプライアンス iLO と通信できない

### 症状

HPE OneView で[蓄積データの保護]オプションが有効になっている場合、アプライアンスの一部の機能が動作を停止します。たとえば、蓄積データの保護の有効化または無効化、アプライアンス暗号化キーのダウンロード、アプライアンス暗号化キーの生成などの機能です。

### 原因

[蓄積データの保護]オプションが有効になっている場合、HPE OneView はアプライアンス iLO と通信することができません。

### アクション

1. アプライアンスの Maintenance Console を開きます。
2. メインメニュー画面で、**Appliance encryption key error** メッセージが表示されている場合、**[E] Manage appliance encryption key** オプションを選択します。
3. 次の画面で、**[D] Disable secure data-at-rest** オプションを選択します。

## ハードウェアをセットアップするユーザーがログインできない

### 症状

ハードウェアをセットアップするユーザーの認証がブロックされる。





## 原因

アプライアンスは、ハードウェアをセットアップするユーザーに対してアクセスを拒否するように構成されています。

## アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. セキュリティの編集画面にアクセスします。  
詳細については、「設定：セキュリティ」セクション ([HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)) を参照してください。
3. **ハードウェアセットアップアクセス**を有効にします。
4. ログアウトし、ハードウェアをセットアップするユーザーとしてログインしなおします。
5. 操作を再試行してください。

## HPE OneView が共有対称暗号鍵をネゴシエートできない

### 症状

一致する鍵交換方式が見つからなかったため、リモートバックアップ構成の検証に失敗し、エラーメッセージが表示されます。

### 原因

アプライアンス上での各セッションの共有対称暗号鍵のネゴシエーションに使用可能な鍵交換アルゴリズムが、リモートバックアップサーバーでサポートされているアルゴリズムのリストと一致していません。

### アクション

リモートバックアップサーバーに構成されている `KexAlgorithms` に、[サポートされているアルゴリズム]リストのアルゴリズムが含まれていることを確認してください。

## HPE OneView が SSH 情報を取得できない

### 症状

リモートサーバーの公開ホストキーを生成できません。

### 原因

- ・ アプライアンスで公開または非公開のホストキーペアを生成するために使用されるアルゴリズムが、リモートバックアップサーバーでサポートされているアルゴリズムのリストと一致しません。
- ・ アプライアンスでサポートされている対称暗号アルゴリズムが、リモートバックアップサーバーでサポートされているものと一致しません。

### アクション

リモートバックアップサーバーで構成されている暗号と `HostKeyAlgorithms` に、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)の「HPE OneView とバックアップサーバー間のセキュアな接続のための暗号」項目にー

覧表示されているサポートされているアルゴリズムリストにあるアルゴリズムが含まれていることを確認します。

## HPE OneView がリモートバックアップ構成を確認できない

### 症状

リモートバックアップ構成の検証に失敗し、ファイル転送プロトコルのエラーメッセージが表示されません。

### 原因

アプライアンスで各メッセージのハッシュをメッセージ認証コードに変換するために使用可能なアルゴリズムが、リモートバックアップサーバーでサポートされているアルゴリズムのリストと一致していません。

### アクション

リモートバックアップサーバーに構成されている MAC に、[サポートされているアルゴリズム]リストのアルゴリズムが含まれていることを確認してください。

## HPE OneView ダッシュボードにアイコンが表示されない

### 症状

ダッシュボードのアイコンが表示されません。

### 原因

ブラウザーがアイコンをロードする前にタイムアウトが発生しました。

### アクション

1. ブラウザーを更新するか、再ロードします。
2. アプライアンスがネットワークにアクセスできることを確認します。

## 無効な証明書チェーンによって操作ができない

### 症状

リモートアプライアンスの証明書チェーンが破損した。

### アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. インフラストラクチャ管理者として、アプライアンス用の新しい証明書を作成または取得します。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アプライアンス証明書署名リクエストの作成」を参照してください。
3. 新しい署名要求を生成します。



## HPE OneView で証明書の内容が無効で処理ができない

### 原因

証明書のフォーマットが無効である。

### アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. インフラストラクチャ管理者として、有効なフォーマットを使用して新しいアプライアンスを作成または取得します。詳しくは、「証明書署名要求の作成」トピックまたは [HPE OneView ヘルプ](#) の「自己署名証明書の作成」を参照してください。
3. 新しい証明書をインポートしてください。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#) の「アプライアンス証明書のインポート」トピックを参照してください。

## ログイン画面が表示されない

### 症状

ログイン画面がないか、ログイン画面はあるが、アプライアンスがログインを拒否している

### 解決方法 1

#### 原因

アプライアンスがまだ起動していないか、ブラウザが正しく動作していない。

#### アクション

1. アプライアンスが完全に起動するまで待ちます。
2. ブラウザーを更新して、再試行します。
3. 新しいブラウザを開いて、再試行します。
4. インフラストラクチャ管理者として、REST API を使用してアプライアンスを再起動します。

### 解決方法 2

#### 原因

ローカルユーザーアカウントの認証が無効です。

#### アクション

1. 間違えた場合は、ログイン名とパスワードを再入力します。
2. インフラストラクチャ管理者に、ログイン名と役割設定を確認します。アプライアンスが元の工場出荷時設定にリセットされた場合、インフラストラクチャ管理者がユーザーを復権させる必要が生じることがあります。
3. インフラストラクチャ管理者として、次の操作を実行します。



- a. アカウント名を確認し、ユーザーに役割が割り当てられていることを確認します。
- b. アプライアンスを再起動し、もう一度やり直してください。

### 解決方法 3

#### 原因

認証ディレクトリサービスの認証が無効です。

#### アクション

1. 間違えた場合は、ログイン名とパスワードを再入力し、正しい認証ディレクトリを選択します。
2. インフラストラクチャ管理者にログイン名と、グループ設定と役割設定を確認します。アプライアンスが元の工場出荷時設定にリセットされた場合、インフラストラクチャ管理者がユーザーを復権させる必要が生じることがあります。
3. インフラストラクチャ管理者として、次の操作を実行します。
  - a. アカウント名を確認し、ユーザーがディレクトリサービス内のグループのメンバーであることを確認します。
  - b. 認証ディレクトリサービスが正しく構成されていることを確認します。
  - c. ディレクトリサービスサーバーが動作していることを確認します。 ディレクトリサービスを HPE OneView から使用できないを参照してください。
  - d. ディレクトリサービスホスト証明書が有効であることを確認します。有効でなければ、証明書を再取得してインストールします。
  - e. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせ、認証情報が正確であることを確認します。
  - f. アプライアンスを再起動し、もう一度やり直してください。

## 公開 SSH ホストキーが現在の暗号化設定と互換性がない

#### 症状

SSH 公開ホストキーに互換性がないため、リモートバックアップ構成を適用できない。

#### 原因

- ・ リモートバックアップサーバーのアルゴリズムを使用して生成された公開キーは、現在のセキュリティモードのアプライアンスでは脆弱です。この例には、FIPS モードや CNSA モードの DSA キーなどがあります。各 HPE OneView リリースのサポート暗号化アルゴリズムをリストしている HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用の「HPE OneView とバックアップサーバー間のセキュアな接続のための暗号」項目を参照してください。
- ・ RSA キーの長さが不十分です。この例には、RSA 2048 ビットに対して RSA 1024 ビットが生成されている場合などがあります。

一部のプログラム（CompleteFTP など）による 2048 ビットキーの生成により、2047 ビットキーが生成される場合があります。

## アクション

十分な強度と長さの公開キーまたは秘密キーのペアをリモートバックアップサーバーにインストールし、リモートバックアップの場所を構成するときにその公開キーを貼り付けて（または 4.2 以降では検出して）ください。

## iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする

### 症状

Windows クライアントで Firefox または Chrome を実行しているときは、iLO リモートコンソールの初回のインストールにより、インストールダイアログボックスが再度表示されることがなくなります。コンソールソフトウェアを再インストールする必要がある場合は、インストールダイアログボックスをリセットする必要があります。インストールダイアログボックスが表示されない。

### 原因

iLO リモートコンソールソフトウェアのインストールに使用したブラウザ（Firefox または Chrome）とは異なるブラウザを使用中の場合は、ソフトウェアがすでにインストールされていても、ソフトウェアをインストールするよう求めるダイアログボックスが表示されます。

### アクション

1. コンソールを再インストールするには、**Shift** キーを押し、**アクション > コンソールの起動**を選択します。
2. ソフトウェアを再インストールするには、**ソフトウェアのインストール**をクリックし、アプリケーションのインストールのためのダイアログボックスをすべて閉じます。
3. **インストール完了** — **コンソールの起動**をクリックして、インストール後にコンソールを起動します。

## HPE OneView のリストア操作後、Remote Support に失敗する

### 症状

HPE OneView のリストア操作後、Remote Support に失敗します。HPE Synergy スケールのバックアップリストア操作を実行すると、HPE OneView は正常にリストアされますが、HPE OneView IPv4 ネットワーク構成はリストアされません。

### 原因

HPE OneView のリストアアクションでは、Remote Support によるバックエンドの有効化と接続を妨げる IPv4 ネットワーク構成が再適用されません。

### アクション

1. Remote Support をまだグローバルに利用できない場合は、無効にします。
2. ネットワークの IP アドレスを設定します。
3. Remote Support を再有効化します。
4. エンクロージャーを更新します。

# HPE Synergy コンポーザーのリストア操作に失敗した

## 症状

リストア操作と工場出荷時設定へのリセット操作が失敗したため、アプライアンスは再起動できませんでした。

## 解決方法 1

### 原因

バックアップファイルに互換性がない。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 次の条件を満たす最新のバックアップファイルを使用してリストア操作を再試行してください。  
リストア中のアプライアンスの HPE OneView メジャーおよびマイナーのバージョン番号が、バックアップファイルが作成されたアプライアンスと同じであること。設定画面には、次の形式でバージョン番号が表示されます。

バージョンメジャー.マイナー.nn-nnnnnn 月一日一年

3. リストア操作で自動的に解決できなかった不整合を調整します。

## 解決方法 2

### 原因

重大なエラーが発生した。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 認定サポート担当者にお問い合わせいただく必要がある場合、サポートダンプファイルを作成します。
3. 可能であれば、アプライアンスを工場出荷時設定にリセットします。それ以外の場合、HPE Synergy コンポーザーのイメージを再構築します。
4. リストア操作を再試行します。

## 解決方法 3

### 原因

リストア操作が失敗する。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 認定サポート担当者にお問い合わせいただく必要がある場合、サポートダンプファイルを作成します。
3. 以下のいずれかまたは両方の操作を行います。

- ・ 最新のバックアップファイルを指定して、リストア操作を再試行します。
  - ・ アプライアンスと互換性のある別のバックアップファイルでリストア操作を行います。
4. 問題が解決しない場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。

## 解決方法 4

### 原因

リストア操作のステータスは、進行中だが、変化の比率（%）が 2.5 時間以上変更されません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. アプライアンスを再起動します。
3. 以下のいずれかまたは両方の操作を行います。
  - ・ 最新のバックアップファイルを指定して、リストア操作を再試行します。
  - ・ アプライアンスと互換性のある別のバックアップファイルでリストア操作を行います。

## 選択したアプライアンスイメージが認証されなかった

### 症状

アプライアンスを起動すると、起動プロセスは完了せず、ブート可能デバイスが検出されませんでしたというエラーが表示されます。

または

システムのブート順序が見つかりませんというエラーが表示されます。

### 原因

アプライアンスのブートプロセスがセキュアブート認証チェックを正常に完了しません。アプライアンスのイメージが破損しているか無効になっています。

### アクション

HPE OneView アプライアンスを再イメージします。

## リモートバックアップサーバーの SSH ホスト公開キーが無効である

### 症状

手動で入力した SSH ホスト公開キーが無効であるため、リモートバックアップ構成を確認できません。

### 原因

SSH ホストキーフィールドにキーを切り取って貼り付ける際にエラーがありました。



## アクション

1. フィールドに切り取って貼り付けるときに、改行を含めていないことを確認してください。
2. 操作を再試行するか、別のキーを使用します。
3. ユーティリティを使用して、リモートバックアップサーバーからホストキーを取得します。
  - a. openssh には、ほとんどの Linux ディストリビューションで一般的に見られるホストキーをキャプチャーするユーティリティがあります。
  - b. ssh-keyscan <host> コマンドにより、使用可能な SSH ホストキーが表示されます。
  - c. **HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用**の「HPE OneView とバックアップサーバー間のセキュアな接続のための暗号」項目に従って、サポートされている適切なアルゴリズムと長さを選択します。
  - d. リモートバックアップサーバーの管理者にホストキー指紋を確認します。

## サポートダンプに HPE Synergy Composer スタンバイアプライアンスのデータが含まれていない

### 症状

サポートダンプファイルに、クラスターのアクティブアプライアンスのデータは含まれているが、スタンバイアプライアンスのデータが含まれていない。

### 解決方法 1

#### 原因

アプライアンスに、すべてのデータを格納するための十分な空き領域がない。

#### アクション

1. オプション：アプライアンス以外の場所にサポートダンプファイルを移動します。
2. アプライアンスのサポートダンプファイルを削除します。
3. 不要なファイルを探して削除します。
4. サポートダンプの作成操作を再試行してください。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのセクション「設定：アプライアンス」を参照してください。

### 解決方法 2

#### 原因

スタンバイアプライアンスがオンラインでない

#### アクション

1. スタンバイアプライアンスがオンラインであることを確認します。

詳細については、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「スタンバイアプライアンスモジュールのアクティブ化」を参照してください。
2. サポートダンプの作成操作を再試行してください。



詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのセクション「設定 : アプライアンス」を参照してください。

3. スタンバイアプライアンスの Maintenance Console にアクセスし、Maintenance Console を使用して、サポートダンプファイルを作成します。

## HPE Synergy コンポーザーのサポートダンプファイルが保存されていない

### 症状

アプライアンスにサポートダンプファイルがない。

### 解決方法 1

#### 原因

ブラウザの設定が正しく設定されていない場合、自動ダウンロードの通知を見逃す可能性があります。

#### アクション

1. ダウンロードが完了したことを確認します。
2. 対応する [HPE OneView サポートマトリックス](#) を参照して、ご使用のアプライアンスのブラウザの要件を確認してください。
3. サポートダンプの作成操作を再実行し、アクティビティサイドバーでダウンロードの進行状況バーを調べます。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)の「設定 : アプライアンス」のセクションを参照してください。

### 解決方法 2

#### 原因

サポートダンプファイルに十分なディスク領域がクライアント側にありません。

#### アクション

1. ローカルコンピューターに、サポートダンプファイルを収容できる十分なディスクスペースがあることを確認します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)の「設定 : アプライアンス」のセクションを参照してください。

2. サポートダンプの作成操作を再試行してください。

### 解決方法 3

#### 原因

サポートダンプファイルを使用できない。

## アクション

1. クリーンアップしてシステム内のスペースを確保します。
2. ブラウザー設定で複数のファイルのダウンロードを有効にします。
3. サポートダンプの作成をもう一度試して、サポートダンプを確認します。

## HPE Synergy コンポーザーのサポートダンプが作成されない

### 症状

想定したサポートダンプが見つからない

### 解決方法 1

#### 原因

経過時間が不十分

#### アクション

1. しばらく待ちます。サポートダンプファイルの作成には、数分かかる場合があります。ログファイルが大きい場合、またはシステムが大規模の場合、サポートダンプファイルの作成にかかる時間はさらに長くなります。
2. サポートダンプの作成操作を再試行してください。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

### 解決方法 2

#### 原因

アプライアンスのエラー画面からサポートダンプファイルを作成できるのはインフラストラクチャ管理者のみです。

#### アクション

インフラストラクチャ管理者の認証情報を指定し、再度実行してください。

## CA 署名付きクライアント証明書を使用して SCMB サーバーに接続できない

### 症状

CA 署名付きクライアント証明書を作成した後も、SCMB サーバーへの接続を確立できない。

### 解決方法 1

#### 原因

クライアント証明書は、アプライアンスによって信頼されている認証機関（CA）によって署名されていません。



## アクション

1. `openssl verify -verbose -CAfile ca.pem cert.pem` コマンドを使用して、クライアント証明書に署名した CA を確認します。
2. **設定>セキュリティ**にアクセスして、信頼済み CA のリストをチェックすることで、一覧表示されている CA ルートおよび中間証明書がアプライアンスによって信頼されていることを確認します。
3. クライアント証明書への署名に使用した CA が存在しない場合、その CA を HPE OneView に追加します。

## 解決方法 2

### 原因

SCMB サーバー証明書への署名に使用したルート CA 証明書または中間 CA 証明書が、クライアントが使用する CA 証明書ファイルに含まれていない。

### アクション

クライアントが使用する CA 証明書ファイルに、SCMB サーバー証明書に署名したルート証明書および中間 CA 証明書が含まれていることを確認します。

## 解決方法 3

### 原因

クライアント証明書への署名に使用した中間 CA 証明書が、クライアントが使用する CA 証明書ファイルに含まれていない。

### アクション

クライアントが使用する CA 証明書ファイルに、クライアント証明書に署名した中間 CA 証明書が含まれていることを確認します。

## 解決方法 4

### 原因

クライアント証明書が、`rabbitmq_readonly` 以外の共通名を使用する。

### アクション

1. 証明書の属性を表示するには、`openssl x509 -noout -text -in cert.pem` コマンドを使用します。
2. クライアント証明書に `rabbitmq_readonly` 以外の共通名が使用されている場合、新しいクライアント証明書を作成します。SCMB サーバーはこのユーザーからの接続を受け入れるように構成されているため、クライアント証明書の共通名は `rabbitmq_readonly` に設定する必要があります。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「SCMB 用の CA 署名済みクライアント証明書の作成」トピックを参照してください。

## 解決方法 5

### 原因

CA チェーンに、ルート CA を含めず 9 を超える中間証明書が含まれている（ルート CA > 中間 1 > 中間 2 > ... > 中間 8 > 中間 9）。

### アクション

HPE OneView がサポートできるのは、最大 9 レベルの CA チェーンだけです。9 より少ないレベルが含まれるように、CA チェーンの最小レベルを切り取ります。

## 証明書失効リストを自動的にダウンロードできない

### 症状

LDAP CRL 配布ポイント（DP）の証明書失効リスト（CRL）のダウンロードに失敗する。

### 解決方法 1

#### 原因

LDAP CRL DP が有効なホスト名または IP アドレスを指定していません。

例：ldap:/// CN = ...

#### アクション

認証機関の管理者は、証明書に署名するときに、証明書の CRL DP にホスト名または IP アドレスが含まれていることを確認する必要があります。

### 解決方法 2

#### 原因

#### 問題の内容

プロキシの問題により、CRL のダウンロードに失敗しました。

#### 原因

プロキシがアプライアンスで構成されていないか、または正しく構成されていません。

#### アクション

プロキシがアプライアンスで正しく構成されていることを確認してください。

## 証明書をインポートできない

### 症状

アプライアンスで、証明書のインポート操作が許可されない、または受け入れられない。

### 解決方法 1

#### 原因

お使いのログインアカウントでは証明書をインポートする権限が与えられません。



## アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
3. 操作を再実行してください。

## 解決方法 2

### 原因

アプライアンスとブラウザとの接続が失われた。

### アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. ネットワークが正常に動作しているか確認します。
3. Web サーバーが再起動するまで待ち、操作を再実行してください。

## メインメニューにすべてのリソースを表示できない

### 原因

- ・ 役割ベースのユーザー権限では、メインメニューで一部のリソースにアクセスできません。
- ・ ガイド付きセットアップは、いくつかのリソースを非表示にするように設定されています。

### アクション

1. メインメニューの**すべて表示**をクリックすると、現在のセッションでのみ非表示のメニュー項目が表示されます。
2. **ガイド付きセットアップ > OneView 環境のカスタマイズ**に進み、メインメニューに表示するリソースを選択します。

## 予期しないアプライアンスのシャットダウン

### 症状

アプライアンスがクラッシュする

### 原因

計画外のシャットダウン



## アクション

1. 予期しないシャットダウンはまれです。重大なアラートや失敗したタスクをチェックします。解決策が提示される場合は、その指示に従ってください。
2. 表示されるリソース情報が正しくない、または一貫していないと思われる場合は、手動でリソースを更新します（アクション > 更新）。
3. 認定サポート担当者が問題のトラブルシューティングを行う際に役立つよう、予期しないシャットダウンについてのサポートダンプファイルを作成します（設定 > アクション > サポートダンプの作成）。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

## HPE Synergy Composer サポートダンプ中に USB ドライブが認識されない

### 症状

No USB mounted メッセージが表示される。

### 原因

USB フラッシュドライブのファイルシステムが 16 GB を超えています。

### アクション

1. 正しいエンクロージャーに USB フラッシュドライブを挿入していることを確認します。
2. サイズが 16 GB 以下の 1 つのファイルシステムでフォーマットされた USB フラッシュドライブを使用します。  
FAT32 ファイルシステムの最大サイズは 4 GB です。
3. サポートダンプの作成手順を再試行して、サポートダンプファイルを USB フラッシュドライブにダウンロードします。  
詳しくは、[HPE OneView のオンラインヘルプ](#)のセクション「設定：アプライアンス」を参照してください。

## アプライアンスネットワークのセットアップのトラブルシューティング

- ・ アプライアンスがネットワークにアクセスできない
- ・ HPE Synergy Composer は DHCP サーバーから DNS 情報を取得できない
- ・ HPE OneView でネットワーク設定を変更できない
- ・ DNS サーバーは到達不能
- ・ HPE OneView からゲートウェイサーバーに到達できない
- ・ アプライアンス IP 設定が正しくない
- ・ HPE OneView で NTP 同期に失敗する

## アプライアンスがネットワークにアクセスできない

### 症状

ネットワークアクセスを必要とする操作が機能しない。

### 原因

アプライアンスネットワークが正しく構成されていませんでした。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. IP アドレス割り当てが正しいことを確認します。
3. DNS IP アドレスが正しいことを確認します。
4. DNS サーバーが動作していることを確認します。
5. ネットワークのゲートウェイアドレスが正しいことを確認します。
6. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスコンソールにログインし、ネットワーク設定を修正します。

## HPE Synergy Composer は DHCP サーバーから DNS 情報を取得できない

### 症状

DHCP サーバーが IP アドレスへのアクセスを提供しない。

### 原因

DNS または DHCP サーバーが正しく構成されていません。

### アクション

1. 各 DNS IP アドレスが正しいことを確認します。
2. DNS サーバーがファイアウォールの背後にないことを確認します。  
背後にある場合は、ファイアウォール設定を変更する必要があります。
3. DNS サーバーが動作していることを確認します。
4. 必要に応じて、DHCP の代わりに静的アドレス割り当てを使用します。

## アプライアンスがアダプターを検出できない

### 症状

HPE OneView 4.2 以前のバージョンでは、アプライアンスはネットワークアダプターとの通信を失います。アプライアンスは、次のいずれかのエラーを表示します。

サーバーのポート情報が検出されなかったため、サーバーハードウェアタイプをこのサーバーに関連付けることができません。

または

ネットワークアダプターをインベントリできません。



## 原因

- ・ MCTP が HPE iLO で無効になっている。
- ・ メザニンカードとの通信中にアプライアンスサービスが失敗した。
- ・ iLO またはメザニンアダプターとの通信に関する問題。
- ・ ファームウェアフラッシュプロセスが進行中である可能性がある。

## アクション

以下の手順を一度に1つずつ、問題が解決されるまで実行します。

1. サーバーハードウェアの QuickSpecs ドキュメントに記載されているように、装着されているメザニンスロットをサポートするために必要なソケットに CPU が取り付けられていることを確認します。
2. サーバーハードウェアが、サポートされるネットワークアダプターで構成されているか確認してください。サポートされるネットワークアダプターについては、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) サポートマトリックス](#)を参照してください。
3. MCTP エンドポイントが、サーバー全体に対して、または個々のメザニンスロットで無効になっていないことを iLO サーバーで確認します。
4. ファームウェアのフラッシュのアップデートが進行中の場合は、操作を再試行するまで数分間待ちます。
5. HPE OneView から、サーバーを更新します。
6. HPE OneView から、iLO をリセットします。iLO のリセットが完了するまで数分待ちます。  
詳しくは、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ユーザーガイド](#)の「iLO のリセット」トピックを参照してください。
7. HPE Synergy ソフトウェアリリースの一部である Service Pack for ProLiant (SPP) を起動して展開する Smart Update Manager ツールを使用してアダプターまたは iLO ファームウェアをアップデートします。
8. サーバー内のアダプターを取り外して、再挿入します。
9. いずれのオプションも機能しない場合は、アダプターまたはサーバーのハードウェアを交換してください。

## HPE OneView でネットワーク設定を変更できない

### 症状

ネットワーク設定を変更できない。

### 原因

権限が適切でない



## アクション

1. 可能であれば、特権ユーザーとしてログインします。可能でない場合は、ネットワーク設定を変更できる役割に変更するように、インフラストラクチャ管理者に要求します。
2. 再度ログインします。
3. ネットワーク設定を変更します。

## DNS サーバーは到達不能

### 症状

警告メッセージは *IP アドレス* が DNS サーバーとして応答していないことを報告する。

### アクション

必要な権限：インフラストラクチャ管理者

1. 各 DNS IP アドレスが正しいことを確認します。
2. DNS サーバーが動作していることを確認します。
3. DNS サーバーがファイアウォールの背後にないことを確認します。  
背後にある場合は、ファイアウォール設定を変更する必要があります。
4. 状況に応じてネットワーク設定を変更します。

## HPE OneView からゲートウェイサーバーに到達できない

### 症状

警告メッセージで、*IP アドレス* が有効なゲートウェイでないとして報告される。

### アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. ネットワークのゲートウェイアドレスを確認します。
3. ゲートウェイサーバーが動作していることを確認します。
4. 状況に応じてネットワーク設定を変更します。

## アプライアンス IP 設定が正しくない

### 症状

HPE OneView でアプライアンス IP 設定が正しくないため、アプライアンス IP に到達できない。

### 原因

HPE OneView のアプライアンス IP 設定が正しく構成されていません。



## アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、HPE Synergy コンソールにアクセスし、HPE OneView にアクセスします。
2. **設定 > ネットワーク > 編集**の順に移動し、アプライアンスの IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。
3. それに応じて IP アドレス設定を変更します。

### 詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「アプライアンスネットワーク設定」のトピック。
- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「アプライアンスネットワーク設定の変更」のトピック。

## HPE Synergy コンポーザーおよびフレームリンクモジュール (FLM) を工場出荷時設定へリセットした後、ネットワークが中断される

### 症状

コンポーザーと FLM を工場出荷時設定へリセットし、さらに、HPE OneView で初回のハードウェアセットアップを実行した後、コンピュータノードのネットワークが中断される。

### 原因

ネットワーク中断は、コンポーザーと FLM を工場出荷時設定にリセットし、さらに、VNC ケーブルまたは DisplayPort ケーブルを使用してフレームのフロントパネルを接続することによって HPE OneView GUI を使用して初回のハードウェアセットアップを実行した後、コンピュータノードでネットワーク中断が発生することがあります。

このイベントシーケンスを修復する唯一の方法は、コンポーザーと FLM を工場出荷時設定にリセットする前に取得済みバックアップファイルをリストアすることです。

## アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. バックアップファイルを使用してリストア操作を実行し、FLM を工場出荷時設定にリセットします。FLM を工場出荷時設定にリセットすると、HPE OneView のバックアップファイルからコンポーザーをリストアできます。

### 詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)にある「HPE OneView GUI を使用してバックアップファイルからアプライアンスをリストア」。
- ・ [HPE Synergy 12000 フレームセットアップ/インストールガイド](#)、[HPE Synergy 12000 Frame Maintenance and Service Guide](#)、および [HPE OneView Troubleshooting Guide for HPE Synergy](#)。

## HPE OneView で NTP 同期に失敗する

### 症状

アプライアンスの日時の設定が、NTP サーバーと一致しない。



## 解決方法 1

### 原因

アプライアンスが NTP 用に正しく構成されていない。アプライアンスの構成にエラーが含まれています。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、指定したホスト名または IP アドレスが NTP サーバーであることを確認します。
2. 設定画面の[アプライアンスパネル](#)をチェックして、NTP サーバーの IP アドレスが正しいことを確認します。
3. NTP サーバーがファイアウォールの背後にないことを確認します。
4. 背後にある場合は、ファイアウォール設定を変更する必要があります。
5. NTP サーバーが動作し、通信していることを確認します。
6. アプライアンスクロックを NTP サーバーと同期化します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
7. アプライアンスと NTP サーバーが同期するのに十分な時間を与えてください。グローバルな NTP サーバーの場合、この値は 1 時間ほどになり得ます。

## 解決方法 2

### 原因

アプライアンスと NTP サーバーの時刻の差が、1000 秒を超えている。アプライアンスが NTP サーバーと同期できません。

### アクション

1. アプライアンスによる時刻が、NTP サーバーの時刻と一致していることを確認します。
2. アプライアンスを NTP サーバーと同期します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
3. アプライアンスと NTP サーバーが同期するのに十分な時間を与えてください。この値は 10 分ほどになり得ます。

## 暗号化モードの切り替えのトラブルシューティング

- ・ [アップグレード後に FIPS または CNSA へのモード切り替えが失敗する](#)
- ・ [暗号化モード切り替え中にセッションが終了する](#)
- ・ [FIPS モードまたはレガシーモードへの切り替え後にデバイスを管理できない](#)
- ・ [CNSA モードに切り替えることができない](#)

## アップグレード後に FIPS または CNSA へのモード切り替えが失敗する

### 症状

HPE OneView バージョン 2.3 からバージョン 4.0 にアップグレードされたアプライアンスで、Federal Information Processing Standard (FIPS) -140-2 または Commercial National Security Algorithm (CNSA) への暗号化モード切り替えが失敗する。

### 原因

アップグレードされた HPE OneView 4.0 バージョンは、FIPS 140-2 または CNSA モードに準拠していない HPE OneView バージョン 2.3 から引き継いだ SHA1 証明機関 (CA) 署名の証明書を使用している可能性があります。

### アクション

FIPS へのモード切り替えを実行する前に、SHA-256 アルゴリズムを使用して外部の CA 署名の証明書をインポートします。CNSA モードに切り替える場合は、CNSA モードに準拠する SHA-384 アルゴリズムで署名された証明書をインポートします。

## 暗号化モード切り替え中にセッションが終了する

### 症状

モードの切り替え中にユーザーセッションが終了する。

### 原因

これは、より安全なユーザーセッショントークンを提供するために、モード切り替え操作の一部として予期される動作です。

### アクション

アプライアンスは、モード切り替えが完了した後に再起動を開始します。再起動後、認証情報でアプライアンスにログインします。

## FIPS モードまたはレガシーモードへの切り替え後にデバイスを管理できない

### 症状

CNSA モードからレガシーまたは FIPS モードへの切り替え後に、強度が低い証明書をホストするデバイスと通信できない。

### 原因

暗号化モードを強度が高いモードから低いモードにダウングレードすると、アプライアンスは、ダウングレードしたモードでより高い強度の証明書をホストし続けます。たとえば、CNSA モードは SHA384 証明書を使用します。CNSA から FIPS にモードを切り替えると、アプライアンスは、同じ SHA384 証明書をホストし続けます。



## アクション

強度が低い暗号化モードに準拠している低い強度の証明書をアプライアンスで再生成またはインポートします。

## CNSA モードに切り替えることができない

### 症状

アプライアンス上で CNSA (Commercial National Security Algorithm) モードに切り替えることができない。

### 原因

アプライアンスは、CNSA モードに必要な強度よりも低い認証機関 (CA) 署名付き証明書を使用している可能性があります。

### アクション

CNSA へのモード切り替えを試行する前に、SHA-384 認証機関署名付き証明書をインポートします。

## メール通知のトラブルシューティング

以下の情報を使用して、設定画面の通知パネルに表示されるアラートのトラブルシューティングを行います。

- ・ アップデート後にメールによるアラート通知が届かない
- ・ HPE OneView のアラートのメール通知を構成できない
- ・ 指定の受信者がイベントのメール通知を受信していない
- ・ 頻繁で無関係なメールメッセージ
- ・ ホストが SMTP サーバーとして応答しない
- ・ 一部のテストメッセージが受信されていない
- ・ テストメッセージを送信できなかった
- ・ HPE OneView でメールアドレスホスト名の送信を通じて接続できない
- ・ 一部のメール ID にメールメッセージを配信できない
- ・ HPE OneView からメール通知を受信できない
- ・ 非スコープリソースから予期しないアラート通知を受信した

## アップデート後にメールによるアラート通知が届かない

### 症状

アップデート後、一部のリソースに対するメールによるアラート通知が届きません。

### 原因

メール通知フィルターにはスコープのコンポーネントが含まれており、一部のリソースにスコープが割り当てられなくなりました。これが発生する可能性があるのは、ユーザーがスコープからリソースを削除し

た場合、またはスコープの制限が新たに有効になったカテゴリ内にリソースが含まれた場合です。スコープ制限が有効になっていないカテゴリ内のリソースは、すべてのスコープに自動的に含まれないため、リソースカテゴリのスコープ制限を追加すると、アップデート時にすべてのスコープから暗黙的にリソースが削除されることとなります。

### アクション

1. スコープ制限が有効になっているリソースカテゴリを確認します。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「パーミッション」トピックを参照してください。
2. これらのカテゴリの目的のリソースが、メール通知フィルターで使用されるスコープに割り当てられていることを確認します。
3. スコープの制限が有効でないリソースが暗黙的に含まれないようにするため、スコープコンポーネントを含むメール通知フィルターに関連付けられたリソースカテゴリを指定します。

## HPE OneView のアラートのメール通知を構成できない

### 症状

アラート機能のメール通知を構成できない。

### 原因

この機能を使用するのに必要なパーミッションがありません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。
2. メール受信者とフィルターのエントリーを追加または編集します。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：通知」のセクションを参照してください。
3. メール受信者を追加または編集し、エントリーを正常にフィルタリングできたことを確認します。受信者はパネルに表示されます。

## 指定の受信者がイベントのメール通知を受信していない

### 症状

構成した受信者がアラートのメール通知を受信していない。

### 解決方法 1

### 原因

現在、メール通知が無効になっている。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、構成パラメーターを表示します。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アラートのメール通知を実行するアプライアンスの構成」を参照してください。
2. メール通知機能が有効になっていることを確認します。
3. 各メール受信者とフィルターエントリーが適切に有効または無効になっていることを確認します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：通知」のセクションを参照してください。

4. メール通知を監視して確認します。

## 解決方法 2

### 原因

受信者のパラメーターが正しく構成されていないため、受信者はメールメッセージを受信できません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、構成パラメーターを表示できるようにします。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アラートのメール通知を実行するアプライアンスの構成」を参照してください。

2. 受信者が指定されていて、そのメールアドレスが有効であることを確認します。

3. 受信者が指定されていない場合は、適宜、次のいずれかを実行します。

これらの手順については、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。

- a. 受信者およびフィルターのエントリーを編集して、既存のフィルターのメールアドレスのリストに受信者を含めます。
- b. 新しいフィルターに受信者を追加します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：通知」のセクションを参照してください。

4. メール通知を監視して確認します。

## 解決方法 3

### 原因

メール受信者の構成に、通知のアラートをキャプチャーしない無効なフィルター指定が含まれます。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、[HPE OneView ヘルプ](#)にあるメール受信者を編集するための手順に従って、フィルターのエントリーを表示します。

2. アクティビティ画面で報告されるアラートを調べ、フィルターによってキャプチャされている必要があると考えるアラートに注目します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アクティビティの表示」を参照してください。

3. フィルターのエントリーを確認します。

フィルターが的確かつ正確に定義されていることを確認します。

4. メール受信者とフィルターのエントリーを保存します。

5. メール通知を監視して構成を確認します。

## HPE OneView からの頻繁で無関係なメールメッセージ

### 症状

特定の受信者に、その受信者には関係がないメールメッセージが送信される。

### 原因

メール受信者の構成に、不要で無関係なアラートを許可するフィルター指定が含まれています。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、オンラインヘルプにあるメール受信者を編集するための手順に従って、フィルターのエントリーを表示します。
2. フィルターのエントリーを確認します。
  - a. 空のフィルターのエントリーがないことを確認します。フィルターのエントリーが空である場合、すべてのアラートに対してメールメッセージが生成されます。
  - b. フィルターのエントリーが一意であることを確認します。そうでない場合、少なくとも2倍の数のメッセージが送信されます。
  - c. フィルターの条件は的確に指定します。フィルターのエントリーを編集して、通知を受けることを希望するアラートに対してのみ動作するようにします。
3. メール受信者とフィルターのエントリーを保存します。
4. メール通知を監視して構成を確認します。

## ホストが SMTP サーバーとして HPE OneView に応答しない

### 症状

メールメッセージの送信を行うはずのホスト名が SMTP サーバーとして応答しない。

### 解決方法 1

### 原因

ホスト名が正しく構成されませんでした。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、ホストに ping を送信し、送信側メールアドレスのホスト名がネットワーク上にあることを確認します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンスのネットワーク」のセクションを参照してください。
2. 使用されるポート番号が正しいことを確認します。
3. アラートのメール通知を構成するためのパラメーターを表示します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
4. 必要に応じてメールのパラメーターをアップデートします。
5. 構成を保存します。
6. telnet コマンドで、構成を確認します。例：



```
telnet mail.example.com 25
```

7. メール通知を監視することによっても確認します。

## 解決方法 2

### 原因

メール通知の送信に使用される SMTP サーバーが、TLS/SSL セキュリティプロトコルを使用しています。

### アクション

1. telnet コマンドで正しいポートを使用して、SMTP サーバーへの接続を確認します。例：

```
telnet mail.example.com 587
```

2. アラートのメール通知を構成するためのパラメーターを表示します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#) を参照してください。
3. SMTP サーバーが TLS/SSL をサポートしていないことを確認します。  
必要に応じてメールのパラメーターをアップデートします。
4. 構成を保存します。
5. telnet コマンドで、構成を確認します。例：

```
telnet mail.example.com 25
```

6. メール通知を監視することによっても確認します。

## 解決方法 3

### 原因

メール通知の構成で、無効な SMTP サーバーのパスワードが指定されています。正しい認証情報の提供に失敗したため、メールを送信することができません。

### アクション

1. SMTP サーバーに接続してパスワードを確認するには、telnet コマンドを使用します。例：

```
telnet mail.example.com
```

2. アラートのメール通知を構成するためのパラメーターを表示します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#) を参照してください。
3. SMTP サーバーのパスワードが正しいことを確認します。  
必要に応じてメールのパラメーターをアップデートします。
4. 構成を保存します。
5. メール通知を監視して確認します。

## HPE OneView からの一部のテストメッセージが受信されていない

### 症状

一部の受信者はテストメッセージを受信するのに、他の受信者は同じメッセージを受信しない。

## 解決方法 1

### 原因

受信者が、構成されていないか、正しく構成されていません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、受信者を表示してエントリーを絞り込めるように、オンラインヘルプにあるメール受信者を編集するための手順に従います。
2. 受信者が指定されていることを確認します。  
必要に応じてエントリーを修正します。
3. 各受信者のメールアドレスが有効であることを確認します。  
必要に応じてエントリーを修正します。
4. 別のテストメッセージを送信して確認します。

## 解決方法 2

### 原因

テストメッセージが迷惑メールまたはスパムと見なされているため、フィルタリングされて配信されませんでした。

### アクション

1. メールを送信しているホストと受信者が同じドメイン内の場合は、受信者のメールアプリケーションを調べます。
2. メールアプリケーションがメッセージをブロックしていないこと、およびメッセージをスパムとして扱ったり、迷惑メールフォルダーに送信したりしていないことを確認します。
3. 別のテストメッセージを送信して確認します。

## HPE OneView からテストメッセージを送信できなかった

### 症状

テストメッセージが送信されたが、どの受信者もそのメッセージを受信しなかった。

## 解決方法 1

### 原因

メール通知を構成するためのパラメーターが 1 つ以上無効なため、メールの送信に使用されるホストにアプライアンスが到達できません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、アラートのメール通知を構成するためのパラメーターを表示します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
2. 無効な構成のすべてのパラメーターを訂正します。

3. 構成を保存します。
4. ホストに対して ping を実行するか、テストメッセージを再度送信して、構成を確認します。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定 : アプライアンスのネットワーク」のセクションを参照してください。

## 解決方法 2

### 原因

アプライアンスでネットワークの問題が発生していて、アプライアンスがメールメッセージを送信できません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、ホストに ping を送信し、送信側メールアドレスのホスト名がネットワーク上にあることを確認します。  
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定 : アプライアンスのネットワーク」のセクションを参照してください。
2. ネットワークとの接続の問題を解決するには、[HPE OneView インストールガイドアプライアンスがネットワークにアクセスできないの「](#)

## HPE OneView でメールアドレスホスト名の送信を通じて接続できない

### 症状

アプライアンスがメールアドレスホスト名の送信を通して接続できない。アプライアンスが、構成されているメールアドレスを使用してアラートメッセージを送信できない。

## 解決方法 1

### 原因

メール通知を構成するためのパラメーターが 1 つ以上無効なため、メールの送信に使用されるホストにアプライアンスが到達できません。

### アクション

1. 無効な構成のすべてのパラメーターを訂正します。
2. 構成を保存します。

## 解決方法 2

### 原因

アプライアンスでネットワークの問題が発生していて、アプライアンスがメールメッセージを送信できません。

## アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、ホストに ping を送信し、送信側メールアドレスのホスト名がネットワーク上にあることを確認します。
2. ネットワークとの接続の問題を解決するには、「アプライアンスがネットワークにアクセスできない」を参照してください。

### 詳細情報

[アプライアンスがネットワークにアクセスできない](#)

## HPE OneView から一部のメール ID にメールメッセージを配信できない

### 症状

一部のユーザーはアラートに関するメールメッセージを受信するのに、他のユーザーは同じメッセージを受信しない。

### 解決方法 1

#### 原因

受信者が、構成されていないか、正しく構成されていません。

#### アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、受信者を表示してエントリーを絞り込めるように、[HPE OneView ヘルプ](#)にあるメール受信者を編集するための手順に従います。
2. 受信者が指定されていることを確認します。  
必要に応じてエントリーを修正します。
3. 各受信者のメールアドレスが有効であることを確認します。  
必要に応じてエントリーを修正します。
4. メール通知を監視して確認します。

### 解決方法 2

#### 原因

メールメッセージが迷惑メールまたはスパムと見なされているため、フィルタリングされて配信されません。

#### アクション

1. メールを送信しているホストと受信者が同じドメイン内の場合は、受信者のメールアプリケーションを調べます。
2. メールアプリケーションがメッセージをブロックしていないこと、およびメッセージをスパムとして扱ったり、迷惑メールフォルダーに送信したりしていないことを確認します。
3. メール通知を監視して確認します。

## HPE OneView からメール通知を受信できない

### 症状

メールサーバーが、HPE OneView からメール通知を受信できません。

### 原因

HPE OneView アプライアンスの IP アドレスが、有効な送信者または信頼できる送信者としてメールサーバーに追加されていません。

### アクション

HPE Synergy コンポーザークラスター IP アドレスを SMTP サーバーのホワइटリストに追加します。たとえば、Microsoft SMTP サーバーでは、ホワइटリストは **IP 許可リスト**と呼ばれています。

## HPE OneView で非スコープリソースから予期しないアラート通知を受信した

### 症状

非スコープリソースによって生成されたアラートに関する予期しないメール通知を受信した。

### 原因

メール通知フィルターはスコープを指定していますが、スコープ内のリソースタイプに対して適切なリソースカテゴリを指定していません。

### アクション

リソースカテゴリごとに関連付けられているリソースカテゴリを 1 つのスコープに含めるようにメール通知フィルターを編集します。

## エンクロージャーとエンクロージャーグループのトラブルシューティング

- ・ 論理エンクロージャーを削除できない
- ・ HPE Synergy フレームリンクモジュールから HPE OneView への通信に失敗した
- ・ ケーブルが接続され、コンポーザー（第 1 世代）が対応するベイにある場合の接続の問題
- ・ HPE OneView でエンクロージャーの構成が不完全
- ・ HPE OneView でエンクロージャーインベントリが不完全
- ・ エンクロージャーが HPE OneView から管理できなくなっている
- ・ フレームリンクモジュール LINK ポートが不明なデバイスに接続されている
- ・ フレームリンクモジュール LINK ポートが接続されていない
- ・ フレームリンクモジュール MGMT ポートが接続解除されている
- ・ フレームリンクモジュールの不一致



- ・ MAC アドレスエラーで論理エンクロージャーの作成に失敗した
- ・ アプライアンスポートのフレームリンクモジュールのネットワーク接続の問題

## 論理エンクロージャーを削除できない

### 症状

論理エンクロージャーを削除しようとしたときにエラーメッセージが発生する。

### 原因

論理エンクロージャーに、論理エンクロージャーを削除する前に、削除が必要なアソシエーションがあります。

### アクション

1. 関連付けられたすべてのサーバープロファイルで論理 JBOD 構成を削除します。
2. SAS 論理インターコネクトを介して論理エンクロージャーに関連付けられている、独立した論理 JBOD を削除します。
3. 関連付けられたサーバープロファイルを移動、編集、または削除します。
4. 論理エンクロージャーの削除を再度実行してみます。

詳しくは、HPE OneView オンラインヘルプの以下のトピックを参照してください。

- ・ 「論理 JBOD」
- ・ 「論理 JBOD の管理」
- ・ 「論理エンクロージャーの削除」
- ・ 「サーバープロファイルのローカルストレージ設定」

## HPE Synergy フレームリンクモジュールから HPE OneView への通信に失敗した

### 症状

HPE Synergy フレームとの通信エラーというアラートまたはエラーが表示される。

### 原因

HPE Synergy フレームとの接続が失敗したか中断されました。

通信障害の一般的な原因は以下のとおりです。

- ・ HPE Synergy フレームリンクモジュールは、リセットまたは工場出荷時設定へリセットされている
- ・ ファームウェアアップデートが進行中である
- ・ フレームリンクモジュールのフェイルオーバーが進行中である
- ・ フレームリンクモジュール間の LINK 接続の変更が行われている

## アクション

1. 上記のような何らかの操作が完了するまで待ちます。接続が回復しない場合、アラートに記載されている解決策の手順に従ってください。
2. 接続された Synergy フレームグループ内のすべての Synergy フレームにおいて、LINK ポート接続に関連するすべてのアラートが解決したことを確認します。
3. 接続が回復しない場合、HPE OneView オンラインヘルプで「エンクロージャーとアプライアンス間の通信の更新」を参照してください。
4. 通信が失敗し続ける場合は、HPE OneView オンラインヘルプの「Synergy フレームリンクモジュールをリセットする」を参照してください。
5. 問題が解決しない場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。

## ケーブルが接続され、コンポーザー（第 1 世代）が対応するベイにある場合の接続の問題

### 症状

ベイ 1 のフレームリンクモジュールのアプライアンスポート 2 との接続障害。

### 原因

ベイ 1 のフレームリンクモジュールのアプライアンスポート 2 にケーブルまたはトランシーバーが接続されています。ベイ 2 のアプライアンスは、そのベイのフレームリンクモジュールのアプライアンスポート 2 へのネットワーク接続をサポートしていません。

問題を修正するには、次のいずれかの手順を実行します。

### アクション

1. ベイ 2 のアプライアンスを、フレームリンクモジュールのアプライアンスポートへのネットワーク接続をサポートする新しいバージョンのアプライアンスに交換します。
2. アプライアンスポート 2 から接続されているケーブルまたはトランシーバーを取り外してください。

## HPE OneView でエンクロージャーの構成が不完全

### 症状

エンクロージャー管理設定が完全に適用されていませんというアラートまたはエラーが表示される。

### 原因

HPE Synergy フレームの追加または更新が失敗し、一部の設定を適用できません。

### アクション

1. アラートに記載されている解決策の手順に従ってください。

フレームリンクモジュールをリセットするように指示された場合の詳細については、HPE OneView オンラインヘルプのトピック「フレームリンクモジュールのリセット」を参照してください。指示されない限り、この手順を実行しないでください。

2. フレームに関するすべてのアラートを確認し、他のフレームリンクモジュール、または他のハードウェアコンポーネントが適切に機能しているかどうかをチェックします。アラートごとに、解決策の手順に従います。
3. 各フレームリンクモジュールが適切に装着されており、リンクモジュールのヘルスインジケータランプが緑色になっていることを確認します。
4. HPE OneView オンラインヘルプの「エンクロージャーとアプライアンス間の通信の更新」を参照してください。
5. 問題が解決しない場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。

## HPE OneView でエンクロージャーインベントリが不完全

### 症状

エンクロージャーインベントリが不完全な可能性がありますというアラートまたはエラーが表示される。

### 原因

**Synergy フレーム内のリソースに関する情報の収集に失敗しました。**

情報収集障害の一般的な原因は以下のとおりです。

- ・ 通信エラーが発生した
- ・ ファン、電源装置、サーバー、フレームリンクモジュール、またはインターコネクトなどのデバイスが最近挿入されたものであり、それらを検出する準備ができていない

### アクション

1. アラートに記載されている解決策の手順に従ってください。
2. この特定のデバイスに関連するすべてのアラートを確認します。アラートごとに、解決策の手順に従います。
3. デバイスが適切に装着されており、デバイスのヘルスインジケータランプが緑色になっていることを確認します。
4. デバイスで HPE OneView REST API を使用して EFuse を実行するか、デバイスを物理的に取り外して再度挿入します。
5. 問題が解決しない場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。

## エンクロージャーが HPE OneView から管理できなくなっている

### 症状

「フレームリンクモジュールの LINK ポートは接続されていません。」というアラートまたはエラーが表示される

### 原因

ケーブルが切断されているため、HPE Synergy フレームの冗長化が適切に構成されていません。





## アクション

各フレームをグループ内の別のフレームに接続し、各 LINK ポートを別の LINK ポートにケーブル接続します。

# フレームリンクモジュール LINK ポートが不明なデバイスに接続されている

## 症状

エンクロージャー管理設定が完全に適用されていませんというアラートまたはエラーが表示される。  
LINK ポートは不明なデバイスに接続されていますというアラートまたはエラーが表示される。

## 原因

フレームリンクモジュールを接続するケーブルが正しく接続されていない。または LINK ポートが不明なデバイスに接続されている。

## アクション

### 1. ケーブル接続を確認します。

- ・ HPE Synergy フレームが複数ある場合、フレームグループ内の各フレームリンクモジュールが、LINK ポート経由でグループ内の別のフレームリンクモジュールにケーブル接続されていることを確認します。グループ内の最後のフレームのリンクモジュールが、最初のフレームのリンクモジュールにケーブル接続されている必要があります。
- ・ HPE Synergy フレームが 1 つのみの場合、2 つのフレームリンクモジュールが相互にケーブル接続されていることを確認します。

### 2. ケーブル接続が正しい場合、フレームリンクモジュールを再度装着します。

ケーブル配線について詳しくは、**HPE Synergy ケーブル接続ガイド** (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) を参照してください。

その他のソリューションについては、**HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用**の以下のトピックを参照してください。

- ・ 「フレームリンクモジュール LINK ポートが接続されていない」
- ・ 「フレームリンクモジュールの不一致」
- ・ 「フレームリンクモジュール MGMT ポートが接続解除されている」

# フレームリンクモジュール LINK ポートが接続されていない

## 症状

「LINK ポートが接続されていません。」というアラートまたはエラーが表示される。

## 原因

LINK ポートに接続されるケーブルが接続されていません。ケーブル配線について詳しくは、**HPE Synergy ケーブル接続ガイド** (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) を参照してください。

## アクション

1. ケーブル接続を調べて、リンクされたフレームのグループ内の各フレームリンクモジュールが、LINK ポート経由でグループ内の別のフレームリンクモジュールにケーブル接続されていることを確認します。

その他のソリューションについては、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)の以下のトピックを参照してください。

- ・ 「フレームリンクモジュール LINK ポートが不明なデバイスに接続されている」
- ・ 「フレームリンクモジュールの不一致」
- ・ 「フレームリンクモジュール MGMT ポートが接続解除されている」

## フレームリンクモジュール MGMT ポートが接続解除されている

### 症状

MGMT ポートが接続解除されました。というアラートまたはエラーが表示される。

### 原因

HPE OneView アプライアンスに対応するフレームリンクモジュールの MGMT ポートが接続されていません。

### アクション

1. ケーブル接続を確認します。Synergy 管理アプライアンスベイに関連付けられたフレームリンクモジュールの MGMT ポートは、管理ネットワークに接続されている必要があります。例えば、ベイ#1 にフレームリンクモジュールがあり、アプライアンスのベイ#1 に HPE Synergy コンポーザーがある場合、フレームリンクモジュール 1 の MGMT ポートを管理ネットワークに接続する必要があります。ケーブル配線について詳しくは、[HPE Synergy ケーブル接続ガイド \(https://www.hpe.com/info/synergy-docs\)](https://www.hpe.com/info/synergy-docs) を参照してください。

その他のソリューションについては、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)の以下のトピックを参照してください。

- ・ 「フレームリンクモジュール LINK ポートが不明なデバイスに接続されている」
- ・ 「フレームリンクモジュール LINK ポートが接続されていない」
- ・ 「フレームリンクモジュールの不一致」

## フレームリンクモジュールの不一致

### 症状

リンクモジュールの不一致 - エンクロージャーは他のアプライアンスで管理されていますというアラートまたはエラーが表示される。

### 原因

フレームリンクモジュールが、異なる HPE Synergy フレームグループ内の別のフレームリンクモジュールに接続されています。

## アクション

- 異なるフレームグループ内のフレームに接続されたフレームリンクモジュールを取り外します。
- ケーブル接続を調べて、同一グループ内の各フレームリンクモジュールが、LINK ポート経由でグループ内の別のフレームリンクモジュールにケーブル接続されていることを確認します。

ケーブル配線について詳しくは、**HPE Synergy ケーブル接続ガイド** (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) を参照してください。

- HPE Synergy フレームリンクモジュールの工場出荷時設定へのリセットを実行し、新しいフレームグループと通信できるようにします。

詳細については、**HPE OneView ヘルプ**のトピック「フレームリンクモジュールのリセット」を参照してください。

その他のソリューションについては、**HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用**の以下のトピックを参照してください。

- ・「フレームリンクモジュール LINK ポートが不明なデバイスに接続されている」
- ・「フレームリンクモジュール LINK ポートが接続されていない」
- ・「フレームリンクモジュール MGMT ポートが接続解除されている」

## MAC アドレスエラーで論理エンクロージャーの作成に失敗した

### 症状

論理エンクロージャーを作成すると、作成操作が失敗し、次のエラーが表示されます。

OneView の MAC アドレスプールから共有 MAC アドレスを割り当てることができません。Virtual Connect インターコネクトは、共有 MAC アドレスを高可用性および冗長構成で割り当てる必要があります。

### 原因

仮想 MAC アドレス設定が HPE OneView で無効になっており、追加の論理エンクロージャーを作成できません。HPE Synergy 用 HPE Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールのハードウェアの初期セットアップ時に、仮想 MAC アドレスがインターコネクトモジュールに割り当てられます。ペアリングされた HPE VC SE 100Gb F32 モジュール間の通信には MAC アドレスが必要です。

### アクション

- インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。
- 論理エンクロージャーを削除してください。

詳細については、**HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用**の「論理エンクロージャーの削除」を参照してください。

- 仮想 MAC アドレスを有効にします。

詳細については、**HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用**の「仮想 MAC アドレスの有効化」を参照してください。

- 論理エンクロージャーを作成します。

詳細については、**HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用**の「論理エンクロージャーの作成」を参照してください。

## アプライアンスポートのフレームリンクモジュールのネットワーク接続の問題

### 症状

フレームリンクモジュールのアプライアンスポートとのネットワーク接続障害。

### 原因

ベイ 1 のフレームリンクモジュールのアプライアンスポートにケーブルまたはトランシーバーが接続されています。フレームミッドプレーンは、そのベイのフレームリンクモジュールのアプライアンスポートへのネットワーク接続をサポートしていません。

### アクション

1. フレームミッドプレーンをアップグレードするには、認定サポート担当者にお問い合わせください。
2. または、ベイ 1 のフレームリンクモジュールのアプライアンスポートから、接続されているケーブルまたはトランシーバーをすべて取り外します。

## ファームウェアアップデートのトラブルシューティング

- ・ ファームウェアコンプライアンスデータが利用できない
- ・ HPE OneView でファームウェアのステージング操作が成功しない
- ・ HPE OneView でファームウェアを強制的にダウングレードしようとすると失敗する
- ・ HPE OneView で iLO ファームウェアをアップデートできない
- ・ 認証情報が正しくない場合、HPE OneView との通信を妨げる
- ・ iLO 接続の消失
- ・ 1 つ以上のファームウェアコンポーネントに、指定されたファームウェアベースラインとの整合性がありません
- ・ ファームウェアアップデートを開始できない
- ・ HPE OneView でファームウェアアップグレードのログファイルを削除できない

## ファームウェアコンプライアンスデータが利用できない

### 症状

ファームウェアコンプライアンスデータは特定のサーバーでは利用できません。

### 原因

- ・ HPE OneView はハードウェアと通信できません。
- ・ インベントリ情報の取得中に HPE OneView でエラーが発生しました。
- ・ システムのリストアは HPE OneView で行われます。
- ・ HPE OneView は、HPE Service Pack for ProLiant (SPP) がホストされているリモートレポジトリと通信できません。
- ・ コンプライアンスの確認中にエラーが発生しました。

---

❗ **重要:**

ファームウェアコンプライアンスレポートの生成中に発生したエラーは、対応するリソースのアラートとして報告されます。

---

### アクション

1. リソースのアクティビティログを表示し、そのリソースでアクティブになっているクリティカルアラートまたは警告アラートを解決します。
2. ファームウェアコンプライアンスレポートを再生成する前に、サーバーハードウェアを更新してください。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのセクション「ファームウェアコンプライアンス」を参照してください。

## HPE OneView でファームウェアのステージング操作が成功しない

### 症状

HPE OneView でファームウェアベースラインが定義されたサーバープロファイルの作成または編集が失敗します。

### 原因

大量の書き込みにより、iLO レポジトリが書き込み制限に達しました。iLO レポジトリは、1 週間が経過するまで、または iLO がリセットされるまで、書き込みに使用できません。

---

**注記:** ファームウェアバージョン 1.40 以降の iLO 5 から、iLO では iLO レポジトリでのブロック書き込みの繰り返しが制限されています。iLO レポジトリには、NAND フラッシュメモリの破損を防ぐことを目的とした、週ごとの書き込み制限があります。

---

### アクション

1. 次のいずれかを実行します。
  - ・ 1 週間待ってから、ファームウェアアップデートを続行します。
  - ・ 1 週間が経過する前にファームウェアアップデートを続行するには、iLO リセットを実行します。HPE OneView でサーバーを更新し、操作を再試行します。  
iLO レポジトリは通常の状態に戻ります。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「サーバープロファイルの作成」および「サーバープロファイルの編集」を参照してください。

## HPE OneView でファームウェアを強制的にダウングレードしようとすると失敗する

### 症状

HPE OneView でファームウェアを強制的にダウングレードしようとすると失敗します。

## 原因

ファームウェアのダウングレードポリシーは、iLO Web UI で[ダウングレードにはリカバリセットの権限が必要です]または[ダウングレードを永遠に不許可]に設定されています。

## アクション

1. ファームウェアをダウングレードする必要がある場合は、iLO Web UI でダウングレードポリシーを[ダウングレードの許可]に設定します。

### 詳細情報

#### HPE iLO ユーザーガイド

また、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「ファームウェアのダウングレード」および「iLO Web UI のファームウェアダウングレード設定」も参照してください。

## HPE OneView で iLO ファームウェアをアップデートできない

### 症状

**注記:** エンクロージャーを追加するときに、ネットワークや電源の停止、またはその他の問題のために、iLO ファームウェアを最小バージョンにアップデートできないことがあります。デバイスは非管理状態で表示されます。

### アクション

1. メインメニューから**サーバー > サーバーハードウェア**の順に選択します。
2. マスターウィンドウで、管理されていないサーバーハードウェアを選択します。
3. **アクション > iLO ファームウェアのアップデート**の順に選択します。

**注記:** iLO ファームウェアが最小限必要なものより古い場合は、iLO ファームウェアのアップデートだけが表示され、サーバーハードウェアは非管理 サポートされていないファームウェア状態で表示されます。

4. **OK** をクリックします。
5. アクティビティが成功したことを確認するには、通知エリアで、アクティビティのステータスが緑色になっているかどうかをチェックします。

アクティビティが成功しない場合は、提案された解決策に示された指示に従ってください。

## 認証情報が正しくない場合、HPE OneView との通信を妨げる

### 症状

iLO のユーザー名またはパスワードが無効である。

### 原因

サーバーファームウェアをアップデートしようとしていますが、指定したユーザー名またはパスワードが iLO 管理プロセッサに対して有効でないか、誤った認証情報がサーバーに指定されています。

## アクション

問題を解決するには、正しい認証情報を入力し、もう一度エンクロージャーの追加を行います。

## iLO 接続の消失

### 症状

接続エラー

### 原因

不明。

### アクション

#### 推奨事項

1. サーバーをリセットして、サーバーの管理プロセッサへのネットワーク接続をリストアします。  
詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「サーバーのリセット」を参照してください。
2. ファームウェアを再度アップデートします。  
詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「管理対象デバイスのファームウェアのアップデート」トピックを参照してください。

## 1 つ以上のファームウェアコンポーネントに、指定されたファームウェアベースラインとの整合性がありません

### 症状

ファームウェアをインストールし、ファームウェアの状態を次のオプションのいずれかを使用して適用済みに設定した後、サーバープロファイルに「1 つ以上のファームウェアコンポーネントに、指定されたファームウェアベースラインとの整合性がありません」というアラートが表示されます。

- ・ ファームウェアと OS ドライバー (Smart Update Tools を使用)
- ・ ファームウェアのみ (Smart Update Tools を使用)

### 原因

OS ドライバーのバージョンが古く、新しいバージョンに依存する特定のファームウェアコンポーネントがインストールされていません。

### アクション

ファームウェアと OS ドライバー (Smart Update Tools を使用) オプションを使用してプロファイルを再適用します。

以前の試行でドライバーのバージョンが最新バージョンにアップグレードされたため、これでファームウェアコンポーネントがインストールされます。

## ファームウェアアップデートを開始できない

### 症状

ファームウェアアップデートを開始しようとして失敗した。

### 原因

SUM のエラーが HPE OneView での操作を妨げます。

### アクション

ファームウェアをもう一度アップデートします。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「管理対象デバイスのファームウェアのアップデート」トピックを参照してください。

## HPE OneView でファームウェアアップグレードのログファイルを削除できない

### 症状

HPE OneView でファームウェアアップグレードのログファイルを削除しようとして失敗した。

### 原因

SUM のエラーが HPE OneView での操作を妨げます。

### アクション

1. アプライアンスを再起動します。
2. ファームウェアをもう一度アップデートします。

## ハイパーバイザープロファイルのトラブルシューティング

- ・ ハイパーバイザークラスタープロファイルが不整合を修復できない
- ・ HPE OneView で vSAN 対応ハイパーバイザークラスタープロファイルの修正操作に失敗する
- ・ 標準から分散への vSwitch タイプの移行が失敗する

## ハイパーバイザークラスタープロファイルが不整合を修復できない

### 症状

vCenter から既存の vSphere 分散型仮想スイッチ (VDS) の名前を変更すると、ハイパーバイザークラスタープロファイルに不整合が発生します。修復しようとする、操作は失敗し、ポートグループ名が vCenter で競合するというエラーが表示されます。





## 解決方法 1

### 原因

修復の一環として、ハイパーバイザークラスタープロファイルは新しい VDS を作成し、ハイパーバイザークラスタープロファイルで定義されているようにそのポートグループとアップリンクを構成します。この操作中に、vCenter の既存の DV ポートグループと競合するポートグループ名が原因で、ハイパーバイザークラスタープロファイルの検証に失敗し、エラーが発生します。

この分散スイッチで管理されているハイパーバイザーを変更せずに VDS の名前を変更する場合は、解決策 1 に従ってください。

ハイパーバイザークラスタープロファイル用に新しい VDS を作成する必要がある場合は、解決策 2 に従います。

### アクション

1. ハイパーバイザークラスタープロファイルを編集し、名前が変更された VDS の名前と一致する仮想スイッチ名を変更します。
2. **OK** をクリックします。

この操作により、vCenter で何も変更せずにハイパーバイザークラスタープロファイルでの不整合が解決されます。ハイパーバイザークラスタープロファイルは、名前が変更された VDS を使用して、開始します。

## 解決方法 2

### アクション

1. ハイパーバイザークラスタープロファイルを編集し、この VDS のすべてのポートグループの名前を変更します。
2. **OK** をクリックします。  
この操作により、ハイパーバイザークラスタープロファイルとすべての関連するハイパーバイザープロファイルは不整合になります。
3. ハイパーバイザークラスタープロファイルの**ハイパーバイザープロファイルを一致させます**を選択します。
4. **プレビューダイアログでは、アップデートします**をクリックします。

この操作により、新しい VDS およびハイパーバイザーホストが追加されたポートグループが構成されることで、中断を伴わずに不整合が解決されます。

## HPE OneView で vSAN 対応ハイパーバイザークラスタープロファイルの修正操作に失敗する

### 症状

vCenter で vSAN データ移行の進行中にハイパーバイザークラスタープロファイルを修正しようとする  
と、HPE OneView は修正操作をブロックして次のエラーメッセージを表示します。

メッセージ:ハイパーバイザープロファイル<ハイパーバイザープロファイル名>に関連付けられているハイパーバイザーについて  
vSAN オブジェクトの同期が進行中です。

## 原因

vSAN データ移行が vCenter で進行中です。

## アクション

1. vCenter ですべての vSAN データ移行が完了するまでお待ちください。
2. HPE OneView で修正操作を再試行してください。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「vSAN 対応ローリングアップデート」を参照してください。

## 標準から分散への vSwitch タイプの移行が失敗する

### 症状

クラスターで仮想マシンを実行中に、1 つ以上のホストで vSwitch タイプの標準から分散への移行が失敗する場合があります。

### アクション

1. 残りのホストから仮想マシンを手動で移行し、新しい Dvportgroup および既にアップデートされたホストのいずれかを消費します。
2. ハイパーバイザープロファイルを一致させますオプションを再実行して、クラスターの残りのホストをアップデートします。

## インターコネクトのトラブルシューティング

- ・ HPE OneView でインターコネクトの編集が失敗する
- ・ スタッキングケーブルを取り外したり交換したりするときに、インターコネクトモジュール接続がドロップする
- ・ 古い IP アドレスを使用する非管理インターコネクトの再取り付け

## HPE OneView でインターコネクトの編集が失敗する

### 症状

インターコネクトの変更が失敗したという通知が表示される。

### 原因

インターコネクトの編集が失敗している。

### アクション

1. オンラインヘルプにリストされている前提条件が満たされているかどうかを確認します。
2. 通知メッセージに記載されている指示に従ってください。

インターコネクトが正常に編集されている場合は、画面上部のバナーに通知が表示され、目的のポート設定とポートステータスが表示されます。

## スタッキングケーブルを取り外したり交換したりするときに、インターコネク トモジュール接続がドロップする

### 症状

**注記:** Synergy 用 HPE Virtual Connect SE 40Gb F8 モジュールおよびファームウェアバージョン 1.3.0.x 以降で見られます。

冗長または HA 構成の Virtual Connect SE 40 Gb F8 モジュールでスタッキングケーブルを取り外すか交換しようとする、次の現象が発生します。

- ・ NIC チーミングが構成されていない場合、A 側インターコネクトモジュールを介したポート 1 で稼働中のトラフィックが中断されます。
- ・ Virtual Connect の冗長性が失われます。
- ・ マルチエンクロージャーセットアップでは、トポロジが A 側インターコネクトモジュールから無効またはクリティカルになります。
- ・ HPE OneView が正しい物理的状態またはヘルスを報告しません。

### 原因

現在のトポロジは、スタッキングケーブルが接続されていないときに、インターコネクトモジュールの A 側でアップリンクおよびダウンリンクポートをシャットダウンします。

### アクション

1. 帯域幅の削減や接続の問題を避けるため、同時に両方のスタッキングケーブルを取り外さないでください。
2. NIC チーミングモード（スイッチ独立モードまたはスイッチ依存モード）を設定します。
3. スタッキングケーブルを交換または接続します。

HPE OneView が通常状態に戻るには約 10 分かかります。リカバリ中、A 側インターコネクトモジュールへのすべてのポート 1 接続は、非アクティブ化されています。

## 古い IP アドレスを使用する非管理インターコネクトの再取り付け

### 症状

静的 IP アドレスを使用する非管理インターコネクトを取り外してから関連付けられた論理エンクロージャーを削除し、その後にインターコネクトを同じベイに再挿入すると、非管理インターコネクトは古くなったその IP アドレスを保持できます。

### 原因

古い IP アドレスを使用する非管理インターコネクトの再取り付け

### アクション

1. 次のいずれかを実行します。

- ・ アドレスプール（静的）または DHCP によるエンクロージャーグループのアドレッシングモードを使用して新しい論理エンクロージャーを作成します。
- ・ インターコネクトのネイティブ管理インターフェイスを使用して、IP アドレス構成を手動でクリアまたは再構成します。
- ・ インターコネクトを別のベイまたは別のエンクロージャーに移動し、目的のベイおよびエンクロージャーに戻します。

## HPE OneView ライセンスのトラブルシューティング

- ・ HPE OneView のライセンス数が見つからない
- ・ HPE OneView でライセンスを追加できなかった
- ・ HPE OneView でライセンスキーを追加できなかった
- ・ HPE OneView でライセンスを適用できなかった
- ・ HPE OneView でライセンスの詳細を表示できなかった
- ・ ライセンス適用済みサーバーハードウェアの数が管理下にある数より多い
- ・ 最近追加または割り当てられたライセンスが不正確であることが表示される

### HPE OneView のライセンス数が見つからない

#### 症状

HPE OneView Standard ライセンスのライセンス数が見つからない。ただし、HPE OneView Standard ライセンスでライセンスされたサーバーハードウェアの数を取得することはできます。

#### 原因

アプライアンスに HPE OneView Standard ライセンスの数が表示されない。

#### アクション

1. サーバーハードウェア画面から、**スマート検索ボックス**をクリックし、**スコープでサーバーハードウェア**を選択します。
2. **スマート検索ボックス**に、「state:Monitored」と入力し、**Enter** キーを押します。  
マスターウィンドウに、すべての監視対象サーバーハードウェアが表示されます。すべての監視対象サーバーハードウェアに HPE OneView Standard ライセンスが割り当てられています。

### HPE OneView でライセンスを追加できなかった

#### 症状

アプライアンスのライセンスを追加できない。

#### 解決方法 1

#### 原因

ライセンスキーが空白、正しくない、または無効です。

## アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 入力したライセンスキーを確認します。
3. 適切な値を入力し、ライセンスキーの形式が有効であることを確認します。
4. 再試行してください。
5. 問題が続く場合、認定テクニカルサポートに連絡してください。

## 解決方法 2

### 原因

ライセンスキーが失効しています。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 有効な最新のライセンスキーを入手します。
3. 新しいライセンスキーで再試行します。

## 解決方法 3

### 原因

アプライアンスの日付と時刻の設定が無効です。ライセンスがまだアクティブではありません。ライセンスを追加するには早すぎます。

### アクション

1. アプライアンスの日付と時刻の設定を確認します。
2. ライセンスがアクティブになる時刻と日付を調べます。
3. 問題が続く場合、認定テクニカルサポートに連絡してください。

## HPE OneView でライセンスキーを追加できなかった

### 症状

アプライアンスのライセンスキーを追加できない。

## 解決方法 1

### 原因

ライセンスキーが空白、正しくない、または無効です。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 入力したライセンスキーを確認します。

3. 適切な値を入力し、ライセンスキーの形式が有効であることを確認します。
4. 再試行してください。
5. 問題が続く場合、認定テクニカルサポートに連絡してください。

## 解決方法 2

### 原因

ライセンスキーが失効しています。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 有効な最新のライセンスキーを入手します。
3. 新しいライセンスキーで再試行します。

## 解決方法 3

### 原因

アプライアンスの日付と時刻の設定が無効です。ライセンスがまだアクティブではありません。ライセンスを追加するには早すぎます。

### アクション

1. アプライアンスの日付と時刻の設定を確認します。
2. ライセンスがアクティブになる時刻と日付を調べます。
3. 問題が続く場合、認定テクニカルサポートに連絡してください。

## HPE OneView でライセンスを適用できなかった

### 症状

ライセンスまたはライセンスキーをインスタンスに適用できなかった。

## 解決方法 1

### 原因

ライセンスキーのすべてのライセンスが使用されています。ライセンスを取得しようとしたインスタンスが、ライセンスされていないと記録されています。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 新しいライセンスキーを取得します。
3. 新しいライセンスキーで再試行します。



## 解決方法 2

### 原因

適用しようとするライセンスは、すでに使用されています。

### アクション

1. 未使用のライセンスが残っている場合は、別のライセンスでもう一度試してください。
2. それ以外の場合は、未使用のライセンスを含むライセンスキーを取得し、新しいライセンスキーからのライセンスで再度実行してください。

## 解決方法 3

### 原因

すでにライセンスが付与されているインスタンスまたは製品に、ライセンスが適用されました。

### アクション

1. ライセンスを取得しようとしているインスタンスまたは製品を確認します。
2. 必要な場合は、正しいインスタンス名または製品名で再試行します。

## HPE OneView でライセンスの詳細を表示できなかった

### 症状

アプライアンスについてライセンスの詳細を表示できない。

## 解決方法 1

### 原因

ライセンスがアプライアンスに割り当てられていない。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ライセンスを割り当てます。
3. もう一度ライセンスの詳細を表示します。

## 解決方法 2

### 原因

### 問題の内容

フィルターの条件が、空白、または正しくない。アプライアンスは結果を返せなかった。

### 原因

フィルターの条件が正確でなかったため、結果を返せませんでした。

## アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. フィルター条件を修正します。
3. もう一度ライセンスの詳細を表示します。

## ライセンス適用済みサーバーハードウェアの数が管理下にある数より多い

### 症状

ライセンスグラフに表示されるライセンス適用済みサーバーハードウェアの数が、管理下にあるサーバーハードウェアの現在の数より多い。

### 原因

HPE OneView Advanced ライセンスが割り当てられたサーバーハードウェアが、管理対象から削除された。HPE OneView Advanced ライセンスが割り当てられたサーバーハードウェアが管理対象から削除されたときに、ライセンスが割り当てられたままになっていました。これによって、ライセンスされたサーバーの数が、現在管理されているライセンス適用済みサーバーハードウェアの数より大きくなる可能性があります。

### アクション

REST API を使用して、ライセンスに割り当てられているすべてのサーバーのリスト全体を表示できます。

```
GET /rest/licenses
```

## 最近追加または割り当てられたライセンスが不正確であることが表示される

### 症状

最近追加または割り当てられたライセンスがライセンスグラフに報告されない

### 原因

ライセンスグラフが最新でない。

### アクション

ライセンスグラフの設定画面を更新し、最新の変更を表示します。

## 論理インターコネクトのトラブルシューティング

- ・ ファームウェアバージョンが混在する論理インターコネクトを作成すると問題が発生する
- ・ SNMP 通知の生成の失敗
- ・ HPE OneView でのファームウェアアップデートエラー
- ・ HPE OneView での I/O ベイの占有エラー
- ・ Pause Flood 状態が Flex-10 または Flex-20 物理ダウンリンクポートで検出された



- ・ HPE OneView での物理インターコネクットの警告またはエラー
- ・ HPE OneView でのアップリンクセットの警告またはエラー

## ファームウェアバージョンが混在する論理インターコネクトを作成すると問題が発生する

### 症状

論理インターコネクトは警告状態になります。モジュールはメンテナンスモードに移行し、アラートが表示されます。

### 原因

HPE Synergy 用 HPE Virtual Connect SE 16Gb FC モジュールのファームウェアバージョンと、そのモジュール用に設定されている機能の間に不一致があります。論理インターコネクトで構成されている 1 つ以上の機能をサポートしていないファームウェアバージョンを持つモジュールは、メンテナンスに移行します。たとえば、論理インターコネクトのアップリンクセット構成でトランキングを有効にしても、モジュールのファームウェアバージョンがトランキングをサポートしていない場合、モジュールはメンテナンスに移行します。ファームウェアバージョンが 4.0 以前のモジュールでは、トランキングはサポートされていません。

### アクション

- ・ モジュールのファームウェアバージョンを、トランキングをサポートする 4.00.02 以降にアップグレードしてください。

### または

- ・ 論理インターコネクトおよび論理インターコネクトグループのアップリンクセット構成からトランキングを削除してください。

## SNMP 通知の生成の失敗

### 症状

SNMP テストトラップを送信できません。

### 解決方法 1

#### 原因

論理インターコネクトに SNMP テストの通知宛先が構成されていません。

#### アクション

少なくとも 1 つの SNMP トラップまたは通知の宛先を定義して、SNMP トラップを再送信します。

### 解決方法 2

#### 原因

SNMPv1 または SNMPv2 トラップのみが定義され、SNMPv1 または SNMPv2 は無効になります。

## アクション

SNMPv1 または SNMPv2 を有効にして、SNMP テストトラップを再送信してください。

## 解決方法 3

### 原因

論理インターコネク트에**構成済み**状態のインターコネクトモジュールが含まれていません。

### アクション

1. 論理インターコネクトには、少なくとも 1 つの**構成済み**状態のインターコネクトが含まれている必要があります。

詳しくは、HPE OneView オンラインヘルプの以下のトピックを参照してください。

- ・ SNMP トラップ宛先の追加
- ・ SNMP の設定
- ・ SNMPv1、v2、および SNMPv3 の設定

## HPE OneView でのファームウェアアップデートエラー

### 症状

ファームウェアのアップデート障害のエントリがアクティビティログに表示される。

### 原因

インターコネクトのファームウェアエラーは、以下が原因で発生することがあります。

- ・ ファームウェアのアップデートが進行中にインターコネクトモジュールを再起動する。
- ・ 別のファームウェアアップデートがすでに進行中のときにファームウェアアップデートを開始する。
- ・ 論理インターコネクト内のインターコネクトがアップグレードの開始前に**構成済み**状態になっていない。
- ・ HPE OneView がエンクロージャーのと通信できない。

### アクション

1. ファームウェアのアップデートの進行中にインターコネクトモジュールを再起動しないでください。
2. 根本的な原因について詳しくは、アクティビティログをチェックしてください。
  - a. ファームウェアのステージングが失敗する場合は、アクティビティログをチェックし、問題を解決してアップデートを再開します。
  - b. ファームウェアのアクティブ化が失敗する場合は、アクティビティログをチェックしてから、手動でファームウェアをアクティブ化します。

3. アップグレードを開始する前に、論理インターコネクットのすべてのインターコネク트가構成済み状態になっていることを確認します。
4. どうしてもファームウェアのアップデートが失敗する場合は、オンラインヘルプを参照し、論理インターコネク트의サポートダンプファイルを作成して認定サポート担当者にお問い合わせください。

## HPE OneView での I/O ベイの占有エラー

### 症状

インターコネク트의状態エラー

### 原因

インターコネク트의状態が変わる

### アクション

1. 以下のいずれかのインターコネク트状態エラーを解決します。
  - ・ インターコネク트가 IO ベイからなくなっている (インターコネク트의状態が非存在である)
  - ・ IO ベイにサポートされていないインターコネク트モデルが見つかった (インターコネク트의状態は未サポート)
  - ・ サポートされていないファームウェアが原因で、IO ベイのインターコネク트를管理できない (インターコネク트의状態は非管理)
  - ・ インターコネク트タイプと論理インターコネク트グループで指定されたタイプの間の不一致
  - ・ 水平方向に隣接したインターコネク트モジュールの不一致

## Pause Flood 状態が Flex-10 または Flex-20 物理ダウンリンクポートで検出された

### 症状

物理ポートに関連付けられているすべての Flex-10 または Flex-20 論理ポートが無効になっている。

### 原因

**Pause Flood 保護**が有効な場合、サーバーダウンリンクポートの Pause Flood 状態が検出され、そのポートが無効になります。ポートは、管理アクションが行われるまで無効のままになります。

Pause Flood 状態の間、HPE Synergy 用 Mellanox SH2200 スイッチモジュールのダウンリンクポートは無効になりません。それらのポートは非転送状態に移行します。Pause Flood 状態が解消されると、ダウンリンクポートは自動的に回復します。

### アクション

1. 連続した休止生成の原因となっているサーバー上の NIC の問題を解決します。これには、NIC ファームウェアおよびデバイスドライバーのアップデートが含まれる場合があります。

休止フラッド状態の原因が NIC ファームウェア内にある場合は、サーバーを再起動しても休止フラッド状態がクリアされないことがあります。この場合、サーバーを電源から完全に切り離して、NIC ファームウェアをリセットする必要があります。
2. メインメニューから、**ネットワーク > インターコネク트**を選択します。

3. マスターウィンドウで、ループおよび Pause Flood 保護をリセットするインターコネクトを選択します。
4. **アクション > ポート保護のリセット**を選択し、無効になっているポートを再度有効にします。  
HPE Synergy 用 Mellanox SH2200 スイッチモジュールインターコネクトは、ポートが自動的に回復するため**ポート保護のリセットアクション**をサポートしていません。

## HPE OneView での物理インターコネクトの警告またはエラー

### 症状

インターコネクトレベルの警告またはエラー

### 原因

インターコネクトの警告またはエラーは、以下が原因で発生することがあります。

- ・ 展開された接続によるダウンリンクが使用可能ではない
- ・ ファームウェアのバージョンが正しくない（ファームウェアベースラインのバージョンと異なる）
- ・ 構成エラー
- ・ ハードウェア障害
- ・ 通信の切断
- ・ 管理上ポートが無効になっている

## HPE OneView でのアップリンクセットの警告またはエラー

### 症状

アップリンクセットが動作していない

### 原因

以下の理由により、アップリンクセットが動作していない：

- ・ 1 つまたは複数のアップリンクが、不良ケーブル、ケーブルがない、トランシーバーの不足、または無効なトランシーバーという理由で動作していない
- ・ ネットワークが割り当てられていない
- ・ FCoE ネットワークの DCBX 情報がない

### アクション

1. 次の前提条件が満たされているかどうかを確認してください。
  - a. 少なくとも 1 つのネットワークが定義されている
  - b. ネットワーク管理者の権限またはネットワークを管理するための同等の権限を持っている。



詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「ユーザーの役割」トピックを参照してください。

- c. DCBX 情報が FCoE ネットワークに必要なである
2. アップリンクセットの追加画面上の入力したデータが正しいことと、アップリンクセット名が一意であることを確認します。
3. 操作を再試行してください。

## ネットワークのトラブルシューティング

### HPE OneView でのネットワーク作成操作が失敗する

#### HPE OneView でのネットワーク作成操作が失敗する

##### 症状

ネットワークの作成が失敗する。

##### 原因

ネットワーク構成が正しくない。

##### アクション

1. 以下のことを確認してください。
  - a. ネットワーク名が一意である。  
一括操作を使用して複数のタグ付きネットワークを作成すると、VLAN ID はネットワーク名に付加されます。
  - b. ネットワークの数が、HPE Synergy 構成および互換性ガイドに示されている最大数を超えていない。
  - c. プライベートネットワークの数が、HPE Synergy 構成および互換性ガイドに示されている最大数を超えていない。
2. ネットワークの作成操作を再実行します。

## レポートのトラブルシューティング

### HPE OneView でレポートを表示できない

#### HPE OneView でレポートを表示できない

##### 症状

どのレポートにもアクセスできない。

##### 原因

権限が適切でない



## アクション

1. ログアウトし、レポートを確認することができるユーザー役割でログインします。例：

- ・ インフラストラクチャ管理者
- ・ ネットワーク管理者
- ・ サーバー管理者
- ・ ストレージ管理者
- ・ 読み取り専用

# スコープのトラブルシューティング

## 認証の問題に関するトラブルシューティング

### 認証の問題に関するトラブルシューティング

必要なパーミッションを持たない操作を実行しようとするすると、認証が失敗します。ほとんどの場合、このような障害は構成済みのセキュリティポリシーを反映しています。インフラストラクチャ管理者に連絡して、追加の権限を付与してもらうようにしてください。

ただし、管理者に連絡する前に実行できるチェックがいくつかあります。

- ・ リクエストの発行に使用されたセッショントークンが有効でないため、障害が発生した可能性があります。これは、たとえば、トークンの有効期限が切れている場合に発生します。この場合は、認証情報を再入力して新しいユーザーセッションを作成します。HPE OneViewはこの状態を自動的に検出し、ログイン画面を表示します。
- ・ HPE OneView では、複数のパーミッションを持つユーザーは低い特権モードで操作できます。このモードの場合、ユーザーの権限は、承認されたパーミッションのサブセットに制限されます。低い特権モードで操作している場合は、パーミッションを再度有効にすることでアクセス権が付与されるかどうかを確認してください。
- ・ スコープによって権限が制限されているユーザーは、承認されたパーミッションスコープ内でのみリソースを管理できます。リソースが自分のパーミッションスコープに割り当てられていない場合は、管理者に連絡してください。リソース画面でスコープビューを選択すると、リソースがどのスコープに割り当てられているかが表示されます。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「ユーザーパーミッションの変更」トピックを参照してください。

# サーバーハードウェアのトラブルシューティング

特定のサーバーハードウェアの問題については、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) リリースノート](#)を参照してください。

- ・ サーバーの電源を制御できない
- ・ HPE OneView によって Gen10 ハードウェアが検出されない
- ・ HPE Synergy コンポーザーアプライアンスの再起動後にサーバーハードウェアへの接続が失われた
- ・ HPE OneView で割り当てられたサーバープロファイルがあるサーバーハードウェア上のサーバーアダプターの交換

- ・ 割り当てられたサーブプロファイルがあるサーバーの交換
- ・ システムボードの交換後にサーバーの電源がオンにならない
- ・ ワンタイムブートオプションを設定している間、サーバーが POST 中である

## サーバーの電源を制御できない

サーバーの電源制御に問題がある場合は、最新の構成と、この機能に影響する可能性のあるセキュリティの変更を調査してください。多くの場合、これらの変更を確認するための第一歩として、iLO のイベントログが役に立ちます。

ハードウェアにも障害がある可能性があります。iLO で POST（電源投入時セルフテスト）エラーについてのインテグレートドマネジメントログ（IML）を使用して、ハードウェアエラーが発生したかどうかを確認します。

電源オンまたは電源オフ操作が失敗する場合は、通知メッセージに表示される指示に従ってください。

## HPE OneView によって Gen10 ハードウェアが検出されない

### 症状

HPE OneView にエンクロージャーをインポートしたり、Gen10 コンピュートモジュールにエンクロージャーを追加したりするときは、HPE OneView のハードウェアセットアップ画面またはサーバーハードウェア画面に Gen10 ハードウェアのリストは表示されません。

### 原因

HPE Synergy で Gen10 ハードウェアの検出をサポートしていないソフトウェアまたはファームウェアのバージョンが実行されています。

- ・ HPE Synergy フレームリンクモジュールがファームウェアバージョン 1.x を実行しています。
- ・ HPE Synergy コンポーザーが 3.00.xx バージョンの HPE OneView を実行しています。

### アクション

- ・ HPE Synergy (3.10.xx 以降) の 最新のリリースセットをダウンロード します。
- ・ リリースセットから HPE Synergy コンポーザーファームウェアバンドルを展開します。これには HPE OneView (3.10.00 以降) のアップデートが含まれています。
- ・ HPE OneView をアップデートします。
- ・ リリースセットから HPE Synergy Custom SPP バンドルを展開して、ファームウェアレポジトリに保存します。
- ・ **サーバー > 論理エンクロージャー**画面に移動して、フレームリンクモジュールのファームウェアをアップデートします。
- ・ フレームリンクモジュールが 2.0（またはそれ以降）に正常にアップデートされると、Gen10 コンピュートモジュールが、確認のためにハードウェアセットアップのインベントリ画面またはサーバーハードウェアの概要画面に表示されるはずですが。

コンピュートモジュールが表示されない場合は、エンクロージャーを更新して強制的に検出を実施してください。

詳細は、[HPE OneView ヘルプ](#)の次のトピックを参照してください。



- アプライアンスのアップデート
- アプライアンスのファームウェアレポジトリへのファームウェアバンドルの追加
- 論理エンクロージャーからのファームウェアのアップデート
- エンクロージャーの更新によるエンクロージャーと HPE OneView の再同期

## HPE Synergy コンポーザーアプライアンスの再起動後にサーバーハードウェアへの接続が失われた

クラッシュ後にアプライアンスが再起動すると、長時間実行されていて失敗したアクティビティについてサーバーインベントリが評価されます。このようなアクティビティには、クラッシュの発生時に進行中だった可能性のある、サーバープロファイル設定の適用などのアクティビティなどが含まれます。サーバープロファイル設定の再適用など、同じ操作を再度実行することによって復旧することができます。

アプライアンスはサーバーを再同期します。再同期中、各サーバーハードウェアは `resyncPending` 状態に入ります。個々のサーバーハードウェアの完全再同期には、サーバーハードウェアの再検出、サーバーハードウェアの電源状態の確認とそれに応じたリソース状態のアップデート、およびヘルスステータスのアップデートが含まれます。アプライアンスは、再同期操作中に、タスクごとのタスクキューを作成します。

## HPE OneView で割り当てられたサーバープロファイルがあるサーバーハードウェア上のサーバーアダプターの交換

### 症状

サーバーアダプターの障害

### 原因

サーバーアダプターで障害が発生し、交換する必要がある

### アクション

1. 正常にサーバーをシャットダウンします。
2. サーバーのアダプターを交換します。
3. 対応するサーバープロファイルが仮想識別子 (MAC および WWN アドレス) で構成されている場合は、ステップ 4 に進みます。プロファイルが物理識別子 (MAC および WWN) で構成されている場合は、以下の点を考慮します。
  - a. 識別子の変更により、任意のイーサネットネットワーク構成が OS 上で失われ、再構成が必要になる場合があります。
  - b. ストレージネットワークゾーン内とストレージレイ上で、サーバーホスト WWN のアップデートが必要になる場合があります。
4. 新しいアダプターのファームウェアバージョンをチェックします。
  - a. メインメニューから、**サーバー > サーバーハードウェア**または**サーバープロファイル**を選択し、交換されるアダプターを含んでいるサーバーハードウェアまたはサーバープロファイルを選択します。
  - b. **サーバー > サーバーハードウェア**または**サーバープロファイル**画面で**アクション > コンソールの起動**の順に選択します。



iLO リモートコンソールが起動されます。

5. サーバーの電源を入れ、ブート中に新しいアダプターのファームウェアバージョンをチェックします。
  - a. ファームウェアバージョンがファームウェアベースラインと一致することを確認するには、メインメニューから**ファームウェアバンドル**を選択します。
  - b. ファームウェアベースラインを選択します。
  - c. ファームウェアのリストをスクロールして、ベースラインで提供されている内容を見つけ、それをアダプターファームウェアと比較します。
6. ファームウェアバージョンがベースラインとは異なり、サーバープロファイルが HPE Synergy サーバーに割り当てられている場合は、サーバーファームウェアをサーバープロファイルの再割り当てによって自動的にアップデートできます。
  - a. メインメニューから**サーバープロファイル**を選択し、編集するサーバープロファイルを選択します。
  - b. **アクション > 編集**の順に選択します。必要な場合は、適切なサーバーハードウェアを選択します。
  - c. ファームウェアアップデートを手動で管理するには、**ファームウェアベースラインリスト**から、**手動で管理**を選択します。
  - d. ファームウェアを自動的にアップデートするには、適切なファームウェアベースラインを選択します。同じまたはより新しい場合でも、すべてのファームウェアを強制的にインストールするには、**強制的にインストール**を選択します。
  - e. **OK** をクリックします。

## 割り当てられたサーバープロファイルがあるサーバーの交換

### 症状

サーバーハードウェアの障害

### 原因

サーバーハードウェアで障害が発生し、交換する必要があります。

### アクション

1. 正常にサーバーハードウェアをシャットダウンします。
2. 元のサーバーを取り外し、交換用のサーバーを設置します。
3. 交換用のサーバーのサーバーハードウェアタイプが元のサーバーのサーバーハードウェアタイプに一致する場合は、以下を行います。
  - a. プロファイルで定義されているアフィニティが**デバイスベイ**に設定されている場合、サーバープロファイルは新しいサーバーに自動的に再割り当てされます。ステップ 5 に進んでください。
  - b. アフィニティが**デバイスベイ + サーバーハードウェア**に設定されている場合は、サーバープロファイルを編集し、再保存して、アプライアンスが新しいサーバーのプロファイルを再構成できるようにする必要があります。サーバープロファイルの変更は必要ありません。ステップ 5 に進んでください。
4. 交換用のサーバーのサーバーハードウェアタイプが元のサーバーのサーバーハードウェアタイプと一致しない場合は、交換用のサーバーのサーバーハードウェアタイプと一致する新しいプロファイルを作成する必要があります。サーバーに割り当てられている元のプロファイルを割り当て解除または削

除し、新しいプロファイルを交換用のサーバーに割り当てる必要があります。または、サーバーハードウェアのタイプをアップデートして、挿入されたハードウェアに一致させる必要があります。

5. iLO ファームウェアバージョンが必要な最小ファームウェアバージョン以上の場合は手順 6 に進みます。iLO ファームウェアの最小バージョンは、**HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス** (HPE Synergy 用) に記載されています。交換用のサーバーの iLO ファームウェアバージョンが必要な最小ファームウェアバージョンより小さい場合は、**サーバーハードウェア**画面に警告が表示され、サーバーステータスが**非管理/サポートされていないファームウェア**になります。
  - a. **アクション** > **iLO ファームウェアのアップデート**の順に選択します。
  - b. **OK** をクリックします。
6. iLO ファームウェアバージョンがベースラインとは異なり、サーバープロファイルが HPE Synergy サーバーに割り当てられている場合は、サーバープロファイルの再割り当てによって iLO サーバーファームウェアを自動的にアップデートできます。
  - a. メインメニューから、**サーバー** > **サーバープロファイル**を選択し、編集するサーバープロファイルを選択します。
  - b. **アクション** > **編集**の順に選択します。必要な場合は、適切なサーバーハードウェアを選択します。
  - c. ファームウェアアップデートを手動で管理するには、**ファームウェアベースラインリスト**から、**手動で管理**を選択します。
  - d. ファームウェアを自動的にアップデートするには、適切なファームウェアベースラインを選択します。強制的にファームウェアをインストールするには、**強制的にインストール**を選択します。
  - e. **OK** をクリックします。

## システムボードの交換後にサーバーの電源がオンにならない

### 症状

新しく修復されたサーバーをベイに挿入するときに追加プロセスが継続して実行され、サーバーの電源がオンにならない。

### 原因

サーバーを取り外してシステムボードを新しいシリアル番号と製品 ID を持つ新しいものに交換する前に、新しいサーバーに関連付けられているプロファイルが割り当て解除されていません。

### アクション

新しいシステムを再構成して、以前のシステムボード ID と一致させます。

1. HPE OneView が「追加」プロセスを終了するまで 10~15 分間待ちます。エラーで終了する可能性があります。
2. サーバーの電源をオフにしてから、ベイからサーバープロファイルの割り当てを解除します。
3. サーバーのコンソールに接続し、サーバーの電源をオンにします。
4. **F9** キーを押して UEFI システムユーティリティに入ります。
5. シリアル番号と製品 ID の設定を探し、交換されたボードに設定されていたものと同じ値に設定します。

シリアル番号と製品 ID は、そのサーバーの「toe タグ」に印刷されています。

6. UEFI システムユーティリティを終了し、Power On Self Test (POST) を経てサーバーの電源が投入されるまで待ちます。
7. サーバーの電源を切断します。
8. エンクロージャーまたはフレームを更新します。
9. サーバープロファイルを再割当てします。
10. サーバープロファイルが割り当てられたときにアラートが生成されなかったことを確認します。
11. これで、サーバーの電源をオンにして操作を再開できます。

## ワンタイムブートオプションを設定している間、サーバーが POST 中である

### 症状

サーバーが「Post in progress, EV unavailable. (POST の実行中で、EV を利用できません。)」として表示される。

### 原因

サーバーの電源がオンの間はサーバーのワンタイムブートオプションを設定できますが、サーバーが POST (Power-On-Self-Test) を実行している間は設定できません。

### アクション

1. サーバーの電源を切ります。
2. ワンタイムブートオプションを設定します。
3. サーバーの電源をオンにします。
4. サーバーのブートステータスを確認するには、サーバーコンソールを確認します。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「サーバーハードウェア」のセクションを参照してください。

## サーバープロファイルのトラブルシューティング

- ・ ファームウェアと OS ドライバーのアップデートでエラーが発生する
- ・ 接続の割り当て中または展開中に、FlexNIC の自動割り当てが失敗する
- ・ プロファイルから接続を追加できない
- ・ サーバープロファイルを適用できない
- ・ ファームウェアのインストールを完了できない
- ・ 接続を追加するときに、ネットワークが見つからない
- ・ HPE OneView でプロファイルのアップデートや削除ができない
- ・ 複数のサーバープロファイルを削除しようとした場合に、選択したプロファイルの一部が削除されない
- ・ 不整合なファームウェアバージョンが HPE OneView に表示される
- ・ HPE OneView でプロファイルの操作が成功していない

- ・ BIOS 設定を適用するときにプロファイル操作がタイムアウトになる
- ・ HPE OneView でサーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない
- ・ サーバーの電源をオンにしても、SUT が構成されない
- ・ サーバープロファイルの電源をオンまたはオフにできない
- ・ プロファイルを削除できない: MyProfile を削除することができない、またはファームウェアの変更を追加できない
- ・ サーバープロファイルの電源をオフにできない
- ・ ファームウェアをアップデートできない

## ファームウェアと OS ドライバーのアップデートでエラーが発生する

### 症状

ファームウェアと OS ドライバーのアップデートでエラーが発生している。

### 原因

いくつかのコンポーネントが展開されない。

### アクション

1. いくつかのコンポーネントが展開できない場合は、ターゲットサーバー OS にログインして `gatherlogs bat/sh` を実行します (OS が Windows の場合は `bat`、Linux の場合は `sh` を使用)。`gatherlogs` は、ターゲットサーバーのステージングディレクトリにあります。
2. ステージングディレクトリを特定するには、`sut --status` コマンドをステージングディレクトリから実行して、レポートをトラブルシューティング用に HPE へ送ってください。 [Integrated Smart Update Tools for Windows and Linux User Guide](#) および [Smart Update Tools for VMware ESXi User Guide](#) ([Smart Update Tools Information Library](#) 内) を参照してください。

## 接続の割り当て中または展開中に、FlexNIC の自動割り当てが失敗する

### 症状

接続の割り当て中または展開中に、FlexNIC の自動割り当てが失敗する。

### 原因

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない。無効な構成がある。

FlexNIC 接続の自動割り当てでは、以下の点は検証されません。

- ・ 物理ポートの帯域幅のオーバーサブスクリプション
- ・ 物理ポートの最大ネットワーク (VLAN)
- ・ 物理ポートの重複ネットワーク (VLAN)

## アクション

手動割り当てが必要です。

## プロファイルから接続を追加できない

### 症状

プロファイルから接続を追加できません。

### 原因

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない。

### アクション

1. 以下の条件が当てはまることを確認します。

- ・ 論理インターコネクトグループのインターコネクトの状態が構成済みであり、ファームウェアが正しい。
- ・ サーバーの状態がプロファイル未適用状態であり、正しいファームウェアがあり、ポートが正しいインターコネクトにマップされている。

## サーバープロファイルを適用できない

### 症状

適用するとサーバープロファイルが失敗します。

### 解決方法 1

#### 原因

サーバーハードウェアの状態を確認できない。

次の操作でサーバーハードウェアの動作状態を確認します。

1. キャンセルをクリックしてサーバープロファイルの作成画面を終了します。
2. メインメニューから、サーバー > サーバーハードウェア画面に移動します。
3. サーバーハードウェアを検索して、選択します。

### 解決方法 2

#### 原因

サーバープロファイルで LUN を指定したときに、ボリューム値の制限を超えました。



## アクション

1. **HPE OneView サポートマトリックス**で確認し、LUN を指定するときに、サポートされているストレージネットワークメザニアダプターの既知のボリューム制限を特定します。
2. サーバープロファイル内の SAN ボリュームを編集するときに、SAN ストレージボリュームの LUN をターゲットストレージネットワークメザニアダプターの既知の制限値内になるように設定します。
3. 操作を再試行してください。

## 解決方法 3

### 原因

原因不明。

### アクション

1. POST 中に **F10** を押して、影響を受けたシステム上で Intelligent Provisioning を手動で起動してみます。
2. Intelligent provisioning を手動で起動できた場合は、この操作を HPE OneView から再度試してください。  
手動での起動が引き続き失敗する場合は、iLO を再起動して手順 1 を再度試します。
3. 前の手順が失敗する場合には、サーバーが Synergy サーバーで Smart アレイコントローラーがアクティブであれば、RBSU を使用してサーバー上の IOMMU を一時的に無効にします。
  - a. システムの起動時に **F9** キーを押して、UEFI システムユーティリティを開始します。
  - b. システムオプションを選択します。
  - c. プロセッサオプションを選択します。
  - d. **AMD-Vi (IOMMU)** を選択します。
  - e. **無効**を選択します。
  - f. 保存して、UEFI システムユーティリティを終了します。
4. それでも起動が失敗する場合は、最新の UEFI システムユーティリティをインストールします。  
<https://hpe.com/info/intelligentprovisioning>

## ファームウェアのインストールを完了できない

### 症状

ファームウェアのインストールを完了できません。

### 原因

{サーバー}のファームウェアがファームウェアベースラインと一致しない。

## アクション

SUT を使用してファームウェアのアップデートを選択した場合、SUT をインストールしてファームウェアとドライバーのアップデートを完了する必要があります。

## 接続を追加するときに、ネットワークが見つからない

### 症状

接続を追加するときに、ネットワークが見つかりません。

### 原因

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない。

### アクション

論理インターコネクトグループが、アップリンクセットに構成されているネットワークでセットアップされていることを確認します。

## HPE OneView でプロファイルのアップデートや削除ができない

### 症状

プロファイル : MyProfile をアップデートすることができない、またはファームウェアの変更を追加できない

### 原因

ファームウェアのアップデートが進行中である。

### アクション

ファームウェアのインストールが完了するまで待ちます。

## 複数のサーバープロファイルを削除しようとした場合に、選択したプロファイルの一部が削除されない

### 症状

複数のサーバープロファイルを選択して削除しようとした場合に、一部のサーバープロファイルが削除されない。

### 原因

管理対象サーバープロファイル（サービスマネージャーを持つサーバープロファイル）は、個別に削除する必要があります。管理対象サーバープロファイルは、複数のプロファイルの削除から除外されます。

### アクション

管理対象サーバープロファイルを個別に削除します。

---

**注記:** サービスマネージャーを持つサーバープロファイルを削除すると、サービスに影響する場合があります。Hewlett Packard Enterprise では、対応するサービスマネージャーのドキュメントを参照することをお勧めします。

---

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「サービスマネージャーによるサーバープロファイル管理の自動化」および「メリットと制限事項」を参照してください。

## 不整合なファームウェアバージョンが HPE OneView に表示される

### 症状

ファームウェアはインストールを完了できないか、ベースラインと一致しない。

### 原因

ファームウェアがファームウェアベースラインと一致しない。

### アクション

1. 次のいずれかを実行します。

- ・ Smart Update Tools をインストールして実行します。
- ・ ファームウェアベースラインのインストールでファームウェアのみオプションを使用するよう、サーバープロファイルを編集します。

## HPE OneView でプロファイルの操作が成功していない

### 症状

サーバーが別の管理システムによって管理されていることがメッセージに示される。

割り当てられたすべての仮想 ID が失われないようにするには、サーバープロファイルを強制的に削除する前に、このセクションにある手順を実行します。

### 原因

エンクロージャーが HPE OneView によって管理されなくなっている。

### アクション

1. REST API または **Windows PowerShell** を使用して、サーバープロファイルを取得します。

```
GET /rest/server-profiles
```

2. UI または REST API を使用して、プロファイルを強制的に削除します。

3. UI のユーザー指定オプションを使用して ID を再作成するか、REST API を使用してサーバープロファイルを作成します。

a. サーバープロファイルを取得します。

```
GET /rest/server-profiles
```

b. サーバープロファイルを編集します。uri、serverHardwareTypeUri、enclosureGroupUri、enclosureUri、および enclosureBay を削除します

c. serverHardwareUri の値を、プロファイルに関連付ける予定のサーバーに変更します。



- d. serialNumberType を Virtual から UserDefined に変更します。
- e. connections プロパティで、macType を Virtual から UserDefined に変更します。
- f. connections プロパティで、wwpnType を Virtual から UserDefined に変更します
- g. connections プロパティで、該当する場合は networkUri を正しいネットワークに変更します。
- h. サーバープロファイルを作成します。  
POST /rest/server-profiles

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「サービスマネージャーによるサーバープロファイル管理の自動化」および「メリットと制限事項」を参照してください。

## BIOS 設定を適用するときにプロファイル操作がタイムアウトになる

### 症状

BIOS 設定を適用するときにプロファイル操作がタイムアウトになる。

### 原因

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない。サーバーのハードウェアまたはその iLO が、電源切断/リセットされているか、アプライアンスが、iLO から進行状況の情報を収集できない。



### アクション

ほとんどの場合、操作を再実行すると問題は解決します。

## HPE OneView でサーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない

### 症状

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされないと、画面上部に、プロファイル操作が失敗したことを示す通知が表示されます。詳細を表示するには、通知領域をクリックします。また、サー

バープロファイル名の横にあるステータスアイコンは、エラー状態 (  ) であることを示します。プロファイルはアプライアンスに残りますが、修正するにはプロファイルを編集する必要があります。サーバープロファイルを修正すると、プロファイルステータスは OK (  ) に変わります。

### 原因

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない。

### アクション

1. [HPE OneView ヘルプ](#) の「サーバープロファイルの作成および適用」トピックに示されている前提条件が満たされていることを確認します。
2. 以下の条件が当てはまることを確認します。
  - ・ 最新の SPP がインストールおよび適用されていること。
  - ・ プロファイル名が入力されており、固有であること。
  - ・ 選択されたサーバーハードウェアの電源がオフになっていること。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「サーバーの電源オフ」を参照してください。

- ・ サーバーハードウェアがプロファイル未適用状態で、正しいファームウェアがあり、ポートが正しいインターコネク트에マッピングされており、デバイスベイに割り当てられているプロファイルがないこと。
- ・ サーバーハードウェアは電源を切つてすぐに入れ直すことができ、ユーザーは、プロファイル設定の適用中にサーバーハードウェアをシャットダウンしなかった。
- ・ 正しいレベルの iLO およびシステム ROM ファームウェアを適用した。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「ファームウェアレポジトリの表示」を参照してください。

- ・ サポートされているサーバーハードウェアを使用している。
  - ・ iLO に IP アドレスとネットワーク接続がある。
  - ・ iLO は機能していて、ネットワークケーブルは接続され動作していて、管理ネットワークにスイッチまたはインターコネクトの問題がないかどうかを含むがこれに限定されず、サーバーハードウェア iLO との通信が存在する。
  - ・ アプライアンスと管理対象リソースは、ファイアウォールによって切り離されない。
  - ・ エンクロージャーの追加操作が正常に完了した。
  - ・ サーバーハードウェアの追加操作が正常に完了した。
  - ・ 指定したネットワークまたはネットワークセットがサーバーハードウェアのポートで使用可能である。
  - ・ インターコネクトが構成済み状態であり、ファームウェアが正しい。
  - ・ 論理インターコネクト構成が、その論理インターコネクトグループと一致する。
  - ・ 物理ポート上に重複ネットワークがない。
  - ・ 複数のアダプターが取り付けられている場合は、すべてのアダプターのファームウェアバージョンが同じである必要がある。
  - ・ ユーザーが指定したアドレスが一意的正しい形式になっている。
3. すでに問題に対処した場合は、プロファイルを編集するか、プロファイルを削除し、別のプロファイルを作成します。

サーバープロファイルに、同じ物理ポート上の重複ネットワークがある場合、以下を行います。

- ・ 接続を別のポートに変更します。
- ・ 別の VLAN を使用するように接続を変更します。

## サーバーの電源をオンにしても、SUT が構成されない

### 症状

サーバーの電源をオンにしても、SUT が構成されない。

### 原因

サーバーの電源をオンにしても、サーバープロファイルが Smart Update Tools を使用するように構成されていません。

## アクション

影響を受けるサーバープロファイルを編集し、Smart Update Tools を使用するファームウェアアップデートオプションを選択します。

**注記:** この症状は、論理エンクロージャーの共有インフラストラクチャとサーバープロファイルのファームウェアアップデートを試みたときに見られることもあります。

## サーバープロファイルの電源をオンまたはオフにできない

### 症状

サーバープロファイルの電源をオンまたはオフにできません。

### 原因

複数のサーバープロファイルを選択した場合、1 つ以上のサーバープロファイルがサービスマネージャーによって管理されます。

### アクション

サーバーハードウェアページと iLO にある **電源オン**機能と **電源オフ**機能を使用します。

詳しくは、[HPE iLO ユーザーガイド](#)と、HPE OneView のオンラインヘルプの「メリットと制限事項」を参照してください。

## プロファイルを削除できない : MyProfile を削除することができない、またはファームウェアの変更を追加できない

### 症状

プロファイルを削除できません。次のメッセージが表示されます。

MyProfile を削除することができない、またはファームウェアの変更を追加できない

### 解決方法 1

#### 原因

ファームウェアのアップデートが進行中である。

#### アクション

1. 次のいずれかを実行します。

- ・ ファームウェアのインストールが完了するまで待ちます。インストールが完了するまで中止しないことを強くお勧めします。
- ・ 強制削除オプションを選択します。

## 解決方法 2

### 原因

サーバーの電源がオフにならない。

### アクション

プロファイルを削除するには、サーバーの電源をオフにします。

---

**注記:** 瞬間的に押すことは常に許可されますが、押し続ける操作は、サーバーが不安定な状態になる可能性があるため制限されています。

---

## サーバープロファイルの電源をオフにできない

### 症状

サーバープロファイルの電源をオフにできない。

### 原因

押し続ける操作が拒否される。

### アクション

1. 次のいずれかを実行します。

- ・ 電源ボタンを瞬間的に押しても、SUT でハードウェアが不安定な状態になることはありません。
- ・ 電源を押し続ける操作は、SUT が終了状態になった後で試してください。

---

### 注記:

- ・ 電源を押し続ける操作は、Smart Update Tools がファームウェアやドライバーをアップデートしている間に行わないでください。
  - ・ ファームウェアのインストールが完了するまで待ち、中断しないことを強くお勧めします。
- 

## ファームウェアをアップデートできない

### 症状

ファームウェアをアップデートできない。

## 解決方法 1

### 原因

ベースラインが Smart Update Tools でサポートされていません。

### アクション

1. 次のいずれかを実行します。

- ・ SUM 7.6.0 以降および iLO 4 ファームウェアバージョン 2.31 以降または iLO 5 ファームウェアバージョン 1.10 以降のベースラインを選択します。SUM について詳しくは、[Smart Update Manager Information Library](#) にある Smart Update Manager ユーザーガイドを参照してください。
- ・ 影響を受けるサーバープロファイルを、**ファームウェアのみ**を使用するよう編集します。

## 解決方法 2

### 原因

サーバーに、仮想メディアに必要なライセンスがない。

### アクション

サーバーに iLO Advanced ライセンスを適用するか、iLO2.30 バージョン以降（可能な場合は最新の iLO バージョン）を適用します。

## 解決方法 3

### 原因

- ・ ファームウェアバージョン 1.40 以降の iLO 5 で設定されたダウングレードポリシーにより、ファームウェアをダウングレードできません。
- ・ ファームウェアベースラインがサーバーのバージョンよりも低いバージョンのファームウェアコンポーネントで構成されているサーバープロファイルは、作成または編集できません。
- ・ ファームウェアバージョン 1.40 以降の iLO 5 で設定されたダウングレードポリシーにより、HPE OneView に十分な権限がありません。

### アクション

1. iLO Web ユーザーインターフェイスにログインします。
2. **セキュリティ > アクセス設定 > アップデートサービス**に移動します。
3. ダウングレードポリシーを**ダウングレードの許可**に設定します。
4. サーバープロファイルを編集するか再適用して、操作を再度実行します。

詳しくは、[HPE iLO ユーザーガイド](#)と、HPE OneView のオンラインヘルプの以下のトピックを参照してください。

- ・ サーバープロファイルの作成
- ・ ファームウェアのダウングレード
- ・ サーバープロファイルの編集
- ・ iLO Web UI のファームウェアダウングレード設定
- ・ サーバープロファイルの再適用
- ・ 論理エンクロージャーからのファームウェアのアップデート

## ストレージのトラブルシューティング

- ・ HPE OneView で Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーを追加できない
- ・ ストレージシステムポートがフェイルオーバーした状態にある
- ・ ストレージシステムポートが失敗の状態にある
- ・ ストレージシステムポートがフェイルオーバー中の状態にある
- ・ ストレージシステムポートがパートナーが失敗した状態にある
- ・ ストレージシステムポートがパートナーポートがフェイルオーバーした状態にある
- ・ ストレージシステムポートが復旧中の状態にある
- ・ HPE OneView でのターゲットポートの障害
- ・ Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーとの接続を確立できない
- ・ Fabric オペレーティングシステム (FOS) SAN マネージャーとの接続を確立できない
- ・ ボリュームがオペレーティングシステムを期待どおりに起動しない
- ・ ボリュームがストレージシステムから認識されるが、アプライアンス上で認識されない
- ・ HPE OneView のサーバーハードウェアでボリュームを利用できない
- ・ ゾーン操作が Cisco SAN マネージャーで失敗する

### HPE OneView で Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーを追加できない

#### 症状

SAN マネージャーの追加が失敗し、エラー「指定されたロケーションに SAN マネージャーが見つかりません。」が発生する

#### 解決方法 1

#### 原因

BNA またはスタンドアロンの SMI エージェントがサーバーにインストールされていない

## アクション

BNA ソフトウェアのドキュメントを参照してください。

## 解決方法 2

### 原因

フルアクセス権を持つ BNA 管理者アカウントが構成されておらず、アプライアンスで使用できない。

## アクション

BNA ソフトウェアのドキュメントを参照してください。

## 解決方法 3

### 原因

共通情報モデルオブジェクトマネージャー (CIMOM) がインストールされておらず、サーバー上で構成されていない。

## アクション

BNA ソフトウェアのドキュメントを参照してください。

## 解決方法 4

### 原因

BNA SSL 設定とアプライアンス上の BNA の SSL 設定が一致しない。

## アクション

1. BNA ソフトウェアを使用して、SSL が有効になっているかどうかを確認します。詳しくは、BNA ソフトウェアのドキュメントを参照してください。
  2. **SAN マネージャー**画面で、BNA のアプライアンスの **SSL を使用**設定と BNA ソフトウェアの SSL 設定が一致することを確認します。SSL 設定が一致しない場合：
    - a. メインメニューで、**SAN マネージャー**を選択し、次のいずれかの操作を実行します。
      - ・ マスターウィンドウで、BNA を選択し、**アクション** > **編集**の順に選択します。
      - ・ 詳細ウィンドウ内にポインティングデバイスを置き、**編集アイコン**をクリックします。
- 詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「バナーとメインメニュー」と「グラフィカルユーザーインターフェイス」の各トピックを参照してください。
3. **SSL を使用**で、BNA ソフトウェアの SSL 設定と一致するように値を変更します。
  4. **OK** をクリックして、変更を保存します。

## ストレージシステムポートがフェイルオーバーした状態にある

### 症状

ストレージシステムポートがフェイルオーバーした状態にある。

### 原因

ポートはオフラインであり、パートナーポートにフェイルオーバーしました。

### アクション

1. ストレージシステム上のポートに関する問題を解決します。
2. インフラストラクチャとの接続を確認します。

## ストレージシステムポートが失敗の状態にある

### 症状

ストレージシステムポートが失敗の状態にある。

### 原因

ポートはオフラインであり、パートナーポートにフェイルオーバーできません。

### アクション

1. 両方のストレージポートのステータスと構成を確認します。
2. ケーブル接続や他のインフラストラクチャの問題を確認します。

## ストレージシステムポートがフェイルオーバー中の状態にある

### 症状

ストレージシステムポートがフェイルオーバー中の状態にある。

### 原因

ポートはオフラインであり、パートナーポートへのフェイルオーバーの最中です。

### アクション

状態が変わるのを待ちます。

## ストレージシステムポートがパートナーが失敗した状態にある

### 症状

ストレージシステムポートがパートナーが失敗した状態にある。

### 原因

パートナーポートに障害が発生し、フェイルオーバー操作が成功しませんでした。





## アクション

1. 両方のストレージポートのステータスと構成を確認します。
2. ケーブル接続や他のインフラストラクチャ問題を確認してください。

## ストレージシステムポートがパートナーポートがフェイルオーバーした状態にある

### 症状

ストレージシステムポートがパートナーポートがフェイルオーバーした状態にある。

### 原因

パートナーポートはフェイルオーバーしました。ポートはパートナーポートトラフィックです。

### アクション

1. ストレージシステム上のパートナーポートの問題を解決してください。
2. インフラストラクチャとのポート接続を確認してください。

## ストレージシステムポートが復旧中の状態にある

### 症状

ストレージシステムポートが復旧中の状態にある。

### 原因

ポートはオンラインであり、正常な状態に復帰している最中です。

### アクション

状態が変わるのを待ちます。

## HPE OneView でのターゲットポートの障害

### 症状

ターゲットポートで障害が発生している。

### 解決方法 1

#### 原因

ターゲットポートの障害は、実際のネットワークと予想されたネットワークが一致しないことです。予想されたネットワークをアプライアンス上でアップデートする必要があります。

#### アクション

1. メインメニューから**ストレージ** > **ストレージシステム**の順に選択します。
2. マスターウィンドウで、**ストレージシステム**を選択し、**アクション** > **編集**の順に選択します。

3. ポートについて、**予想されるネットワークを実際のネットワークと一致するように変更**します。

4. **OK** をクリックします。

このタスクを完了するのに REST API を使用することもできます。

**REST API** : /rest/storage-systems/{id}

詳しくは、**HPE OneView API リファレンス**を参照してください。

## 解決方法 2

### 原因

物理配線が正しく構成されていない（ファブリック接続）。

### アクション

ストレージシステムと SAN スイッチ間の配線が正しく構成されていることを確認します。

## 解決方法 3

### 原因

デバイスでポートの障害が発生した。

### アクション

ストレージシステムハードウェアを調べます。必要に応じて修復します。

ハードウェアについて詳しくは、**<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>** を参照してください。

## 解決方法 4

### 原因

ストレージシステムに物理的に接続されているエンクロージャーがアプライアンスに追加されていない（直接接続）。

### アクション

アプライアンスにエンクロージャーを追加してください。

## 解決方法 5

### 原因

物理配線が正しく構成されていない（直接接続）。



## アクション

ストレージシステムとエンクロージャーインターコネクト間の配線が正しく構成されていることを確認します。ケーブル配線について詳しくは、<https://www.hpe.com/info/synergy-docs> の **HPE Synergy ケーブル接続ガイド**を参照してください。

## Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーとの接続を確立できない

### 症状

SAN マネージャーとの接続を確立できない

### 原因

CIMOM がアプライアンスと同じサブネット上にある NIC にバインドされていない

### アクション

BNA ソフトウェアのドキュメントを参照してください。

## Fabric オペレーティングシステム (FOS) SAN マネージャーとの接続を確立できない

### 症状

SAN との接続を確立できない。

### 解決方法 1

#### 原因

FOS REST API が無効になっています。

#### アクション

FOS REST API を有効にします。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「FOS API を使用した管理用の Brocade スイッチの構成」トピックを参照してください。

### 解決方法 2

#### 原因

HTTPS が要求されましたが、FOS HTTPS が構成されていません。

#### アクション

FOS HTTPS 証明書を作成して HTTPS を有効にします。



詳細については、Brocade Fabric OS 管理ガイドを参照してください。

## ボリュームがオペレーティングシステムを期待どおりに起動しない

### 症状

SAN ストレージボリュームの構成には目に見えるエラーはないが、ボリュームが期待どおりに動作しない。

### 原因

サーバープロファイルで定義されている iSCSI イニシエーターの CHAP 名が、ネットワークアダプターで要求されている名前の文字数制限を超えています。CHAP 名が認識されないと、ブレードはストレージに接続できず、ボリュームはオペレーティングシステムを起動できません。

### アクション

1. **HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス**を参照し、サポートされているアダプターに関する既知の文字数制限を確認してください。
2. サーバープロファイル内で、SAN ストレージボリュームの iSCSI イニシエーターの CHAP 名を、対象のネットワークアダプターの既知の文字数制限内になるように再設定します。
3. 操作を再試行してください。

## ボリュームがストレージシステムから認識されるが、アプライアンス上で認識されない

### 症状

ボリュームが正常な状態でない。

### 原因

ボリュームがアプライアンス上で認識されないのは、ボリュームが、アプライアンスによって管理されていないストレージプールに移動されていることが原因と考えられます。

### アクション

1. アプライアンスによって管理されているプールにボリュームを移動し、ストレージシステムソフトウェアを使用してボリュームを更新します。詳しくは、ストレージシステムのドキュメントを参照してください。
2. ボリュームが配置されているストレージプールをアプライアンスの管理下に置きます。  
ボリュームがアダプティブオプティマイゼーションによって移動された場合は、アダプティブオプティマイゼーションが使用する可能性のあるすべてのプールをアプライアンスの管理下に置くことをお勧めします。この手法により、アダプティブオプティマイゼーションによって移動される場合、ボリュームを引き続きアプライアンスで使用できます。

- a. メインメニューから**ストレージ > ストレージプール**の順に選択し、以下のいずれかを実行します。  
マスターウィンドウで**+ストレージプールの追加**をクリックします。  
**アクション > 追加**の順に選択します。
  - b. **ストレージシステム**で、追加するストレージプールを含むストレージシステムを選択します。
  - c. **ストレージプール**で、追加するストレージプールを選択します。
  - d. **追加**をクリックしてストレージプールを追加するか、**追加+**をクリックして別のプールを追加します。
3. このタスクを完了するのに REST API を使用することもできます。  
`/rest/storage-pools`  
詳しくは、HPE OneView REST API リファレンスを参照してください。

## HPE OneView のサーバーハードウェアでボリュームを利用できない

### 症状

サーバーでボリュームにアクセスできない。

### 解決方法 1

#### 原因

SAN ゾーンが正しく構成されていない、または存在しないことが、サーバーでボリュームにアクセスできない原因として考えられます。

#### アクション

1. アタッチメントを再び有効にする（管理対象 SAN の場合）：
  - a. メインメニューから**サーバー > サーバープロファイル**の順に選択します。
  - b. マスターウィンドウで、サーバープロファイルを選択し、**アクション > 編集**の順に選択します。
  - c. 有効にするポートを見つけ、**有効**を選択します。
  - d. **OK** をクリックします。
2. SAN 管理ソフトウェアを使用してゾーンを作成または構成します（管理対象 SAN なし）。
  - a. **OK** をクリックします。
  - b. SAN マネージャードキュメントを参照してください。
3. 管理対象 SAN を使用する場合
  - a. SAN マネージャーと SAN がネットワークに関連付けられていることを確認します。
  - b. 自動ゾーニングが有効になっていることを確認します。
4. SAN の自動ゾーニングが有効になっていない

- a. ゾーンが手動で構成されていることを確認します。
- b. SAN マネージャードキュメントを参照してください。

## 解決方法 2

### 原因

インターコネクトポートが無効になっているためにサーバーイニシエーターがファブリックにログインしていないことが、サーバーでボリュームにアクセスできない原因として考えられます。

### アクション

1. アプライアンスでインターコネクトポートを有効にする
  - a. メインメニューから、**インターコネクト**を選択します。
  - b. マスターウィンドウで、インターコネクトを選択し、**アクション** > **編集**の順に選択します。
  - c. 有効にするポートを見つけ、**有効**を選択します。
  - d. **OK** をクリックします。
2. このタスクを完了するのに REST API を使用することもできます。  
REST API: `/rest/interconnects/{id}/ports`  
詳しくは、HPE OneView REST API リファレンスを参照してください。
3. 論理インターコネクトグループを再構成してください。
  - a. メインメニューから、**ネットワーク** > **論理インターコネクトグループ**の順に選択します。
  - b. マスターウィンドウで、論理インターコネクトグループを選択し、**アクション** > **編集**の順に選択します。
  - c. ネットワークが希望するインターコネクトポートと接続するようにアップリンクセットを編集します。
  - d. **OK** をクリックします。
  - e. 論理グループインターコネクトリンクがオンラインに復帰することを確認します。
  - f. メインメニューから、**論理インターコネクト**を選択します。
  - g. マスターウィンドウで論理インターコネクトを選択し、**アクション** > **グループからアップデート**の順に選択します。
4. このタスクを完了するのに REST API を使用することもできます。  
**REST API**: `/rest/logical-interconnect-groups/{id}` および `/rest/logical-interconnects/{id}/compliance`  
詳しくは、HPE OneView REST API リファレンスを参照してください。
5. 物理配線が意図したとおりに構成されていることを確認します。

## 解決方法 3

### 原因

接続がサーバープロファイルで定義されていないことが、サーバーでボリュームにアクセスできない原因として考えられます。

### アクション

1. サーバープロファイルでネットワークに接続を追加します。メインメニューから**サーバー > サーバープロファイル**の順に選択します。
2. マスターウィンドウで、サーバープロファイルを選択し、**アクション > 編集**の順に選択します。
3. **接続**で、**接続の追加**をクリックします。
4. **デバイスタイプ**で、**Fibre Channel over Ethernet** を選択します。
5. **ネットワーク**で、ストレージシステムに接続されているネットワークを選択し、**追加**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。

## ゾーン操作が Cisco SAN マネージャーで失敗する

### 症状

Cisco SAN マネージャーでのゾーン操作が失敗する。

### 原因

snmpd サービスがクラッシュした。

SAN マネージャーソフトウェアの SAN マネージャーログを見て、snmpd サービスがクラッシュしたことを確認してください。snmpd サービスがクラッシュする原因の 1 つは、SAN マネージャーのファームウェアが古いことです。

### アクション

#### SAN マネージャーのファームウェアを最新バージョンにアップデートする

1. SAN マネージャーのファームウェアをアップデートする際は、メーカーの指示に従ってください。
2. ゾーン操作をアプライアンス上で再度試してください。

## OS 展開サーバーのトラブルシューティング

### HPE OneView が OS 展開サーバーと通信できない

## HPE OneView が OS 展開サーバーと通信できない

### 症状

HPE OneView が OS 展開を実行する選択したプライマリクラスターと通信できない。

## 原因

選択したプライマリクラスターがペアになっていないか、使用できない。

## アクション

OS 展開サーバーで編集操作を実行することで新しいプライマリクラスターを選択し、展開サーバーのバックアップを新しいプライマリクラスタープライマリクラスターにリストアします。

詳細については、HPE OneView オンラインヘルプにある「イメージストリーマー OS 展開サーバーの展開アプライアンスの変更」トピックを参照してください。

# ユーザーアカウントのトラブルシューティング

- ・ HPE OneView でディレクトリグループを追加できない
- ・ ディレクトリサービスを HPE OneView に追加できない
- ・ HPE OneView でディレクトリサービス用のサーバーを追加できない
- ・ HPE OneView でローカルユーザーアカウントを削除できない
- ・ HPE OneView でディレクトリグループが見つからない
- ・ HPE OneView でローカルユーザーアカウントを変更できない
- ・ ディレクトリサービスを HPE OneView から使用できない
- ・ HPE OneView での不正な権限
- ・ 認証されていないユーザーまたはグループ
- ・ HPE OneView によってユーザーの公開キーが受け付けられない

## HPE OneView でディレクトリグループを追加できない

### 症状

ディレクトリグループをアプライアンスのグループとして追加できませんでした。

### 解決方法 1

#### 原因

指定された認証ディレクトリおよびグループはすでに存在しています。グループは固有のものである必要があります。

#### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 現在のグループを別のパーミッションに再割り当てするか、別のグループを作成して必要なパーミッションにマップします。



## 解決方法 2

### 原因

外部的な問題により、ディレクトリサーバーのホストが切断されました。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ディレクトリサービスホストの設定が正確であることを確認します。
3. ディレクトリサービスに正しいポートが使用されていることを確認します。
4. 通信に使用しているポート（デフォルトポート 636）がファイアウォールによってブロックされていないことを確認します。

ディレクトリサービスを HPE OneView に追加できないを参照してください。

5. ディレクトリサービスホストの IP アドレスまたはホスト名に対してローカルで ping コマンドを実行して、オンラインかどうかを確認します。
6. アプライアンスネットワークが正しく動作していることを確認します。

## 解決方法 3

### 原因

認証の問題が、アプライアンスがディレクトリサービスへログインするのを妨げました。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ログイン名とパスワードが正確であることを確認します。
3. ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。
4. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせ、認証情報が正確であることを確認します。

## 解決方法 4

### 原因

ディレクトリサービスの構成中に指定されたサービスアカウント認証情報は、外部認証ディレクトリで変更されます。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ディレクトリサービスを編集し、新しいサービスアカウント認証情報をアップデートします。
3. グループを追加します。

## ディレクトリサービスを HPE OneView に追加できない

### 症状

ディレクトリサービスをアプライアンスに追加することはできません。

## 解決方法 1

### 原因

外部的な問題により、ディレクトリサーバーのホストが切断されました。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ディレクトリサービスホストの設定が正確であることを確認します。
3. ディレクトリサーバーの IP アドレスまたはホスト名に対してローカルで ping コマンドを実行して、オンラインかどうかを確認します。
4. ディレクトリサービスとの LDAP 通信用のポートが SSL ポート（デフォルトは 636）またはグローバルカタログ SSL ポート（デフォルトは 3269）であることを確認します。
5. 通信に使用しているポート（デフォルトポート 636 または 3269）がファイアウォールによってブロックされていないことを確認します。
6. アプライアンスネットワークが正しく動作していることを確認します。
7. アプライアンスが適切に機能していることと、十分なリソースがあることを確認します。

## 解決方法 2

### 原因

証明書の期限が切れているので、ディレクトリサーバーのホストがアプライアンスの認証を拒否しています。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ログイン名とパスワードが正確であることを確認します。
3. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせて、認証情報が正確であることを確認します。
4. ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。

## 解決方法 3

### 原因

証明書が有効な x509 の形式ではありません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 必要に応じて、ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。
3. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせて、認証情報が正確であることを確認します。

## 解決方法 4

### 原因

証明書に x509v3 キー使用法拡張機能が含まれていません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 証明書にキー使用法拡張機能が含まれていることを確認します。
3. 必要に応じて、ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。

## 解決方法 5

### 原因

認証情報が有効ではないため、ディレクトリサーバーのホストはアプライアンスを認証できません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ログイン名とパスワードが正確であることを確認します。
3. 検索コンテキスト情報が正確であることを確認します。別のアカウントまたはグループにアクセスしようとしている可能性があります。
4. ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。
5. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせて、認証情報が正確であることを確認します。

## 解決方法 6

### 原因

ディレクトリサービスの構成時に、正しくないパラメーターが使用されました。

### アクション

1. ディレクトリサービスの名前が一意であり正しく入力されていることを確認します。重複する名前は使用できません。
2. ディレクトリの種類が正しいことを確認します。
3. ベース DN フィールドと、OpenLDAP の場合はユーザーネーミング属性フィールド、および組織ユニットフィールドが正しいことを確認してください。
4. 認証ディレクトリサービス管理者の認証情報が正しいことを確認します。
5. グループがディレクトリサービスに構成されていることを確認します。

## HPE OneView でディレクトリサービス用のサーバーを追加できない

### 症状

ディレクトリサービス用にサーバーを構成することはできません。

## 解決方法 1

### 原因

アプライアンスがディレクトリサービスとの接続を失ったため、その接続が失われました。

### アクション

1. ディレクトリサービスホストの設定が正確であることを確認します。
2. ディレクトリサービスに正しいポートが使用されていることを確認します。
3. 通信に使用しているポート（デフォルトポート 636）がファイアウォールによってブロックされていないことを確認します。
4. ディレクトリサービスホストの IP アドレスまたはホスト名に対してローカルで ping コマンドを実行して、オンラインかどうかを確認します。
5. アプライアンスネットワークが正しく動作していることを確認します。

## 解決方法 2

### 原因

ディレクトリサービス用のサーバーにログインすると、認証エラーになります。

### アクション

1. ログイン名とパスワードが正確であることを確認します。
2. ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。
3. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせて、認証情報が正確であることを確認します。

## HPE OneView でローカルユーザーアカウントを削除できない

### 症状

エラーコード 500 で削除が失敗する。

### アクション

1. 次の REST API コールを実行して、削除するユーザーアカウントを修正します。

```
PUT https://{appl}/rest/users
```

2. もう一度ユーザーアカウントの削除を試みてください。

## HPE OneView でディレクトリグループが見つからない

### 症状

外部認証ディレクトリサービスで、指定されたグループが見つからない。

## 解決方法 1

### 原因

外部認証ディレクトリサービスでグループが構成されていないか、検索パラメーターにエラーが含まれています。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 外部認証ディレクトリサービスの認証情報を確認します。
3. ディレクトリサービスが動作していることを確認します。
4. グループの名前を確認します。
5. ディレクトリサービス管理者に問い合わせ、外部認証ディレクトリサービスにグループのアカウントが構成されていることを確認します。
6. もう一度グループを検索してみてください。

## 解決方法 2

### 原因

ディレクトリのタイプが正しく指定されていません。例えば、Active Directory サービスが OpenLDAP として指定されている可能性があります。

### アクション

インフラストラクチャ管理者としてログインします。

## 解決方法 3

### 原因

指定した認証ディレクトリサービスの検索には、どのグループも含まれていません。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. OpenLDAP の場合、ディレクトリサーバーのユーザーが読み取り権限 (`rscdx`) を持っていることを確認します。これは、HPE OneView が検索結果を読み取れるようにするためです。

## 解決方法 4

### 原因

ディレクトリグループへのアクセス中にエラーが発生しました。ディレクトリサービスサーバーに到達できませんでした。

## アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ディレクトリサーバーホストへの接続を確認します。
3. OpenLDAP では、必要な 1 つ以上のグループを取得するためにすべての組織ユニットを追加します。  
追加ボタンを使用して、ユーザーとグループが存在する場所に個別に組織ユニットを追加します。

## 解決方法 5

### 原因

外部の問題によって、ディレクトリサービス用に構成されたサーバーへのアプライアンスの到達が妨げられました。

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ディレクトリサーバーホストへの接続を確認します。[HPE OneView でディレクトリサービス用のサーバーを追加できない](#)を参照してください。

## HPE OneView でローカルユーザーアカウントを変更できない

### 症状

ローカルユーザーアカウントを追加、編集、または削除することができない。

## 解決方法 1

### 原因

適切な権限がないか、無効なパラメーターを入力しました。

### アクション

インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。

## 解決方法 2

### アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。
2. もう一度ユーザーアカウントの追加、編集、または削除を試みてください。

## 解決方法 3

### 原因

アプライアンス証明書が無効であるか、失効しています。

## アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。
2. 新しいアプライアンス証明書を取得します。
3. ブラウザーページを更新します。
4. 新しい証明書を承諾します。
5. ユーザーアカウントを追加します。
6. もう一度ユーザーアカウントの追加、編集、または削除を試みてください。

## ディレクトリサービスを HPE OneView から使用できない

### 症状

アプライアンスはディレクトリサービスにアクセスできません。

### 解決方法 1

#### 原因

ディレクトリサービスのサーバーにはアクセスできません。  
ディレクトリサービスのサーバーまたはネットワークのいずれかがダウンしています。

#### アクション

1. ディレクトリサーバーの IP アドレスまたはホスト名に対して **ping** コマンドを実行して、オンラインかどうかを確認します。
2. アプライアンスネットワークが正しく動作していることを確認します。
3. ディレクトリサービス管理者に問い合わせ、サーバーがダウンしているかどうかを確認します。

### 解決方法 2

#### 原因

構成エラーは、ディレクトリサービスの到達を妨げます。

#### アクション

1. ディレクトリサービスの名前が一意であり正しく入力されていることを確認します。重複する名前は使用できません。
2. **ディレクトリの種類**が正しいことを確認します。
3. ベース DN フィールドと、OpenLDAP の場合は**ユーザーネーミング属性**フィールド、および**組織ユニット**フィールドが正しいことを確認してください。
4. 認証ディレクトリサービス管理者の認証情報が正しいことを確認します。
5. グループがディレクトリサービスに構成されていることを確認します。
6. グループに割り当てられている役割が正しいことを確認します。

## HPE OneView での不正な権限

### 症状

ユーザーがユーザーインターフェイスで管理対象オブジェクトを表示するには、(最低でも) そのオブジェクトに対する表示権限を持っている必要があります。

特定のリソース情報を表示したり、リソースのタスクを実行したりできない

### 原因

割り当てられている役割に正しい権限がない。

### アクション

作業を行うために、インフラストラクチャ管理者から別の役割または追加の役割を要求します。

## 認証されていないユーザーまたはグループ

### 症状

ディレクトリユーザーとしてログインできない。

---

**注記:** 各ユーザーは、アプライアンスへのログイン時に、ユーザー名とパスワードを確認する認証サービスによって認証されます。**設定の編集 > 認証画面**を使用して、アプライアンスで認証設定を構成できます。アプライアンスの初期セットアップでは最初にデフォルト値が入力されます。

---

### 原因

認証設定が正しくありません。

### アクション

1. ユーザー画面から、ユーザーまたはグループをディレクトリに追加をクリックします。
2. ディレクトリの追加をクリックします。
3. 設定の編集 > 認証画面で、ディレクトリの追加をクリックします。
4. 要求される情報を入力します。
5. OK をクリックします。

## HPE OneView によってユーザーの公開キーが受け付けられない

### 症状

ユーザーの公開キーが動作しない、または受け付けられない。

### 原因

コピー/貼り付け操作中に取り込まれた非表示の文字によってキーコードが変更される。





## アクション

1. 公開キーフィールドに貼り付けるときに、特殊文字がキーに挿入されないように注意しながら、キーを再度入力します。
2. サポートされるのは、RSA キーのみです。



# HPE Synergy のドキュメントのリンク

## HPE Synergy のドキュメントリソース

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) では、インストール手順書、ユーザーガイド、メンテナンスおよびサービスガイド、ベストプラクティス、追加リソースへのリンクなど、すべての HPE Synergy ドキュメントを包括的に 1 箇所に集めたライブラリを提供します。ライブラリは、検索性を向上させるフィルタリングをサポートしています。

ドキュメント:

以下を提供:

HPE Synergy ソリューション	
はじめに	ハードウェアのインストールから HPE OneView の構成まで、HPE Synergy ソリューションの初回セットアップ手順。
リリースノート	HPE Synergy、HPE Synergy イメージストリーマー、HPE OneView などの製品のリリースの説明、新機能、ドキュメントのアップデート、問題と推奨処置。
移行ガイド	HPE Synergy コンポーザーから HPE Synergy コンポーザー 2 への移行、および HPE Synergy フレームリンクモジュールから HPE Synergy 4 ポートフレームリンクモジュールへの移行に関する情報。
HPE Synergy アプライアンスのファームウェアの確認 : HPE Synergy アプライアンスの初期セットアップの準備	システムでの初期使用のために HPE Synergy アプライアンスを準備する手順。
Appliances User Guide	アプライアンスのモジュール管理、構成、およびセキュリティの概要。
ケーブル接続ガイド	管理ネットワーク、HPE Synergy イメージストリーマー、インターコネクト、および電源のケーブル接続例。
構成および互換性ガイド	HPE Synergy 管理とファブリックアーキテクチャー、詳細なハードウェアコンポーネントの識別、およびハードウェアコンポーネントの構成要件の概要。
フレームリンクモジュールユーザーガイド	HPE Synergy 4 ポートフレームリンクモジュール、HPE Synergy フレームリンクモジュール、および HPE Synergy 管理コンソールの管理、構成、およびセキュリティに関する情報。
Power Management Overview Guide	HPE Synergy が HPE Synergy 12000 フレームの電力使用量を管理する方法に関する追加の詳細情報。
トラブルシューティングガイド	一般的な問題を解決するための情報、および障害の分離と特定、問題の解決、およびメンテナンスのための一連のアクション。
エラーメッセージガイド	特定のエラーメッセージに関連する問題を解決するための情報。
ドキュメントマップ	必要な HPE Synergy ドキュメントをフィルタリングして見つけるための説明マップ。
用語集	製品の理解と、HPE Synergy エコシステムの習熟に役立つ用語、説明、および図面。

表は続く

ドキュメント:

以下を提供:

## HPE Synergy イメージストリーマ

展開ワークフロー	OS 展開用の HPE Synergy イメージストリーマーのセットアップに関連するさまざまな手順のインタラクティブな説明、および手順の詳細な指示を含むさまざまなドキュメントへの参照。
サポートマトリックス	HPE Synergy イメージストリーマーに関する、ソフトウェアおよびファームウェアの最新要件、サポート済みハードウェア、および最大構成。
ユーザーガイド	HPE Synergy イメージストリーマーを使用した OS 展開プロセス、HPE Synergy イメージストリーマーの機能、および HPE Synergy イメージストリーマーアーティファクトの目的とライフサイクル。また、HPE Synergy イメージストリーマーの認証、権限付与、およびトラブルシューティングに関する情報も含まれます。
GitHub	サンプルアーティファクトと、サンプルアーティファクトの使用法に関するドキュメントが含まれるレポジトリ ( <a href="https://github.com/HewlettPackard">github.com/HewlettPackard</a> )。また、HPE Synergy イメージストリーマーを使用して実行できる展開手順について説明するテクニカルホワイトペーパーも含まれます。
ヘルプ	HPE Synergy イメージストリーマーの基本的な概念とユーザーインターフェイスのタスクに関する情報。

## HPE OneView (HPE Synergy 用)

サポートマトリックス (HPE Synergy 用)	HPE OneView に関する、ソフトウェアおよびファームウェアの最新要件、サポート済みハードウェア、および最大構成。
ユーザーガイドおよびヘルプ (HPE Synergy 用)	リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報。
Global Dashboard のユーザーガイドおよびヘルプ	HPE OneView Global Dashboard のインストール、構成、ナビゲーション、およびトラブルシューティングについての説明。
HPE Synergy のトラブルシューティングガイド	HPE Synergy Composer に組み込まれている HPE OneView の一般的なトラブルシューティング手順。
トラブルシューティングの資料	ツール内のトラブルシューティング画面、オンラインヘルプ、およびトラブルシューティングガイド。

## HPE Synergy ファームウェアアップデートリソース

HPE OneView (HPE Synergy 用) :

以下を提供 :

ファームウェアおよびドライバーのアップデートガイド  
ファームウェアのアップデート方法、および HPE OneView が提供するファームウェアおよびドライバーをアップデートするための推奨のベストプラクティスに関する情報。

HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) では、ファームウェアアップデート情報のインタラクティブリソースを提供します。HPE Synergy ファームウェアアップデートリソースは、HPE OneView 内でも利用できます。

図 1: HPE Synergy ソフトウェアリリース情報

## HPE Synergy Software Release Information

### HPE SYNERGY SOFTWARE OVERVIEW & DOWNLOADS

[HPE Synergy Software Releases - Overview](#)

[HPE Synergy Software Releases - What's New?](#)

### HPE SYNERGY SOFTWARE RELEASE TOOLS

[HPE Synergy Firmware Comparison Tool](#)

[HPE Synergy Firmware Feature Comparison Table](#)

[HPE Synergy Upgrade Paths](#)

[VMware OS Support for HPE Synergy](#)

### OTHER RESOURCES

[Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases](#)

[Identifying Upgrade Paths](#)

[HPE Synergy Resources](#)

[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#)

## HPE Synergy Software Releases - Overview

HPE Synergy Software Releases, comprised of HPE Synergy Management combinations (a versioned set of Composer and Image Streamer software) and HPE Synergy Custom SPPs, are available for customers to download and use on products under an active HPE Warranty or an HPE Support Agreement.

### HPE Synergy Management combinations and supported HPE Synergy Custom SPPs

This table identifies the HPE Synergy Custom SPPs supported by the various management combinations. An HPE Synergy Custom SPP is considered supported if it is listed in the row with the selected management combination. **Recommended versions** and associated HPE Synergy Custom SPPs are shown in **bold** font.

**NOTE:** HPE Synergy Custom SPPs marked in red will reach end-of-support (EOS) in May 2020.

Select a management combination to access the HPE Support Center page, where you can view additional information and download software and firmware for the selected management combination.

HPE SYNERGY CUSTOM SPPS				
HPE SYNERGY MANAGEMENT combinations	NOV Core SPP 2018.11.0	MAR Core SPP 2019.03.1	SEP Core SPP 2019.09.0	DEC Core SPP 2019.12.0
	<b>End-of-Support: May 2020</b>			
<b>HPE Synergy 5.0 Release</b>				
Composer (HPE OneView) 5.00.02 & Image Streamer 5.00.01				

## HPE Synergy ソフトウェア リリース情報サイト : 以下を提供 :

Overview	ダウンロードページおよび関連する Synergy カスタム SPP へのリンクが記載された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせのリスト。
What's new	HPE Synergy リリースの新機能のリスト。
Firmware Comparison Tool	選択された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせによってサポートされる HPE Synergy カスタム SPP を比較するために使用する HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせリスト。このツールは、以前の管理ソフトウェアの組み合わせと互換性があるカスタム SPP を確認する場合にも役立ちます。
Firmware Feature Table	選択された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせによってサポートされる HPE Synergy カスタム SPP を比較するために使用するファームウェア機能のリスト。
Upgrade Paths Table	HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーのアップグレードパス、および HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせに関する情報。
VMware OS Support	VMware vSphere OS を HPE Synergy カスタム SPP で使用するための情報と要件。
Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases	過去の HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーのアップグレードパス、および HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせに関する情報。
Identifying Upgrade Paths	アップグレードパス表の使用方法に関する情報。

表は続く

**HPE Synergy ソフトウェア リリース情報サイト** 以下を提供 :

HPE Synergy Resources	HPE Synergy の主要なリソースのリスト。
Hewlett Packard Enterprise Information Library	すべての HPE Synergy 製品ドキュメントのソリューションレベルライブラリ。

## HPE Synergy ドキュメントの概要 (ドキュメントマップ)

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) では、インストール手順書、ユーザーガイド、メンテナンスおよびサービスガイド、ベストプラクティス、追加リソースへのリンクなど、すべての HPE Synergy ドキュメントを包括的に 1 箇所に集めたライブラリを提供します。ライブラリは、検索性を向上させるフィルタリングをサポートしています。

さらに、HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) では、ソフトウェアリリース情報のインタラクティブリソースを提供します。

ソフトウェアリリース情報	管理
<ul style="list-style-type: none"><li>• HPE Synergy Software releases - Overview</li><li>• HPE Synergy Software releases - What's new</li><li>• HPE Synergy Firmware Comparison Tool</li><li>• HPE Firmware Feature Comparison Table</li><li>• HPE Synergy Upgrade Paths</li><li>• VMware OS Support Tool for HPE Synergy</li><li>• Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases</li><li>• Identifying Upgrade Paths</li><li>• HPE Synergy Resources</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド</li><li>• HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ</li><li>• HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド</li><li>• HPE Synergy イメージストリーマー API リファレンス</li><li>• HPE Synergy イメージストリーマー展開ワークフロー</li><li>• HPE Synergy フレームリンクモジュールユーザーガイド</li></ul>
プランニング	監視
<ul style="list-style-type: none"><li>• HPE Synergy 移行ガイド</li><li>• HPE Synergy 12000 Frame Site Planning Guide</li><li>• HPE Synergy 構成および互換性ガイド</li><li>• HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス</li><li>• HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス</li><li>• Setup Overview for HPE Synergy</li><li>• HPE Synergy Software Overview Guide</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド</li><li>• HPE OneView Global Dashboard ユーザーガイド</li></ul>

表は続く

## ハードウェアの取り付け

- ・ HPE Synergy はじめに (フレームに付属)
- ・ HPE Synergy 12000 フレームセットアップ/インストールガイド
- ・ HPE ラックレールインストール手順 HPE Synergy 12000 フレーム用 (フレームに付属)
- ・ HPE Synergy 12000 Frame Rack Template (フレームに付属)
- ・ フードラベル
- ・ ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy ケーブル接続ガイド
- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用 — ハードウェアセットアップ

## メンテナンス

- ・ Product maintenance and service guides
- ・ HPE OneView for HPE Synergy Firmware and Driver Update Guide
- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用
- ・ HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy Appliances Maintenance and Service Guide

---

## 管理および監視の構成

- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用
- ・ HPE OneView (HPE Synergy 用) ユーザーガイド
- ・ HPE OneView API リファレンス HPE Synergy
- ・ ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト

## トラブルシューティング

- ・ HPE OneView アラートの詳細
- ・ HPE Synergy トラブルシューティングガイド
- ・ HPE ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy エラーメッセージガイド
- ・ HPE ProLiant Gen10 および HPE Synergy 用のインテグレートドマネジメントログメッセージおよびトラブルシューティングガイド
- ・ HPE OneView API リファレンス HPE Synergy
- ・ HPE OneView トラブルシューティングガイド (HPE Synergy 用)
- ・ HPE Synergy イメージストリーマー API リファレンス

---

# HPE Synergy のトラブルシューティング資料

HPE Synergy のトラブルシューティング資料は、HPE OneView および Hewlett Packard Enterprise Information Library ([www.hpe.com/info/synergy-docs](http://www.hpe.com/info/synergy-docs)) から入手できます。

## HPE OneView でのトラブルシューティング

HPE OneView には、トラブルシューティングを行うためのアラート通知およびオプションが含まれています。UI は、リソースのステータスとメッセージの潜在的な問題の解決を示す色の付いたアイコンを含む、HPE Synergy コンポーネントの複数のビューを示します。

エンクロージャービューとマップビューを使用して、検出されたすべての HPE Synergy ハードウェアのステータスをすばやく確認できます。

## HPE Synergy トラブルシューティングガイド

HPE Synergy トラブルシューティングガイドは、Hewlett Packard Enterprise 情報ライブラリ ([www.hpe.com/info/synergy-docs](http://www.hpe.com/info/synergy-docs)) から入手できます。HPE Synergy ハードウェアおよびソフトウェ

アコンポーネントの両方に対し、一般的な問題の解決のための情報、障害の分離と識別のための手順、問題の解決、および保守を提供します。

## HPE ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy エラーメッセージガイド

Error Message Guide for HPE ProLiant Gen10 servers and HPE Synergy は、Hewlett Packard Enterprise Information Library ([www.hpe.com/info/synergy-docs](http://www.hpe.com/info/synergy-docs)) から入手できます。HPE Synergy ハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの両方で受け取った特定のエラーメッセージに関連する、一般的な問題を解決するための情報を提供します。

## HPE Synergy と HPE OneView API リファレンスの HPE OneView ヘルプ

HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用および HPE OneView API リファレンス HPE Synergy は、HPE OneView のユーザーインターフェイスで利用できる、アクセスしやすい組み込み型のオンラインヘルプです。これらのヘルプファイルには、HPE Synergy 内の一般的な問題、および問題のトラブルシューティング手順と例への「詳細情報」リンクが含まれています。

このヘルプファイルは、Hewlett Packard Enterprise Information Library ([www.hpe.com/info/synergy-docs](http://www.hpe.com/info/synergy-docs)) から入手できます。

## HPE Synergy QuickSpecs

HPE Synergy は、システム仕様、および個々の製品とコンポーネントの仕様になっています。仕様の完全な情報については、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<http://www.hpe.com/info/qs>) から入手できる HPE Synergy および個々の HPE Synergy 製品の QuickSpecs を参照してください。



# HPE OneView 製品に関するフィードバック

## Hewlett Packard Enterprise へのフィードバックの送信

Hewlett Packard Enterprise に、Hewlett Packard Enterprise 製品についてのフィードバックをお寄せください。Hewlett Packard Enterprise に直接フィードバックを送信するには、<https://www.hpe.com/us/en/contact-hpe> にアクセスして、**Submit and check case status > [+]Feedback** を選択します。

## Gartner Peer Insights へのフィードバックの送信

Hewlett Packard Enterprise は、率直なフィードバックを送信する別のオプションとして、いくつかの第三者のサイトと提携しています。最初の提携は、情報テクノロジーの有益な情報を提供する主要な研究およびコンサルティング会社である Gartner です。Hewlett Packard Enterprise は、HPE OneView をレビューし、15 分以内にフィードバックを送信できる Gartner Peer Insights の調査をセットアップするために Gartner と提携しています。HPE OneView のフィードバックをご提供いただける場合は、リンク <https://gtnr.it/2jgx9Ju> にアクセスしてください。





# Web サイト

## 全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/enterprise/docs>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide

<https://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

## 製品の Web サイト

HPE OneView のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>

HPE 3PAR StoreServ ストレージ

<https://www.hpe.com/info/storage>

HPE Integrated Lights-Out (iLO)

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

Insight Remote のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

HPE Primera のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/Primera600-docs>

HPE Insight Control のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs>

HPE OneView Global Dashboard のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/ovgd-docs>

Smart Update (SUM/SPP/iSUT/iSUT) のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/sut-docs>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) の Storage compatibility matrix

<https://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<https://www.hpe.com/storage/whitepapers>



# HPE OneView Remote Technician

HPE OneView Remote Technician を使用すると、問題のトラブルシューティングおよび解決のサポートが迅速かつ容易になります。招待により、認証された Hewlett Packard Enterprise サポート技術者が、問題のトラブルシューティングと診断に安全な TLS 接続を通じて HPE OneView アプライアンスにアクセスします。FTP サイトを必要としないログの直接ダウンロードなど、信頼されたサポート技術者が問題を診断する際に現場にいる必要がありません。

HPE OneView Remote Technician は、追加のアプリケーションなしで HPE OneView 4.1 以降に組み込まれています。



# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

### My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

## 保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

## 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

